

ベストセラー「サラダ記念日」依万智の歌を紹介して下さる。

・宿題 昨日配布された「近代秀歌」の中より好きな歌を選んでしるしをつけてくる事。

三時限目 長野先生がお休みなので、昨日申し渡されたことを次のようにして過した。

議長・間庭 板書・遠藤 書記・高田

前回提出した初級目標のコピーを参考にしながら討議し、会話の部分、70%位までこぎつけた。残り
りはセンターでまとめる事を皆で決めた。

4時限目 折紙 林先生

正方基本型より“さるの山のぼり”を作った。

さるの△の部分に○形の赤い紙を貼り、先生は「初日の出」と上品に名付けた。同じく正方基本形
よりつこうばこ、あさがお他3種、ふくら雀、中でもあじさいは和紙を下さり、小さく折り、それ
をまとめて大きな花にするのを教えて下された。

鶴の基本型より、鶴、はばたく鳥と鶴、

いつも笑顔で私達に接して下さり、本当に頭の下がる思いがする。

日の暮が早く、皆それぞれに足早にセンターへ向かう。

夕食後7時半よりお習字、神山先生の御指導、

本日は行書「山川草木」のお手本を頂く。

書道では親の筋30%、あとは本人の努力との事。

始めたら根気よくする事が大切であると先生の弁。

「前回に約束しましたから」と言って草加せんべいを下さった。

誠に義理がたいこと、次回には忘れずにお礼を申し上げます。

おせんべいをかじりながら、各々の部屋では出身地研修のレポートを書いていることでしょう。今
日も幸せだった事を感謝しながら就寝。

11月26日 木曜日 曇り

遠藤 澄江

早朝6時半、大城さん、横島さんはグラウンド(体操場)に出て駆け足をされるのですが、研修の
レポートのまとめをして遅く就寝したせいか、私は今朝の体操に参加できませんでした。(体力・気
力のせいでしょうか?)

今日の講義はセンター内ですので、皆さん、一息ついている様子でした。

午前の部、丸山先生の「日本事情」。講義のはじめは、「近頃の出来事」でニュース解説をされます。
日頃決った時間にニュースを見ることの少ない私には、とても有難いと思います。この二週間のニ
ュースは、1. 三原山の一年ぶりの噴火(16日) 2. ロンドン地下鉄の大火災(18日) 3. JAL
の完全民営化(18日) 発展途上国では企業の活性化の為に国策で半官半民を行なうが 先進国にな

ると民営化に移っていくのが自然であるとお話でした。その他4. 米・ソ連外相会談で IMF 全廃合意(23日)等でした。その後・日本の家庭の旧・新民法の特徴を話され、子供を育てること・家庭というものの大切さを今、もう一度見なおすことも必要であること。長年、教育に携わって来た経験を話された。

・日本の教育について 江戸時代人口の70%が読み・書き・算盤を知っていた。

これは世界でもこの時代ではめずらしいことで、藩の学校、寺、町の塾などがそれぞれ人材をつくることに力を入れていたことの表れで、誇ってよいことですよとのこと。人を育てることの大切さを感じさせられました。

午後の部、斎藤先生の「日本語教授法」、今日の課題は、格助詞の「が」と係助詞の「は」です。前回の復習は単語とアクセントの関係でした。「が」と「は」の三上章文法の解説・説明で、講義を受けているときはわかったつもりでしたが、教時間が過ぎると、不安になってきました。予習・復習の大切さを感じています。又、外国人に教えるときの方法、心構えなどを話されました。1. 文法などを形態的に示すことは大切なこと。2. いろいろな説明(考え方)があるが、慎重に自分の中に入れ、自分流にとらえてそれを教えること。3. この研修では、わからない事をどの方法で捜すかのアドバイスをしていること。など現地に帰ってからのアドバイスも受けました。

今日の体育は榎本さんの指導でA・Bコース合同でバレーボールをしました。体を動かして、気分爽快になりました。

- ・川端課長から土曜日の早稲田大学研修の時間割が配布されました。
- ・江崎さんから研修終了後の帰国の時間表が配布されました。

11月27日 金曜日 晴

川 辺 重 信

朝、曇っていた空が見事な晴天となった。天につき抜けるような空とはこんな空であろうか。寒さもあまりなく、昼頃は上着もいらぬ位のポカポカ天気だった。玉川の森が秋の色どりをまとい、赤青黄の木々が見事な美しさを見せて来た。風吹くたびに舞い落ちる紅葉を顔に受け、ブラジル生まれの川崎先生感さわまって喜びの声をあげていた。いよいよ秋も深まり、冬の心構えをし始めている。もうすぐクリスマス、幼稚園の前の庭に大クリスマスツリーが出来た。3メートル近い松の木いっぱい何千個かの豆電球が灯った。一日がかりでかざりつけた大ツリー これが灯るようになったらもう冬なのだ。これから寒くなるが、最後の2週間心おきなくがんばっていきなうと思う。

今日の第一講 小宮路先生の音楽教室参観。「歩いて行こう」で向かえられ、楽しい流れの教授法に感心しながら勉強させてもらった。「歩いて行こう」は、ブラジルでも今さかんに歌われ、はやっている歌だ。子供達が貸してくれた教科書を見たら、この歌は小宮路先生の歌(作曲)である事を知り、びっくりした。小宮路先生はこの他にもいろいろな歌を作曲され、素晴らしい歌をたくさん作っ

ておられる。その教室である。子供達の見事な演奏や作曲に感心させられた。

第二講の国語教室は、前日よりレポート書きをワープロで打っていて、その印刷がうまくいかず、つい寝不足となり失敬した。私の初めての授業不参加。

第三講 表現教育 方先生

相変わらずの子供の心をとらえる教授法。方先生の教授法は、私の友達、先に研修生として来られた方々の中によく見られ、ああなる程、あの人達もここで習ったのだなど、思い当たる所がままあった。それだけ表現教育法は皆に親しまれ、本当に身になって生きていていると思った。

私も方先生の表現教育に魅せられ、これでなければと、今つくづく考えさせられました。教師の生徒に対する態度、セーターに作業ズボンに運動靴。これでなければ生徒に対する事は出来ない。子供達と共に遊べる、子供達と学べる心構えが必要である。「朗読劇」においても、客も演技者も一対となって、心の交流がなされなければならない。教師生徒も同じ事である。いつもいつも表現教育について方先生に教えられる。

第四講 幼児教育で本多先生は、いつもの朴訥な話し方でいろいろ幼児に関して話して下さった。いつもすぐ役立つ物をと、心くばり下さって毎回おもしろい物を見せて下さる。指人形、タオル人形、シールあそびなど、いろいろと勉強になった。

第五講 夕食後、毎週行なっている反省会、昨日の予定が、あまりレポートや宿題があるということで今日に持ちこされた。しかし今日も結局集まる人が少なく、13名となってしまった。

しかしやってみるといろいろな反省（復習）が出来た。また、一人一人の意見（経験を元にした）が出て、今後帰っても使える意見が多くあった。この復習表を見て、各地に帰ってもまた一つ一つ思い出し、実際に授業に活用して行ってもらいたいと思います。これまで出た意見は一つ一つ考えると、皆授業に使えるものばかりです。そのままでは使えないでしょう。しかし、何かの時に合わせて、またそれを元にして、他の教材を産み出すようにするとか、他にもいろいろ活用の仕方があります。今後帰ってからじっくり考えてみたいと思います。あとわずかな期間となりました。この研修一生に悔いのない、素晴らしい物にしたいと思います。皆大分疲れてきましたが、一人もおちこぼれなくがんばってほしいと思います。

11月28日 土曜日 雨

菅原 智恵子

朝、8時5分、雨の中を20名のAコース研修生は、早稲田大学見学へとセンターを出ました。8時12分根岸駅で赤羽行きに乗り、車中、大船より乗車して来られた川端課長さんと合流し、高田馬場で降り、そこからバスで大学まで行く。

今日のおもな見学は、語学研究部と演劇博物館の2ヶ所でした。

まず、はじめに教師用の図書室を見せて頂き、そこには約30,000から40,000冊の本があるとの事で

した。

ビデオ室では、国際交流課長さんの説明がありました。そこでは、留学生のための授業が行なわれている。あいにく今日は土曜日のため休みで授業そのものを見る事は出来ませんでした。

次は、演劇博物館で菊地先生の説明がありました。それにはこの博物館は昭和3年に坪内逍^三先生の70才を記念して作られたものである事、又、先生はシェークスピア全集の翻訳者である事などでした。

来週の歌舞伎座鑑賞に備えてお話して下さい。歌舞伎とは、約300年の歴史があり、出雲の阿国がはじめ、それから約50年程してから女歌舞伎や若衆歌舞伎は禁止となり、その時からただの歌や舞だけでなく演技も加え、女形と云うものが出来たと云う事でした。

昼食を大学の食堂ですませ、その後は解散となりました。

11月30日 月曜日 晴

水 落 忠 一

今朝はいつもの日より寒さが厳しく、特に手などは冷たく、こんな天気が続くとゴヤニアの気候の良さを思いだす。又各先生も1ヶ月足らずの最後の研修であるが、何んとなか顔にゆるみが出来、歩く姿も心強いものがうすらいている感じがする。

今日の授業

A 教授法 長野教授

初級カリキュラムについて

初級1-2-3についての説明、特に文型、語彙、単音の発音

先生方も自分の発音については勉強する必要があるのではないか?と言われた。

B 教育原理 石橋教授

全人教育 小原国芳先生について石橋教授の熱介知情意について(心)健富の(身)細かな説明あり特に価値あること等

これは「人間とは何か」全人教育

C 夜 7時30分より華道あり、9時近かくに終了。

12月1日 火曜日 小雨時々曇り

高 田 照 子

本日より師走。しぐれが降り、寒さもひとしお身にしみる。

本日の授業

一限目(9:40~10:30) 中学部見学

中部教育の現状について主事の先生よりお話をうかがう。

次の通りであった。

授業形態の特徴

・宗教、道徳授業

週に一度。自らの心の在り方に目を向けて、よりよき人間性の陶冶に思い到さず為。倫理観、道徳の根本を培う事を目的とする。

・教科教室制

全教科が専用の教室になっており、教科独自の図書、資料、備品、掲示物が整備され、指導効果、学習効率を高めようとする。教師は事務机を教室に持ち、そこに常駐し、職員室と云うものはない。従って、生徒は各教科の授業ごとに教室を移動する。そこでは常時教師と生徒との接触があり、教師は生徒の行動を常に把握する事ができる。

・各種当番

日直、事務室当番、週番等があり、朝礼の司会、来客の接待、電話の取り次ぎ、朝の校舎解錠、日課に関する注意や伝達、戸締、学校日誌、記録等の仕事をやり、これらによって、大勢の前で話す事、接待、応待のマナーを身につけ、責任感を育てる。

・学校行事

運動会（体育祭）、音楽会等を行い、責任感、意志力、凝集力、連帯意識を高める。集団による創造活動が多い。

・労作

学級園づくり等の園芸、農耕労作、清掃、ペンキ塗りや建物の修復、道なおし等の営繕など、自分達の生活の場を自分達の手で積極的に創っていかうとする創造的活動。従って当学園には用務員は一人もいない。

総合的に

学園は自分達の生活の場、一つの家と考へ、自分達で創り維持しようとしている。

二限目（10：40～12：10）

幼稚部（キリン組）で保育実習

幼児一人一人の自己紹介。Bコース3名よってのクリエイティブパペトリー（くつ下を素材として手製の指人形の人形劇）、Aコース代表者のパネルシアター（歌「カレーライス」をテーマ）と紙芝居。そのあと全員で子供達と共にフォークダンス「おともだち」を踊る。楽しい時間であった。

三限目（13：00～14：30）

古事記

「八千矛の神の歌物語」

「少名毘古那の神」を学ぶ。皆寝むた気なり。

四時限 (14:40~16:10)

紙座

各自今までの自分の作品の中で一番良かったと思うものを額に入れて、互いに採点(投票)し合う。

開票は次週。

あの小さな折紙から見事な芸術が生まれ、盛観であった。

前授業の寝む気はどこかへふっ飛んでいた。

夜、7:30より茶道

甘いお菓子を食べて、足が痛いと言いながら正座をし、にぎやかに終了。

12月2日 水曜日 晴

長谷川 多喜子

昨日の雨とはうって変わったとても良いお天気で気持ちの良い日だった。

特別授業で上原先生に講義頂く。

玉川に40年位いらっしゃる先生で、7、8年前、外務省の依頼で南米の日本語教育をつぶさに視察。移住の今後の日本語教育をどこまで見るか、何処まで国家が責任を感じればいいのか。

言葉は生きている。言葉の事を問題にする事は人間の生命を問題にする事だと云われる。昔の一世の方々、移住地における日本語教育を真剣に考えておられたという。つまり、言葉は生き継ぐ物だと解っていた。国籍が変わっても、我々は日本人である。日本人の正直さ、勤勉さは日本語を使用するため培われるという。それは、他の外国語に無い敬語を持っているから。敬語が発達し、人間を(その関係を)克明にとらえている。人情の機微にふれようとするそれが日本語だ。

私達教師は、言葉は人間にとって何だったのか考え、人間の仕事としてやらなければならない事は何か、自分達が生き証人、国際人として、生きていかなければならないとおっしゃる。

日本には構えがある。

身	気	心	日本語教師はどうあるべきかについて、説明、示して下さる。
が	が	が	とてもためになる講義だった。
ま	ま	ま	この先生の授業がもっとあればよいと思った。
え	え	え	

三時限

四時限 共に折紙

今日は、色々なものを折る。

鶴の基本形から好きなものという題で、(たぬき、きつね、とんぼ)いろいろ出来た。

新しく習ったもの。

面……オニ、カーネーション、あやめ（花びらが3枚と、4枚のもの）かえる

折紙は折り方を教えるのではない、楽しさを教えることだとおっしゃる。

夜7時半より9時迄

書道 春夏秋冬を行書で。

12月3日 木曜日 晴

宮崎勝代

1週間の中で今日は一番ほっとする日で、朝食をゆっくりといただく。9時30分まで時間があるので部屋のみなさんは帰国準備で荷作りやら、郵便局へと忙しそう。

一時限目 「日本事情」 丸山先生

・近頃の出来事

相次ぐ飛行機事故

S. A. A と K. A. L. 飛行機事故に関連して日本は、どうなるかと言う説明をしていただく。

・前回からの日本家庭

(1)教育をめぐる諸問題

(2)日本人の宗教

丸山先生の授業はとても楽しく、あっという間に過ぎてしまう。

二時限目 「日本語教授法」 斎藤先生

・前回の復習 格助詞について

が
(に) は — に — は
と は — を —
と
の

①主題を示す

②主格

日本語では主語と言わない。

・の 格

がとの格（主格）

をとが（目的）

にととを（場所）

にとへ（目的の場所、方向）

私は文法が苦手なので一生懸命勉強するのだが、まだ分からない事だらけ、あまり緊張したせいか

授業中お腹がいたくなる。

すばらしい斎藤先生の授業もあと1回になりましたが、ブラジルに帰ってからも、勉強しなければと痛感しました。

三時限の体操がなく川端課長より土曜日に行く歌舞伎見学についての説明がありました。

12月4日 金曜日 晴

五木田洋子

晴れていても冬の風はつめたい。

玉川は11時半に始まる。すこしゆっくりできる。

洗たくをしたり、部屋をかたづけたりする。

野口さんは元気になったけれど、川崎さんはまだつかれている様子。

もうあとひとふんばり、みんな頑張ろう！

玉川学園

一時限目 小学部 5年桐組授業参観 武村先生

今日の学習（ことばの学習）

①漢字 保つ、貿易、難易

おくりがな、筆順などについて、

②早口ことば、くるま くるまに くるくる まるめ

くるま くるまで まるまる くるめ

（車、来る間に くるくる丸め、車、来るまで丸々 包め。）

練習をさせ、男女に別かれて競う。

③言葉さがし、（ひとまとまりのことば）

はという訓の ことば

稲のは（穂）、船のは（帆）、ほは、ほのは、

共通点は、ほがみんな上の方にある事

④日本人テスト（これを答えられない人は日本人ではない。）

A ひょっとことは何

答え、ひょっとことは火男から転じたことば、

火を口をとがらせてフーフー吹く、

B 海彦、山彦、男か女か

答え、男

では、女の場合は何というか、

答え、ひめ（姫）

⑤お話しなご

ある場所にミスターだってマンがいました。ある日ミスターだってマンは学校へ行きました。

この話の続きをそして、けれども、こうして、さて、それでは etc …… など、教師の示す接続詞を使って、10秒以内に短い文を作って行く。

⑥俳句作り

有名な俳句のまるうめ

〇〇〇つり、今日どこまで行ったやら（とんぼ）

楽しい武村先生の授業でした。お話しつなごや、早口ことばなどは、ブラジルへ帰ってすぐにでも役立たせようと思いました。

二時限目 表現教育

いつものように楽しいリラックス体操から始まり、ことばのテキストを使い言葉表現をしばらく行う。

今日は朗読劇の練習発表。

しばらくの練習の後、スペイン語組の若いBコースの4人が発表。とても熱心に、上手に朗読し、演じた。

若い子は素直で明るく、すばらしい。

方先生の一言のアドバイスで、劇はすばらしく盛りあがる。表現をする、という事はむずかしいが、何事においても人の前で自己を示す、というのは、私にはほんとうに勇気のいる事なのだ。頑張ろう。

三時限目 幼稚部 高橋先生

保育者はどうあるべきか という講義。

初めの授業よりずっと引き続いている。

保育者、教師は

- a. 子供の味方でなければならない。
- b. 教師の言葉は、いつまでも子供の心に残ることを心しておかなければならない。
- c. 心にきずの残るような言葉は決して言ってはならない。
- d. 良い点をかならずほめてやらなければならない。
- e. 悪い先行概念を正さなければならない。
- f. 無私の心で、子供を見る努力をしなければならない。
- g. 無私の心で、子供を知る努力をしなければならない。

人みなに 美しい種子あり、明日 何か咲くか。

子供達はみんなすばらしい大人になる無限の可能性を秘めている。

それをつみとらないで、伸してやらなければならない。

感心させられる言葉ですが、温いスチームの入った教室で、やさしい先生の声聞いて、A・Bコースともども、睡魔と戦うのに苦労している様子。

金曜日は、夜がゆっくりしているので楽しい。

開発青年の男の子とピンポンで遊んだ。強い相手だと遠慮しなくて良いからとてもおもしろく、しばらく楽しませてもらった。

12月5日 土曜日 くもり

野口民恵

今日は前々から楽しみにしていた歌舞伎座鑑賞です。

川端課長の引率で9時16分根岸発の電車で一路有楽町へ。有楽町より少々歩いて歌舞伎座へ到着。待つ間もなく開幕

最初は神霊矢口渡。先ず第一に舞台装置に目を見はりました。回り舞台で舞台が半回転すると場面が変わるといふ、独自の演出の効果が現われていて見事でした。

又その衣装の豪華絢爛なこと。手さばきの美しさ、見事さには何とも言われず、思わず引き込まれてしまいました。

第二部連獅子は市川猿之助、段四郎の演じる親子獅子で、親獅子が子獅子を干の谷底に蹴落として強く育てるといふ、親の愛情と子獅子の若さと強さ、親子の喜びあうようすが素晴らしくて、充実した舞台をじっくりと味わうことができ最高でした。

最後はこれも又猿之助主演の「一本刀土俵入」で、小説や歌などで余りにも有名でおなじみのものでした。

いわゆる義理人情もので、日本人の心にジンと来る何かがあるのだろうかと思ってみました。

日本人の心とも云うべき伝統演劇の一つとして、歌舞伎が人々に愛され親しまれている、という事が良く理解できたと感じた有意義で楽しい一日でした。

12月7日 月曜日 晴

川崎晴美

昨日降った雪は夢だったのかな。

今朝センターの周りに雪を思わせるものはもう何もなかった。ただ、コートを着ても手足が冷たく感じる寒い朝だった。これが日本の冬の寒さだな、と思いながら玉川へと出た。

玉川通いももう後1週間くらいで終るのだ。そう思うとなんだかほっとするような、寂しいような、

何が何だか分からない状態で、ぜんぜん落ち着きのない気持ちが続いているこの二三日だ。

学園内に着き、クリスマスツリーを見て、年末も近づいたのだと、また妙な不安を感じた。そんな気持ちで見た草木もすごく寒そうに見えた。

長野先生が少し遅れて、心配そうな顔でクラスに入られた。ある学生が凍った雪に滑って大けがをし、病院に担ぎ込まれたばかりで、その手配のために遅れたそうで、雪が降って喜んだ者も、迷惑された者もいるのだと考えさせられた。その後、玉川のクリスマスカードを頂き、国のものに「もうすぐ帰るよ」と書くように言われ、涙が出そうになるのを堪えた。

授業内容は初級指導計画の研究として、昨年3人の研修生によって作られた授業の指導の目標や方法などの批評があった。今日のポイントは、外国で教えられる日本語は直接メソッドで、日本語で入るか、現地語の説明を入れての方法が良いのかという問題だった。

三限目は、石橋先生の講義で、小原國芳先生の真・美・聖・健・富の調和的な全人教育の細かい説明だった。

四限目は金平先生で、短歌の第二授業だった。まず短歌の形から始め、教え方、書き方なども分かり易く教えて下さった。それから、もう頂いてあった“近代秀歌”の中から皆が選んだ、与謝野品子、北原白秋、石川啄木等の代表的な歌を読み、意味を教えて下さった。難しいといつも思っていた短歌も金平先生の口からは面白そうで、二世の私まで興味がもてそうだ。金曜日までは、五・七・五・七・七とのリズムに乗せた簡単なもの、いわゆる短歌を作るように言われ、出来るかなど心配。

夜は最後の華道だった。白い枝に紫色のランの花、それに緑の葉、良い生け花が出来そうでも、私は出来なかった。優しい竹内先生との別れの日も来たのだと思って落ち着きがなかったからだろうか。終りの半時間に茶話会が開かれ、皆笑顔で先生にお別れを告げた。

12月8日 火曜日 曇

佐藤 隆

寒波続く中、早朝より玉川通い。9時45分始まりの中学部授業参観は落伍者2・3名おり。習字二限目は、「初霜」「天地皆春」を書く。後の批評がすばらしい。年寄りでも、ほめて育てよ、教えよである。

次いで10時40分より幼稚部高橋先生の幼児教育総まとめで昼となる。

午後は古事記、平山教授の最終回講義で、アンケートと、感想文レポートが宿題となる。続く紙座は作品展があり、写真をめいめいが撮る。箱、重ね折鶴、くじゃくなどの折紙をやって、小川亭で夕食会となる。

センターに帰れば茶道の最終回である。

研修期間も終末に近づく、師走のあわただしさに、拍車かけ。

12月9日 水曜日 雨

大城和子

体と精神をきたえるため、早朝6時30分におきてラジオ体操センターに着いてずーと続けている。

Aコース今日も6名、朝の冷気の中で、眠けまなこをこすり元気よく体操を終る。

10時40分の音楽の授業をめざして9時にセンターを出る。

小宮路先生の時間は二回目まで今日で終る。

教師たるものこれだけは知るべきだ

1. 勉強した生徒一人一人を大事にする。
2. 教壇に立つ時は笑顔で立ちなさい。
3. 見えない長所に気をつけよう。
4. 音楽は遊びである。
5. ルールはいらない、自由にさせる。

又歌の中に「さあ」「はい」「はあ」など「破れ」を入れてあげる。

知性よりも感性を大事にすること。

ふとした「一言」

- ・大きい喜び
- ・深い悲しみに
- ・深い傷に
- ・天使のなぐさめに
- ・希望の太陽に

我々九期生もふとした一言が永遠の親友にもなり、裏面にもなりうる、生涯忘れられないような親友になりたいものですね。

2時40分から折紙

サンタクロースと煙突のある家、クリスマスカード、作り方など。

夜は書道の総仕上げ「龍」の掛軸を作って締めくくる。

しくらめんの花のように美しくて明るい神山先生に、花をそえて別れる。帰る目もまじかにせまりました。健康に気をつけて、がんばりましょう。

12月10日 木曜日 晴

横畑愛子

昨夜の雨もあがり今朝は少し暖かい。

午前8時頃センターのロビーでAコース全員記念写真をとる。

午前9時30分 丸山教授（日本事情）

丸山先生の「涙の感激」の再会話し。

昭和16年の教え子達が46年ぶりのクラス会に招待された。感激の様子。

近頃の出来事

(1)米・ソ首脳会談

戦後米・ソは冷戦を続けて来たが、12月9日（現地では12月8日）笑顔で大統領と書記官が、INF全廃に同意サインをした。

(2)12月9日 ソ連機沖縄領空侵犯上空を日本自衛隊が威嚇射撃す。

(3)12月6日 横浜で12月に35年ぶりの雪が降った事。

印刷用紙から

(4)世界の動きと日本

(5)日本の国際社会への復帰

(6)日本外交の三原則

ア. 国連中心主義

イ. 自由主義諸国との協調

ウ. アジア諸国との協調

等丸山先生はお年に似合わずとても元気な声で講義され、名残惜しい最後の授業であった。丸山教授を囲んで記念写真。

午後1時30分 斎藤教授（教授法）

◎今までの授業について質問応答

(1)文学表記

ひらがなの方が使用ひん度が高いので、先に教示した方が親切と思う。

かたかなの方が直線使いなので、教えやすい、覚えやすい。

石井房雄（漢字教育者）

曲線が多い程むずかしくなる。

(2)子供が大人への呼びかけ語（待遇表現）

他の人に対して、おじさんとかおばさんと言うのは言語としては間違ではないが、教室の中ではコロニヤ語は教えない。

待遇表現

人称詞 ┌ 自称
 └ 他称

(3)授受表現

「あげる」がていねい語ではなくなって来つつある。（現実）ていねい語は「さしあげる」

「やる」「造る」かなり制限されている。（使用法）

(4)「に」を先に「へ」は後から教える方が良いだろう。

「への」体言化した方法は必ず教えておかなければいけない。

(5)格助詞

「が」「を」「に」「と」「の」

国語教科書では「は」が先に出てしまうので、「が」「を」「に」「と」「の」に置きかえる方法をいつも導入すべきである。

(6)文法用語の使用

子供には富あって益なし、

(7)基本文型・11又は13形

3つ

5つ

AがBだ

存在AにBがある

AがBをCにする

可能AがBにできる

(C) - (B)

“で”

(AがBを) Cという

属格“の”

“は”は代理の助詞“も”

(8)発音

母語が干渉しあうスペイン語は日本語の発音に似ている

中韓国語は大きな違いがある

(9)文型

韓国語はよく似ている(トルコ、モンゴル)

(10)アクセント

(高低)

する する する

音声アクセントの違いを始めからあらためて教えない事など……

12月11日 金曜日 曇り

丸山みどり

今日は少し暖かい。雨が近いのかな。

夕べ遅く寝たためか少々頭が重い。

7:30~センター出発。(玉川へ)

一時限 本多先生の講義。今日は「ブラック・マジック」という楽しいゲームを教わる。本多先生の講義も今日で終わり。

二時限目 金平先生の短歌の時間、Aコース何人かの方々の短歌を元に色々教えて下さる。短歌の字も知らなかった私でさえ玉川の行き帰り電車の中で考え、いくつか短歌を詠んでみる。自分にもこういう事ができるのかと新発見。金平先生に心から感謝。

「なせばなる なさねばならぬ何事も」 やっと分かりぬ この年にして

午後方先生の表現教育。朗読劇「キツネとカラス」を発表し合う。同じセリフにもそれぞれ個性があってとても楽しい。特にBコースの皆さんとてもお上手。本当にカラスに、キツネになりきろうとしている努力が伺える。我々Aコースも見習うべきところ多々あり。

方先生の表現教育も今日が最後。わずかな期間だったけど方先生に教わった事は多い。皆をつつみ込むような先生の暖かい眼差しを忘れることはないだろう。

私の日誌当番も今日で終わり。

玉川の先生及びセンターの方々に心から感謝。

12月12日 土曜日 曇り

福島 知恵子 ローサ

8時50分ロービに集まり9時根岸駅で電車にのり川崎駅までそれからバス東芝科学館見学。はじめに映像室で中村館長さんのごあいさつがありました。世界中のお客様が見えるそうです。今日は土曜日のためお休みで、映画を見ました。ファンタジーの森では周囲の壁に貼った鏡により、四色にかわる光の木が無限に見えて森を形づくります。

人間と同じ動作ができる高性能ロボット、未来の列車リニアモーターカー、原子力発電プラント建設モデル、海洋温度差発電、燃料電池発電プラント模型は、空気と化学反応により直接電気を発生させます。

光通信システム、高品位テレビで川端課長さんの顔がはっきり見えました。光通信システムでは1本の光ファイバーで多重伝送の実験をしていました。マジックミラーを用いて実物と人間などのキャラクター映像を合成するトリック映像システムです。レーザーギャラリー光線を利用した立体的、色彩的な映像が楽しめる。

電子インコ 美しく造形したインコが動きながら話しかける、人の声をおうむ返しにしゃべる。おもしろかった。

コンピューターが家庭生活に入る近未来を想定したモデルルームもおもしろかった。

乾電池ロボット ロボットの腕もおもしろかった。野口先生、長谷先生と横畑先生が、よいしょよいしょ よいしょ、とってロボットと力くらべをした。

光と音と映像のショー ここは丸山先生が大きな声をだしました。

12月14日 月曜日 晴

高野 知恵子

昨日の大雪とうってかわった日本晴、玉川の丘を登るのに雨傘が必要な雪どけのしずく、皆さんにぎやかに雪を投げ合い登校する。

10時40分から始まる長野教授の日本語教授法

テーマはひとりひとりを生かす教育

個性尊重の教育 自学自立の教育についての素晴らしい講義、又目の前のお腹のすいた子供に魚を一匹やれば一日は生きられる。しかしその子に魚のとり方を教えるならば一生、生きられる。

このポーランドの言葉、教師であることの重大さをひしひしと感じさせられた。

二時限は石橋教授の教育原理。力ある説明と内容。

反対の合一のテーマ、小原先生の教育理念なるものの集中語としての

百聞は一見にしかず、百見は一労作にしかず。

作られたものが、作るものをまた作る。

いずれも人間愛から出たものとしてありがたく暗記させていただく。

最後は俳句の説明と共に短歌の鑑賞法。金平教授のやさしい説明、楽しく講義を聞く。

夜は7時より最後の反省会。無事今日も終る。

何はさておき水落先生の健康状態を心配し、彼のために心より祈り、皆様に感謝して11時就寝。

12月15日 火曜日 快晴

間庭 文子

いよいよ 今日玉川大学への最後の日となりました。

朝カーテンを開ける前、今日は好い日であって欲しい、そうでなければいけないと思いつつ恐る恐る開けてみましたところ、何と自然の神は私の味方をしてくれました。きらきらとまばゆいばかりに輝いてくれました。外では元気者達がラジオ体操に励んでおりました。それぞれに、この日にいろいろな思いをこめて……

私はカナダで待つ子らにクリスマスプレゼントにと、ふだんでは全く買えない飴などを中身よりも高い送料をかけて送ってみました。クリスマスに届けとばかりにカナダの友人達にクリスマスカードも沢山送りました。そんなこんなするうちにもう11時となってしまう、ほとんどの方もこの時間にセンターを出て玉大へと向いました。今日の帰りは夜となるので、行く車中から見おさめとなる風景をくい入るように見ていたのは私だけではなかったと信じています。大学に入る前にみんな思い思いの昼食をとったようです。

午後1時半から長野先生の総まとめ的授業でした。8回にわたって長野先生の授業を“日本語教授法”として受けさせて頂いたわけですが、今までは複式授業の必要性をしきりに説かれながらも、なかなか“How”というところまでは教えて下さらなくて痛し痒しでしたが、今日の授業ではその授業方

法を白日のもとにさらけ出して下さいまして、大半の先生方はこれだこれだと思われたのではなかったでしょうか。一人一人を生かす授業とは、個人差に応じて指導目標を変えたり、指導方法を変えたり、指導の目標と方法を変えたりする必要があるということです。又、指導形態も、一斉指導、グループ指導、個別指導あるいは、これらすべてを組み合わせたものとあり、その方法も直接指導法とするかプログラム学習などを導入した間接指導とするかとあり、これらを生かすためには、いろいろな教材・教具・機器の開発・工夫が要求されるわけである。

とにかく日本語の専門家として、骨惜しみすることなく教育の変革期をのりこえていかなければならないということで、そのためには、大いに悩み苦しみなさいという先生の声ははっきりと聞こえて来た授業でした。これで9回にわたる長野先生の授業は4時15分前に終了し、すべての玉大での授業が終了したということになりました。修了式が始まるまでの45分間、それぞれに思い出の学舎を眺め散策したのでした。

4時40分朔風館において 学長代理、酒井先生（学園常務理事）、島田文学部長をはじめとし、石橋先生、平山先生、本多先生、金平先生、高橋先生、林先生、古市先生達の御列席を頂き、私と同年でありながら頼りになりずこい風格がある長野先生の司式の元、修了式が始められ、まずは学長代理の酒井先生からありがたいお祝いと励ましのお言葉を頂き、遠く離れた中南米とはいえ皆大変親近感をもったのでした。次に島田文学部長に直き直きに一人ずつ名前を呼ばれて、立派な修了証をうやうやしく頂いたのでした。次に私達の代表として高田さんから、玉川大学へお礼と感謝の言葉を申し上げ、佐藤先生より、本当にすばらしく私もすっかり魅せられてしまった蝶の額を、私達の思い出として玉大へ差し上げました。最後に玉大から沢山の本を頂きました。ことわざ辞典や情報・知識・辞典等々、非常に興味のある本で、開きはじめてらすぐに1、2時間つぶれてしまいそうです。

それから5時頃に懇談会へと移る。ローストチキン、ローストビーフ、えび、あじのフライ、ポテトサラダ、パスタサラダ、トマト、コーンクリームスープにフルーツプリンデザートとそれはそれは豪華な御馳走を前に、島田学長の音頭でオレンジジュースで乾杯！と盛大な立食会がはじまりました。カメラに思い出を焼きつける人、寄せ書きに先生の一言を預く人、食べたり話したり、大変リラックスし楽しく和やかな会となり、6時半に一応散会となりましたが、皆帰るに帰りがたくしばし止まっていたようでした。大きな白い玉川学園のバッグを下げて丘を下るのに、真黒な闇は格好のベールとなってくれました。この丘と共に3ヶ月間本当に色々なことがあり、沢山のことを学んだ我ら20粒の一房のぶどうでした。

私達は、又それぞれ離れ離れとなって行きます。しかしその地にその種を落とし、私達がそうであったように、しっかりとした茎でつながったぶどうを玉川で熟成した栄養を与えながら実らせたいものです。

今日は朝、水落さんが近くの（浦和）の病院へ精密検査に出かけたところ、手に負えないとのことで浦和赤十字病院へ移され、即入院、即手術ということで夕方にはI.C.U（集中治療回復室）で眠っ

て、手術はうまくいったとのことで本当によかったと思いましたが、危機一髪の入院だったということだそうです。1ヶ月程の入院を要するということだそうです。

病名は心筋梗塞ということですので、これからもしっかりと御養生なさって一日も早く以前の健康をとりもどして下さいますよう心よりお祈り申し上げます。

12月16日 水曜日 快晴

間庭文子

今日は、総括レポートや、玉次への感想レポート作成にあたる日ということで、どこへも出かけなくて良いのですが、みんなそれぞれ、家族の、友人の待つ国への旅の準備に大わらわだったようです。

午前10時には、会議室で川端課長からのお話 来年1月に中南米からやって来る、第一回現地日本語学校生徒本邦研修生のスケジュール説明、ひきつづき、くれぐれも立つ鳥あとをにごさずで、とのことでした。

Bコースの人達は、今日から3日間、新宿日本語学校へ研修だそうです。かの有名なラッシュにもまれてみんなくたくたになって6時頃に帰って来ました。御苦労様！ でもみんな頑張り!!

研 修 日 誌

B コース (1年コース)

4月10日 金曜日 雨

竹中 章子

ドミニカを4月8日(水)の朝7時に出発し、マイアミで乗り換え、11時間後、ロスに着き、その夜はホテルで1泊。

4月9日(木)の朝、VARIG 832 便で日本へ。12時間後、成田に着陸。日本ではドミニカと比べれば13時間進んでいるので、今日は4月10日(金)、時間は午後の2時。

空から一番最初に見えたのは桜の木。31年ぶりに見るのでなつかしくて、なつかしくて、なんととも言えない気持。

VARIG から降りる前、胸に付けている名札のおかげで、Bコースの皆さんと挨拶を交わすことができ、皆そろって税関へ。日本人の顔をしていながら、外国のパスポートを持っているので、私達は日本人でもあるが、ラテンアメリカ人でもあるのだとつくづく感じさせられました。

空港では、ジャイカの浅津さんに出迎えていただき、バスまで案内されました。外では目に見えないような小雨が降っていて、温度は16℃。冷たい風が肌に気持ちよくあたり、やっと日本に着いたのだな—という感じがしました。

2時間後、横浜市磯子区西町16の5に着きました。5階建ての国際協力事業団海外移住センターでは、宮広所長、川端課長、江崎さん達に出迎えていただきました。ロビーで宮広所長のご挨拶があり江崎さんからお部屋の鍵をいただき、それぞれ荷物の整理へ行きました。

この1年間できるだけ日本文化を研究し、皆で助け合い、一生の思い出になるように頑張りたいと思います。

4月11日 土曜日 晴

長谷川 薫

日本に来て初めての朝、少し寒く感じられました。全員7時頃起床し朝食をすませてから部屋で荷物をかたづけたり、外でセンターの回りにある店で買い物したり、いろいろ見て歩きました。

午後10時から4階にある研修室で江崎さんからのオリエンテーションがあり、絶対守らなければいけない規則についていろいろ説明して下さいました。でも時差ぼけや緊張のせいで言ってもらったことを全部頭にいれられなく、後でもらった「海外移住センターを利用される皆様へ」という本をゆっくり読むことにしました。12時頃、オリエンテーションが終わり、昼食をいただきました。

午後からの自由時間はそれぞれ休んだり、外へでたりしました。この1年間頑張っって日本語を勉強して日誌もスラスラ書けるようになりたいです。

4月13日 月曜日 晴れ

遠藤 ルリ

春色日ましに濃く、吹く風も肌に心地よく感じられる季節だ。

江崎氏の案内で、これから週に1回火曜日に学ぶ玉川学園に第1日目の登校、根岸、横浜、町田と電車を乗り継ぎ、午後1時に玉川学園前駅についた。

玉川学園は、緑が多い素晴らしい環境だった。その雰囲気の中で学ぶ生徒達は幸せだと感じた。

初めに女子短大で長野先生によるオリエンテーションがあった。

オリエンテーションの後、小学部、中学部、大学の校舎、礼拝堂など学園内を見学した。

玉川学園は、幼稚部の3才の子供達から、大学生まで、その生徒数は1万人にも登り、あちらこちらに散在する大きな建物からも、その規模の大きさが十分に想像できた。

園内では、桜の花も、もう散ってしまっていた。話しには聞いていたが、咲いている期間が短いことには少しおどろいた。

午後5時からセンターの講義室で入所式があった。まず私達が紹介された。そしてこれから1年間学ぶ先生とセンターの職員達が紹介された。最後に宮広所長による歓迎のあいさつがあった。

4月14日 火曜日

白水 グローリア

本日午前9:00から12:00までBコース一同、日本語能力テストを受けました。

13:00から宮広所長から講話をいただき国際協力事業団の成り立ち、目標、業務内容についてお話ししました。

日本は文化、教育、経済先進国として開発途上国の社会的発展に協力しています。JICA(英文名略称)は、その目的を達成するため昭和49年に設立され、おもに行っている業務は:

- 1) 政府ベースの技術協力
- 2) 青年海外協力隊事業
- 3) 技術協力のための人材の養成及び確保
- 4) 無償資金協力
- 5) 開発協力
- 6) 移住事業

その後研修の目的を考える大切さについてご指導をいただきました。それは、日系二世として誇りをもつ;我が父母が移住して言葉に苦勞した姿に学んでできるだけ日本語で話す;日本の風俗習慣を理解して大事にする;我が国を紹介しながら両国の交流を深める;文化を体で感じる;良いことには接して、悪いことは知識としてもつ;日本の様々なことを正しくとらえる。

続いてセンターでの生活規則に対してのオリエンテーションをいただきました。

色々なお話しを聞かせていただいて大変考えさせられ、ますます日本での研修を一生懸命がんばることに決心し、JICAの皆様へ心から感謝いたしております。

4月15日 水曜日 雨

三分一 直美

今日はとてもいそがしい日でした。朝の9時半から夜の7時までやることがいっぱいだったので疲れました。最初に川端さんが日本語教師Bコース研修計画の説明をされました。それは目的、研修期間、研修区分および方針のことです。説明が終るとCOUNTRY REPORTが始まりました。そのレポートにはだいたい家族、友人、住んでいる土地、祭り、日本語を習った場所と先生、習った目的、好きな食べ物、最近見たテレビ、好きな歌と歌手の名前、そして一番日本でしてみたいことなどの話しをしなければならなかったのです。レポートを聞いて下さった先生がたは、斎藤先生、坂根先生と川端さんです。斎藤先生は私たちの話を録音しました。私はあがってあまり話せませんでした。研修生の中で一番若い藤本さんがじょうずだったのにはびっくりしました。

午後からは、斎藤先生が日本語主任講師のオリエンテーションをされました。経験があつてとてもいい先生だと思いました。

体育の時間には、Bコースと子弟研修生がいっしょでした。初めにラジオ体操をみんなでやりましたが、そのあと卓球、バレーボールをやりました。体育がすむと気分がすっきりしていい気持ちになりました。

4月16日 木曜日 はれ

藤本 清美

今日は7時におきてみんなで朝食をいただきました。8時20分にみんなロビーに集って、川端さんと一緒に新宿にあるJICAの本部へあいさつに行きました。電車ののりかえにとっても疲れました。根岸→桜木町→渋谷→新宿。11時半ごろついて紹介され自己紹介もしました。55階建の高いビルディングの45階にあり、そこからは新宿の町をながめる事ができました。非常に高い建物で人々はまるでありのようでした。それに、エレベータで「上がり下がり」すると耳の中をピストルでうたれたような感じがしました。その後、私たち教師はJICAの皆様と共に京王プラザホテルレストランでおいしいごちそうを話し合いながらいただきました。

1時半頃に食事をすませて私たちは自由に新宿の町を見学しました。よどばしカメラや、くつやさんや、文房具屋にも行きました。きれいなハガキを、ブラジルへ送るため、たくさん買ってきました。写真もたくさん写しました。

4時頃にみんな疲れていたのので帰る事にしました。移住センターへは5時半に着き、食事をして、シャワーをあびました。

今日は特によく眠れるような気がします。

4月17日 金曜日 晴

北川 小百合

今日は、センターでの初めての授業が行われました。午前の部は、9時半から12時半まで永保君恵先生の読解Iという授業でした。

始めに、一人一人自己紹介をしました。それから、永保先生からもお言葉をいただきました。

私達12人は、先生と色々話しながら楽しい授業が出来るようになりました。第1課は、「日本の国土」というテキストと地図を先生からいただきまして、色々説明をしながら、皆でそのテキストを読みました。12時半授業が終って、皆と昼食をいただきました。

午後の部は、土井先生の作文の授業でした。先生には初めてお会いしましたので、また自己紹介をしました。私達は、日本に来て明日で丁度1週間になります。何だか、もう随分日が立っているような気がします。

今日は、土井先生の授業で作文を書きました。先生はこういうテーマを出しました。「あなたは日本で何をやりたいのですか」という題名で、私達12人はそれぞれ自分の目的や研修内容について述べました。

私には、日本の古い歴史、伝統、習慣などが分からないため、すぐれた教育文化を学び、その成果をブラジルでの日本語教育に役立てたいと思っていますので、こういうことを作文に書きました。

土井先生の授業が終った時、急に机がガタンガタンと動きはじめました。すると、土井先生が「あっ地震だ」と私に言いました。初めての経験で、ビックリしました。

私は、日本に来てよかったと思っています。

これから、修了の日まで、私はこの研修で一生けんめい勉強をして、授業や学習に関する要点を学び、日本での研修を生かして、今後の現地での教育指導にあたりたいと心から思っています。

「Bコース」の皆様もお互いがんばりましょうね!

サインはV

4月18日 土曜日 晴

小坪 美代子

日本に着いて、もう8日になります。まだあまり外出する事もできませんでした。

私達日本語研修生（Bコース）は二組に別れて外人登録等に行く事になりました。A組の6人は、今日の午前中に行きました。私はB組（5人、白水さんは日本人なので必要ありません）なので5月2日に行きます。

それで、私は午前中、洗濯、部屋の掃除、親戚への贈物の整理、荷物の整理をしたため忙しかったです。

午後5～6人で港南台の「DAiBi」と言うデパートへ行きました。品物の値段もお金の値打もあまり分からないので、必要な物だけ買いました。

明日は、初めて玲子おばさんに会うので、心がドキドキしています。玲子おばさんは八王子市に住んでいます。楽しみ…

4月20日 月曜日

田中マリ

日本に着いてもう1週間がたち、今日から2週間目に入り、まだセンターでも研修生としての勉強が始まったばかりですが、何となく日がたて行く内に、だんだんと忙しくなっていくようです。

今日は、まだ授業として2日目なのですが、午前中には、日本事情「日本という国」という題で丸山先生から教わりました。この授業を私達は一つの科目として勉強し、その上教わった事を経験でき、自分のものにできるのでしっかり身に付ける事ができると思います。そうして自分としての意見や考え、または気持ちを、帰国しても私を期待している人達にも伝える事が出来ると思います。

午後からは読解2としての科目で、古沢先生が宮沢賢治作の「どんぐりと山猫」という題の想像の話の説明して下さいました。そうして、皆それぞれ自分の感想を書きました。

想像の話の書き方は私達が慣れていない書き方で、何となく、読むのも理解もちょっと難しかったです。でもそれを日本の一つの言い方として知る事も、大切な事だと思います。その後、頭を休ませる為に、体育の時間で皆精一杯に体を動かしていました。私達の間では、卓球が結構好まれるらしいので、皆な良くやります。

19:30から、初めての書道の授業を神山先生から教わりました。皆、非常に珍しいと思い、また難しいなァ……と思っていた人もいましたけれども、結構面白そうにやっていました。

書道は気持ちを落ち着かせるから、体にも頭にも非常に良い事だと思いますので、1年間しっかりと覚え、そうして、帰国しても習い続けたい、続けられるようにと、皆願っているようです。

4月21日 火曜日

安江洋子

今日は、玉川学園での初めての授業でしたが、一時限目（国語、徳座先生）と三時限目（全人教育、平山先生）は体校ではありませんでした。そういうことで朝は少しゆっくりできました。

いつものように、朝食後は実習しました。

昨夜書き終った手紙を、今日早々出すことにしました。その時、北川さん、ルリさん、マリちゃんも一緒でした。

その後、直接港南台まで買い物に行き、ダイエーと高島屋で必要品を買いました。

玉川学園で、四時限目の授業（音楽、田中先生）がありましたので、急いで昼食を頂きました。

12時30分に集合して玉川学園に行きました。初めて自分達だけで通学なので、どの電車に乗って良いのか迷いながら、2時に到着しました。マリちゃん、ルリさん、北川さん、清美さんと私は不安な

気持ちでいたようでした。

国際室で教科書を頂いて、音楽室まで行きましたが、先生も他の生徒も来ませんでした。調べて見たところ、今日は2グループに分かれて他のクラスで教えていたそうです。そういうことで、私達の授業は来週から始まることになりました。今日は、玉川学園での初めての授業を期待していた私ばかりしてしまいました。

リトミックの授業を受けている方達を待つ間、玉川学園内を見学して、写真をたくさん写しました。玉川学園前駅で皆と会い、疲れた表情で電車で揺られ、又は人に押され、移住センターに着いたのが6時ごろでした。寒い風が吹いていました。

夕食後、清美ちゃんのお誕生会を早目に、16回生、17回生とBコースの皆様と共に祝いました。皆は疲れを忘れて、夜遅くまで楽しんでいました。

私は今日起きたことを想い浮かべながら、これから始まる玉川学園での授業、又はセンターでの授業も、精一杯がんばり、帰国後この1年間の研修を、日本語教師として伝えようと思っています。

4月22日 水曜日

竹村 和

朝の8時10分前に起き食堂へ弥生ちゃんと一緒に朝食を食べに行きました。今日の朝食はサンドイッチでした。

皆様が私のために残しておいてくれたサンドイッチを食べてから部屋へ帰り、授業に出るためのしたくをして、9時半に授業が始まり、眠い目をこすりながら、先生の話を聞き、分からない言葉や漢字を書いているうちに、先生の教え方が上手なので眠む気がさめ、それから先は、お茶を沢山飲み、楽しく12時半まで、「あっ」と言う間にたってしまいました。

午後1時半から音声教育。

先生の指導を受けながら、思わず居眠りをしてしまいました。まだ時さぼけがひどいので…

授業中寝るなんて、本当に「だめ」だと思いつつ、終るまで目はとじっぱなしで、耳にかすかに何か聞こえているだけの状態でした。

4月23日 木曜日

上田 弥生 ロザーネ

今日は、木曜日の4月23日です。日本に着いて、もう13日たちました。勉強について、いろいろと珍しい日本の社会や習慣の事を先生方に聞かせていただいています。

木曜日には、特別に授業は10時に始まり、午前と午後の部は金田一先生が教えてくれました。文法と日本語教授法についての勉強を9月まで続けるようになっています。この授業では、外国人に日本語を教える方法を先生と私達が一緒に意見を出しながら、いろいろと学べる授業です。

金田一先生は、とても活発な教師だという感じがしました。Bコースの皆様は先生の教え方がとても面白くて、時間が過ぎる感じが全然しませんでした。本当に立派な先生に教えていただく事が出来て感謝しております。

4月24日 金曜日

竹中章子

日本に着いて、今日で丁度2週間過ぎました。

午前 9:30-12:30 読解(永保先生)

テキストを読み終わった後、テーマの内容について勉強しました。

- ・助詞(に、で、との使い方)
- ・複合語
- ・品詞の転成

午後 1:30-4:30 作文(土井先生)

文章の書き方について説明された。

下書きした後チェックするポイント

- ・漢字、表記
- ・言葉
- ・文法
- ・スタイル(話言葉が入っているか)

午後 4:40-5:40 体育(寺内先生)

精一杯体を伸ばして、スッキリした気持ちになりました。

夜 7:30-9:00 「ワープロ実習」

一人の技術家がワープロは何であるのかを説明し、あとの3人が子弟研修生達と私達に使い方を教え、一人一人実習する事ができました。

大変充実した1日でした。

4月25日 土曜日 晴

長谷川 薫

今日は自己研修です。昨夜川端さんが幼児教育の自己紹介は来週から始まると伝えてくれました。ちょびり残念だと思いました。

朝食をすませてから皆部屋で自由に宿題やいろいろのことをしながら過しました。私にはこのような時間がとてもありがたいです。なぜかという私は日本語を少ししか書けないので、皆さんが10分でできることを1時間、2時間もかかるので、少しでも私の時間ができるとうれしいです。

午後からは16回生子弟研修のかあちゃんに案内してもらって、遠藤さん、白水さん、三分一さん、藤本さん、安江さん、田中さんと横浜花まつりを見物に行ってきました。世界中の花がみごとに咲いていました。中でもいちばん目立ったのはチューリップでした。ペルーで生えていた花もいくつか見ることができ、なつかしくなりました。それぞれきれいでしたので写真をたくさん写してきました。後で花が大好きな母や友達におくってあげようと思います。

4月27日 月曜日 晴

遠藤ルリ

日ごとに木々の芽も青くなった。心地よい風が肌にあたるのが気持ちがいい。

今日の午前の部は丸山先生による「日本事情」、「日本という国」という題で教わった。

この授業では、次のような事について先生は詳しく説明して下さいました。

I. 日本の位置、面積

a - 日本は、アジア大陸の東のはしにある島国である。

b - 国土の面積は、約38万平方kmでパラグアイよりちょっと小さい。

II. 人口、人口密度

a - 人口は約1億2千万でパラグアイの35倍である。

b - 全国平均は 321人/km²で東京は14,108人/km²で横浜は 6,497人/km²である。

私の国と比べるとすごく多いのには驚いた。

午後からは、古沢先生の読解Ⅱの授業で「男眉」という題名の小説について勉強した。

a - はおっておくとつながってしまう濃い眉が男眉というそうである。

b - 男眉に生れた人間は、男なら漬れた家を興すか、大泥棒、人殺しといった極悪人になりかねないといわれている。

夜7:30分から、神山先生の書道の授業であった。私は全も「難しいなァ…」と思っている。でも1年間がんばって基礎的な部分を覚えたいと思う。

4月28日 火曜日

白水 グローリア

今日玉川へ通学しました。

大勢の人に押され、電車に駆け込み、私達にとってはまるで冒険でした。

大学の講義を3時間ぶっ続きで聴くのは大変でした。日本の大学生になりきった顔をして一生懸命分かろうと努力しました。

授業が終わって帰えり道をゆっくり青々茂った木の下を歩きました。こんな素晴らしい環境に包まれて勉強する学生達は幸せだろうなと思いました。

私達も玉川で勉強させていただきありがたく思っております。

4月30日 木曜日 晴

三分一 直美

今日、私達は根岸小学校へ授業参観に行きました。

明治6年に出来たととても古い学校です。

副校長先生が私達を迎えてくれました。

二校時と三校時は自由参観でしたので、私は国語の授業を見に行きました。

先生は、三つの詩を生徒に読ませて、一つ選らばせました。それについて色々な質問をしたり、また意味の説明をしました。

三校時には音楽のクラスへ行きました。そこでは、先生がピアノを弾き生徒は笛を吹いたり、歌ったりしていました。曲は“さくら”です。私達が行きましたので、外国の曲を何曲か弾いてくださいました。とてもうれしかったです。

その次は、図工のクラスへ行きました。一人の生徒がモデルになり、あとの人たちは、その生徒を書いていました。ベルがなったために、ありま見ているひまがありませんでしたが、とてもいい勉強になりました。

四校時は杉浦先生のクラスへ行きました。体育の時間でした。リレーの練習がありました。

それから歯の検査があり、終わったあとみんなと話しながらか給食をしました。

とても楽しい1日でした。

5月1日 金曜日

藤本 清美

今日はいつものように、7時に目がさめて、起きました。

9時半に授業が始まりました。あしたから長い休みが始まるので、みんな旅行するためのしたくをもうし始めています。私の場合は、今夜7時におじさんが名古屋から迎えに来てくれるようになっていたので、とても楽しくて、頭が向うの方へ時々いつてしまいました。けれども、できるだけ授業の内容を習うため、先生の話を一っしょうけんめい聞いていました。

12時半に食事をして、また1時半から、二時間目の授業がありました。

4時半にそれが終って、体育の時間になりましたが、今日は特別として川端課長さんにその時間を許してもらって、名古屋へ行くための準備をしました。

約束していた時間より、1時間早くおじさんがセンターについたので、私はとてもいそがしいでした。

8時半になると、したくができて、出発しました。

19才になった私を、まだ、写真でしか見ていない親戚と会うことができるので、とてもうれしいです。

5月2日 土曜日 晴

北川 小百合

日本に来てもう何日かで1ヶ月になります。何だか日が早く立つような気がします。

今日の午前中、私達5名(小坪さん、上田さん、竹村さん、遠藤さんと私)は磯子まで外国人登録等に行きました。川端課長さんも一緒でした。

その後、皆「DAIJI」と言うデパートへ買物をしました。

午後は自由時間でした。私は少し睡眠不足で疲れていたもので、3時間位横になりました。

5月6日 水曜日 晴

小坪 美代子

私は連休に、長野県伊那市に住んでいる親戚に会いに行きました。祖父が生まれて育った家に住んでいるので感動しました。祖母の同級生や中学時代の先生にも会いました。皆から、祖父母の若い時のことをいろいろと聞きましたので、日本へ来てほんとうによかったと思っています。

連休は楽しかったけれども、漢字の試験があることを忘れてしまって、勉強しませんでした。

再び考えるとこれではダメだと思い、来週のテストは頑張るつもりです。私と同じように、時間がなくて勉強できなかった皆さんも頑張ってくださいね。

5月7日 木曜日

田中 マリ

今日は、1日金田一先生から勉強教わる事になっていて、午前10:00から12:00までは文法で、午後1:30から5:00まで日本語教授法でした。

金田一先生は、何となく分かりやすく教えて下さるので、難しい文法でも、皆少しずつ理解し始めているようです。試験の時はどうなのか分かりませんが、日本語の文法はこう言うことなのかと少しずつ分かって来たようです。

午後の授業では、白水さん、遠藤さん、小坪さん、そして北川さんが先生として日本の初級教科書の3課の中のある文型をどのように教えれば良いかという授業をやりました。私達の中だとちょっとやりにくいこともあり、また自分で考えてやっても実際にやる時になって、子供達の受け取り方もそれぞれ違うから、変えたり、全然違うやり方をしなければいけないかも知れない。けれど私達同志でやることは一つの方法であり、12名に対して一つの参考にもなるので、それを知ることも大切だと思います。

夜7:30から9:00までは茶道で、お茶のたて方を最後までではないけど、色々とお教わりしました。
お茶をたてるのは結構難しいことだと皆から思われているけど、やり始め、覚え始めると、皆面白
そうな顔をしていました。

5月8日 金曜日 晴

安江 洋子

今日はもう金曜日。どうして時がこんなに早く過ぎ去るのかとつくづく思う。

・一時間目 読解1 永保先生

- 第1課→日本の国土の練習Bをした。
- 複合語について説明して下さった。
- 助詞「で」と「に」の練習問題をした。
- 第2課の「学校のはじまり」を読んだ。

・二時間目 作文 戸井先生

- 連休について一人一人話した。
- 作文が楽しくなる本を紹介して、内容を読んでくれた。
- 一人一人の推敲した作文のどう言うところが間違えなのかを説明した。その間、皆は他の作文
を推敲した。

・三時間目 体育 寺内先生

- 体力テスト記録表
- 皆、一生懸命がんばった。

今日は体育のためちょっと疲れましたが、楽しい授業でした。明日もがんばりましょうね!

5月9日 土曜日

竹村 エレナ 和

今日はもう土曜日、朝目がさめず11時半まで本当に起きる気がせず、寝ておりました。

前の夜に気を失ったまま、何もわからなく、朝の授業の事も忘れ夜中じゅううなされた。

腹部がいたくなって5日目です。

1日中痛い痛いでベットで寝っぱなしでした。日が暮れるのもわからずにずーと寝ては、弥生ちゃん
がもって来てくれた食事をする。そのくりかえしで、「あっ」と言う間にまた夜が来ていました。

これから、また寝るしたくをして体を休ませようと思っています。

おやすみなさ〜い…

5月11日 月曜日

上田 弥生 ロザーネ

今日は、東小学校へ見学に行きました。私は二年二組のクラスを授業参観させていただきました。このクラスを受け持っている後藤先生に、いろいろとお世話になりました。生徒達も私に沢山の質問をしたり、自分達の事を聞かせてくれました。ブラジルの事に興味を持っている子供が大勢いて、ブラジルの食品、建物、人口等についていろいろとお話してあげました。アマゾン川の有名なお魚、ピラニアの事をテレビで見聞きした事を私に詳しく説明して聞かせてくれました。帰る前には、子供達が詩を書いたノートを私にプレゼントしてくれました。この楽しい1日は私の思い出に一生残ると思います。

又、センターに帰って来て、午後からは読解2の授業がありました。読解の授業が終わり、体育の時間が4時半から5時45分まででありました。体の具合がちょっと悪かったので、休ませていただきました。

今日も、毎週のとおり、ブラジルから母のお手紙が届き、大変うれしくなりました。なんとなく、なつかしい母の事はいつも思い出します…

5月12日 火曜日 晴

竹中 章子

火曜日と言えば玉川学園で授業を受ける日なので、いつもより早起きして7時にセンターを出発しました。日本の電車は驚くほど時間に正確で、7時7分と言えば6分30秒でもないし、8分でもない。中南米の考えで駅へ行けば乗り遅れてしまう。会社員や学生で電車は満員。押し込まれたり、押し出されたりしてやっと1時間半後、玉川学園へ着きました。

一時限 9:00-10:30 国語(徳座先生)

「敬語」に付いて講義されました。

「国語では、話し手、聞き手および第三者(話題の主)の間の年令・職場での地位・身分の上下や、社会生活における親しさの度合によって、同じ内容の言葉を違った形で表現する。このような言語習慣の中で、話し手が敬意を抱いている表現を「敬語」という。」そうです。

敬語には尊敬語、謙譲語と丁寧語があるが、現在「おズボンが汚れています」とか、自分の子供に「ミルクをあげます」とか言う人々が増えているが、それは美化語または上品語であって、敬語ではないとおっしゃった。

敬語を正しく使う事は大変難しいとつくづく感じました。

二時限 10:40-12:10 自由時間

花と緑に囲まれた、まるで公園みたいな、春の校庭を眺め歩きました。

三時限 1:00-2:30 全人教育(平山先生)

子供の三大権利に付いて講義されました。

1. 「子供には三つの大きな権利があります。よく生んでもらう権利、よく養育される権利、よく教育される権利。」

2. 「『児孫の為に美田を買わず』（南州翁）富よりも教育を、美田よりも教化を遺産として下さい。それがホントに子供にとっての幸福なのです。」

小原先生のこの二つのポイントが心に深く々刻まれました。

四時限 2:40-4:10 音楽（田中先生）

皆で楽しく精一杯歌ったので、一日の疲れも知らないうちに声と一緒にどこかへ消えたようでした。今日の授業も終り、無事にセンターへ帰り着きました。

5月13日 水曜日

長谷川 薫

今日の一時限目は、漢字はどのようにして作られたかということについてでした。現在、日本で使われている漢字は六種類に分けられていて、これを六書（りくしょ）と言います。

1. 象形文字.-ものの形を絵文字として表したもの。
例えば山、川、月、日
2. 指示文字.-点や線である事柄を指示したもの。
例えば上(上)、下(下)
3. 会意文字.-字を組み合わせて新しい意味を表したもの
例えば日+月→明、田+力→男
4. 形声文字.-意味と発音を合わせてできたもの、漢字の80%以上を占める
青→精、清、晴
5. 仮借文字.-発音で書くようになったもの
例えば伯国(ブラジル)、亜米利加(アメリカ)
6. 車注文字.-元の字意味とは違う意味を表すようになったもの
例えば楽「音楽」の意味「楽しい」という意味(音楽を聞くのは楽しい)

二時限目は音声の授業で発音や発生について習いました。日本語を教えるには正しい発音でなければなりませんからとても大切です。

5月14日 木曜日 雨

遠藤 ルリ

私たち12名は、今日、東京を見物した。

10:30に東京駅を出発し、初めに東京の名所と言え、第一番目の皇居に行った。雨の中、講談師の案内で、二重橋、松が美しい皇居前広場、東御苑などを見物したが、とってもしばしば美しい庭園だっ

た。

午後からは、増上寺に行った。三解脱門は重要文化財に指定され、壮大で美しい禅宗式山門である。境内には、東日本で一番大きい梵鐘もあるそうである。

つづいて、忠臣蔵でおなじみの赤穂四十七士の墓がある事で知られている泉岳寺に行った。今でも参拝者が多く、1年中、線香が絶える事がないといわれている。

またバスに乗ってこんどは六義園へ行った。そこで50分ほど自由に見物したが、雨の日の森の中は、人も少なくとも静かであった。

最後に浅草で、おなじように自由だったので、私は昔の情緒をしのばせる店を見て歩いた。

日本は素晴らしい歴史を持っています。

歴史は、私達の暮らしにすべてがつながっている本当であった昔のことである。しかし私は気がつかず、生活の中にある歴史の本当の意味を忘れていたような気がした。

私は『花のお江戸』のコースで歴史のおもしろさを知った。これからも、もっと日本の歴史を勉強し、二世や三世に伝えたいと思った。

5月15日 金曜日 曇

白水 グローリア

今日読解1の先生が、10月ごろブラジルへいっちゃるとおっしゃったのでとても残念だと思いました。

読解の授業の内容は日本の学校の成立、制度などでした。立派な国をつくるにはしっかりした教育を国民に与えなければならないと書いてありましたが本当に考えさせられました。

作文の時間では、先生は皆で協力しながら作文の勉強をしましょうと言われ、私達は頑張って書きました。

体育の時間でストレッチ体操や、なわとびをして楽しみました。

一日中座っているので体がかたくなり、動かなくなってしまう。

明日は根岸中学校授業参観をするので期待しております。

5月16日 土曜日 晴

三分一 直美

今日は根岸中学校へ行きました。

今まで参観した学校とはちょっと変わっていました。

中学生になると、もうあの小学生のときのかわいらしさがなくなり、口答えを始めます。

一校時には、特別なクラスへ行きました。みな不面目な人たちばかりで、きちんと話せなかったり、読めなかったり、または書けない人たちばかりでした。

授業の間に立ったり、大声を出したりして、一つも覚えようとしませんでした。あのクラスの先生も苦勞をしていると思いました。

二校時は、美術の授業へ行きました。

色々な絵や工作を見せてもらいました。ただ作るだけではなく、アイデアを出しあったり、工夫が出来るのでとてもいい授業でした。

三校時は合唱の練習がありました。

みな、あまりやる気はなかったようです。

あとで校長先生から、合唱に参観してくださいと招待されました。でも、まだ行けるかどうかはわかりません。来週は幼児教育の授業があるからです。

午後からはJICA本部の新入社員が12人来ました。バレーボールをしたり、話しあったりしました。そして、夕食はセンターの方たちと新入社員と一緒に食べました。みんな良い人たちで、とても面白い人たちでした。

昼からすごく疲れていましたが、みんな知り合えて本当によかったと思いました。

とても楽しい一日でした。

5月18日 月曜日

藤本清美

今日からまた新しい週が始まります。

7時半にいやいや起きて、きのう一日中書いた手紙を郵便局まで持って行きました。

9時半からは、二週間ほど会っていない、オーストラリアへ旅行していた丸山先生の授業でした。とてもおもしろい先生なので、終わりまで楽しい授業が続きました。

12時半に食事をして、眠くなりましたが、時間がなかったのがまんして、1時半からまた授業を受けました。

先生はめずらしいかつおぶし削りを持って来て見せました。

4時40分にみんなで自転車に乗って散歩しました。10台の自転車が並んでいましたので、道路を通った人々はじろじろ私たちの方を見ました。

帰りに17回生で入院していた研修生のお見舞いに行きました。

6時にセンターへもどりました。疲れていましたが、また書道の授業でがんばりました。今日は前のクラスと違って、ひらがなの文字を練習しました。言葉は「うみ」でした。私にとっては、漢字の方がやさしいと思います。

5月19日 火曜日 晴

北川 小百合

今日は、玉川大学で授業を受ける日でした。朝の6時に起き、急いで朝食を頂いて、7時にセンターを出発しました。

一時限目-9時~10時30分 国語 徳座先生

敬語-この前の授業で配ったプリントの続きをやりました。

-敬語の使い方について、いろいろと説明して下さいました。

-次の授業のプリントを頂きました。

二時限目-13時~14時30分 全人教育 平山先生

「母のための教育学」研究発表の続きがありました。

第2課-1. 「母の愛」P37- 「はは」、「おかあさん」、「かアちゃん」、「ママ」という言葉はすてきだと思います。やはり母の愛は「絶対的の愛」です。

2. 「よき母」P40- 「背後で生みの苦しみと育ての難儀をなめられたお母さま方に感謝することを忘れてはなりません。」お母さん、ありがとう…

三時限目-14時40分~16時10分 音楽 田中先生

愛吟集 ①玉川学園校歌

②学生歌

愛唱歌集 ①いざもろともに

②父なる神慈愛

今日の授業は、とてもすばらしかったと思いました。

その後、私達12名は国際研究室に集り、金平先生のお言葉を頂きました。7月29日~31日のことをいろいろと説明して下さいました。

センターに着いたのは19時頃でした。その前に白水さんと一緒にDAIMARU (町田)へ買物に行きました。

夕食後、第一研修室で私達と川端課長が集り、いろいろと話をしながら、体育の時間のことで皆が困っているので、一人ずつ意見を聞きました。

この頃、Bコースの皆がとても疲れているような気がします。心配だなあ。

皆さん、お互いがんばりましょうね!

5月20日 水曜日 晴

小坪 美代子

・午前 9:30~12:30 文字表記

今日も毎週のように試験がありましたが、前よりずっとできました。なんだか、テストのために勉強しているが、だんだん漢字を読み、書けるようになったと思う。

・午後 13:30~16:30 聴解

皆、疲れているようだった。だがとても楽しい授業なので、3時間なんてすぐ過ぎました。
やはり、私達の発音、アクセントはなまりがある。音声教育で気がついた。

16:40~17:40 体育

私達のリラクスの時間だが、疲れを重ねているので、時々もうイヤという気持もある。運動をしなければ体がなまるというので、がんばってやっている。寺内先生も、私達のことを心配しているそうだった。

5月21日 木曜日

田中マリ

金田一先生から一日勉強教わりました。

午前中は文法、そうして午後には日本語教授法でした。

文法の勉強は、少しずつ難しくなり始めましたけれども、皆理解するように頑張っているようです。日本語教授法では、今日、何人かが授業をやることになっていました。

今日の授業は何となく、皆も少しずつ落ち着き始めて、先生も褒めていましたので、自信も少しずつ持つようになり、とても大切な勉強の一つになっていると思います。

夜は茶道で、今日初めて前に行って、お茶をたつ前までの練習をして、友達が教わっているのを見ていると、非常に難しいことであると皆からも思われました。でも、これも私達の勉強の一つでもあるし、自分の為にもなる経験であるので、慣れるまでは難しいと思うかも知れないけど、皆、早く覚え様と頑張っています。

5月22日 金曜日 晴

安江洋子

今日は何だか朝からむし暑くて、なんとなく、夏が近づいてきたような気がする。

午前の部は読解1、永保先生の授業でした。

今日は、先週と同じように、助詞の練習問題をした。

・助詞は常に他の語の下につき、活用しないが、その機能によって次のように分類される。

- 格助詞→を、に、へ、の、が、と、から、で、より
- 副助詞
- 接続助詞
- 終助詞

今日は格助詞だけ習った。

その後、教科書の17ページ第4課「手紙」を読んだ。

午後は作文で、土井先生の授業でした。手紙の書き方について説明してくれた。

今日の授業は皆が期待していたようだった。私達にとって、とても役にたつでしょう！

明日、私達（12名）は根岸中学校で合唱コンクールに参加しますので、寺内先生は体育の時間を練習するために譲ってくれました。

皆頑張りましょうね！

5月23日 土曜日 雨

上田 弥生 ロザーネ

今日は、根岸中学校の第20回の合唱コンクールに私達も参観させていただきました。

日程表は次のようでした：

9：00～9：20-クラス練習

9：30～9：40-開会式

1. 開会の言葉（石川）
2. 校長先生の言葉
3. 合唱コンクール委員長の言葉（中野）
4. 審査委員長の言葉（伊波先生）

9：40～10：00-オープニング 音楽部

10：00～11：40-合唱発表

11：00～11：55-エンディング

1. 移住センターのみなさん（Bコース）
2. 職員とPTA

11：55～12：10-閉会式

1. 講評
2. 成績発表
3. 表彰
4. 最優秀クラス合唱
5. 閉会の言葉（手塚）

優勝したクラスの皆様は本当に素晴らしかったです！

- ・1年2組→子供ソーラン節
- ・2年1組→あの素晴らしい愛をもう一度
- ・3年4組→冬がくる前に

おめでとうございます!!

5月25日 月曜日

竹村 和

体が言う事を聞かない！でも起きて授業に出た。

朝は丸山先生の授業であった。

私が大好きな授業、日本事情でした。だからあまり眠らなかった。

昼からは読解でした。先生の言う事はあまり分からなかった。だって私は、ブラジルの事ばかり考えていた。そして日本とブラジルの差をくらべていた。

どうして、私は日本にまだ慣れないのでしょうか…

どうして、私はホームシックにかかりっぱなしで早く慣れないのでしょうか…とか考えこみ、一日がすぎるのを感じずにまた夜が来てしまった。でも書道の時間では、ブラジルの事を忘れる事が出来た!!

私は書道が始めから好きである。だから、がんばって、しまいにはとても楽しくなり、友達と毎日のように話をして寝た。

5月26日 火曜日 晴

竹中 章子

玉川学園

一時限目 9時～10時30分 国語（徳座先生）

漢字の教に付いて授業が進められた。

*常用漢字（1945字）現代の新聞は、地名・人名を除いて、常用漢字の範囲内の漢字を使っている。

1980年までは、当用漢字1,850字が使われていた。

*教育漢字（996字）小学校1年から6年まで習う漢字。

*人名用漢字（166字）子供の名前をつけるときに漢字を使いたかったら、常用漢字とこの人名用漢字、合わせて2,111字の中から選ばなければならない。ただし読み方には制限がない。

二時限目 13時～14時30分 全人教育（平山先生）

*結婚前の教育

・遺伝とユーズニックス

「清い、強い、美しい、すこやかな、よい子を生むことを心掛けおぼなりません。」

（小原先生）

・精薄児になる原因：遺伝です。そのうち22%は両親のどちらかがアルコール中毒である。

*胎教

・胎教の必要と事実「母のお腹は人間最初の学校です。胎教とは、胎児が安全に保護され、よく発育するようにその母胎が生理的に心理的に準備され注意されることです。

よい子をつくるためには、いつもやさしい喜びの感情が必要です。妊婦の身体に、生理上から精

神上からいろいろな良い影響を与えて、よい子供を生む用意が胎教の必要を説く趣旨であります。」(小原先生)

5月27日 水曜日

長谷川 薫

今日、文字表記の授業で漢字の組み立てについて習いました。

漢字は一字で一つの部分からできていて、分けられないものと、二つまたはそれ以上の部分に分けられるものがある。いくつかに分けられる場合、多くの漢字に共通に入っていて、同じような意味を表す部分を部首という、それでどの部分で意味を表すかによって7種類の部首がある。

1. へん(左側の部分で意味を表す)
2. つくり(右側の部分で意味を表す)
3. かんむり(上の部分で意味を表す)
4. あし(下の部分で意味を表す)
5. たれ(右上から左下にたれた部分で意味を表す)
6. によ(左上から右下に続いた部分で意味を表す)
7. つかまえ(まわりをかこんだ形で意味を表す)

くにかまえ

もんがまえ

ゆきがまえ

つつみがまえ

かくしがまえ

このテーマは、先生が持ってきてくださったプリントを使って勉強しました。帰国してから、このような教材を使用して日本語の授業をやりたいと思っています。

5月28日 木曜日 晴

遠藤ルリ

私たち12名は、寺内先生と一緒にジャパン・インターナショナル・スクール授業参観をした。

9時にセンターを出発し、根岸、桜木町と電車を乗り継ぎ、11:30に金田一先生と待ち合せをして渋谷についた。駅から10分ほどバスに乗って12:00にジャパン・インターナショナル・スクールについた。

そこでは次のとおり見学をした。

1-) 12:25~12:40 日本語 (Cクラス)

2-) 12:40~13:10 日本語 (P.Oクラス)

- 3-) 13:15~13:30 日本語 (L.1 クラス)
- 4-) 13:30~13:50 日本舞踊 (L.1 クラス)
- 5-) 13:50~14:00 日本語 (L.1 クラス)
- 6-) 14:00 懇談会

感じたこと

1. 早口言葉をして口をならすことも大切だと思った。
2. 漢字を勉強した後、復習として、カルタとりをすることもいいことだと思った。
3. 外国人に日本舞踊を教えることは、日本の文化を伝えていく方法であることに気がついた。

5月29日 金曜日

白水 グローリア

午前 読解 I

新聞記事を読みました。題は「乗り遅れるな書籍宅配競争」5月25日(月)毎日新聞

今まで教科書だけを対象として勉強してきましたので、新聞の言葉、漢字、表現など大変難しく感じましたが、先生が一つ一つ説明なさって下さり、そんなに難しくなかったとあとで思いました。

助詞の練習をしましたが、ほんとうに日本語は複雑だとつくづく思いました。

午後 作文

筆無精な私にとっては手紙の書き方を習うのはとてもためになる勉強です。

日本独特の構成は、日本人の心をよく表わしているとしみじみ思いました。

私も手紙を上手に書けるように早くなりたい。

5月30日 土曜日 曇

三分一 直美

今日、本当は自己研修の日でしたが、前の月曜日(5月11日)に丸山先生がオーストラリアへ行きましたので、その日には日本事情の授業はなく、東小学校授業参観へ行きました。

ですから、今日はその日の復習でした。

先生はむかし話、目の神様のお話をしてくださいました、それは大和という国の説明をするためでした。

とても面白い授業でした。

丸山先生の授業はいつでも楽しいです。

午後からは父の友達のむすこさん達が遊びに来ました。

6月1日 月曜日 晴

藤本清美

楽しいウィークエンドが終り、今日からまた忙しい週に入りました。

7時半におきて食堂へ行くと、みんなは眠たそうな顔をして食べていました。「月曜日は誰にとってもつらいんでしょうね」と思いました。

9時半から面白い先生の歴史の授業が12時半まで続きました。それから食事をして、また午後1時半にクラスへもどり、4時半まで、読解2の授業がありました。

体操の時間には、となりの二、三人の子供達と一緒にになり、バスケットをするつもりで、ボールの正しい持ち方、投げ方、又は、かごに入れる練習をしました。ゲームはまだ無理でした。

6時半に食事をして、書道の授業のために準備をしました。

7時半になると、今までとは違って、私達Bコースだけではなく、16、17回生の子弟研修生達も一緒に授業に参加しました。その結果、クラスはすわる席が充分ないほどいっぱいになりました。でもとてもにぎやかで楽しかったです。この中ではぜんぜん書道をやった事がない人も、もうむずかしい漢字を習っていた人もいました。

自分のレベルにあわせ、みんなはそれぞれがんばりました。

これでこの一日は終わりました。

6月2日 火曜日 晴

北川小百合

今日は、玉川学園へ行く日です。Bコースの皆は、全員6時に起床しました。私達12名は、朝食を頂いてから、7時にセンターを出発しました。

一時限目 9時～10時30分 国語 徳座先生

漢字-先週の授業を続けました。

今日は昔日本で使われていた漢字と、現在日本で使われている漢字の勉強をしました。

1. 当用漢字表(昭和21年)-1850字を示した表である。
2. 常用漢字表(昭和56年)-1945字 字体、音訓、語例等を総合的に示した表である。

今日の授業は非常に難しいと思いました。

二時限目 13時～14時30分 全人教育 平山先生

「母のための教育学」研究発表の続きがありました。

第五課-教育理想論 8日の教育 HEAD HEART HAND HEALTH HONOR HUMOR HUMANITY HUMBLENESS

第六課-真の教育 知育論 TEACH は STUDYにかえる事。

(教師は生徒にかえる事)

三時限目 14時40分～16時10分 音楽 田中先生

今日は、工学部1450室で授業が行われました。

ソプラノ、テノール、その他の声部に分かれて、全員で何曲も歌いました。
各グループで歌うより全員で歌う方がすてきだと思います。

6月3日 水曜日 雲

小坪 美代子

・午前 9:30~12:30 文字表記

漢字の試験後、漢字の組み立て(部首)についての授業だった。それに続いて、部首で知らない、読めない漢字を捜す、又は、辞典の引き方も教わった。

・午後 13:30~16:30 聴解

音声教育の続き

今日は、天気の良いかも知れないが、すごく疲れている。

6月4日 木曜日

田中 マリ

今日もあっという間に一日が終わってしまいました。

文法と日本語教授法の授業でした。

暑くなり始めた日本で、皆体の調子が何となく違って来たように感じているようです。でも難しい文法だと思っても、一生懸命に、それぞれ頑張っているようです。

日本人でも無い私達に、日本語を教えることは、非常に難しいことで、私達で授業を参考にしていますけど、皆何となく自分で考えているので、とてもいい勉強になっていると思います。

お茶たても、何となく皆覚えて来たようで、難しいけど面白さも出て来たそうで、とてもいい経験になります。

6月5日 金曜日 晴

安江 洋子

一日が早く終わってしまい、皆が待ちかねている週末が近付きました。

週末には何をしようかなあ…

今日の午前中には、永保先生の授業がありました。

・助詞の練習問題9・10をしました。練習問題の書き取りもしました。

助詞の使い方が少しずつ難しくなり始めましたけれども、皆理解するように頑張っています。

・敬語の使い方と敬称のつけ方などを説明して頂きました。

午後は作文の授業があり、今までは、自分の作文を推敲してきました。

今日は、東小学校のレポートの、間違えた文を皆で推敲しました。

2ヵ月が過ぎようとしているので、日本の生活にも慣れてきました。

この期間に、何に自信を持ったかを作文に書きました。

- ・体育の時間に、私達は、サイクリングしながら三溪園まで行きました。青々した景色を眺め、気分がすっきりしたようでした。でも、センターから離れているので疲れしました。

明日は、いとこの結婚式に出席しますので、楽しみにしています。

6月6日 土曜日 晴

上田 弥生 ロザーネ

今日は、体の具合が悪くて幼児教育の授業を休ませていただきました。

日本に着いて、もう2ヶ月たちます。体にも疲れがこたえてきたようです。Bコースの皆様も一生懸命頑張って授業に参加しています。

午後からは、ブラジルで色々とお世話になった方達にお礼状を書きました。

又、日曜日一日休んで、来週の授業に出席できるようにしましょう！

6月8日 月曜日

竹村 エレナ 和

昨日の夕方から歯が痛み始めました。そして夜中薬を飲んでも何をしても痛くて眠れずに、今日は朝早くから気違いになりそうなくらい痛くなったので、大好きな丸山先生の授業をさぼって歯医者に寺内先生につれて行ってもらいました。

大きな虫歯が三つ見つかり、その歯の治療を始めました。

だいぶたっても痛みはとれず、朝食も昼食も食べられませんでした。

午後の授業が始まるころには、痛みと疲れでばててしまい、寝てしまいました。

起きて見ると、こんどは抜いた側の歯がみんな痛くなっていて、部屋中を走り出してしまい、夜には薬を沢山飲みすぎてボ～としてしまいました。

私は、本当にこまった人間です!!

6月9日 火曜日 雲

竹 中 章 子

今日は曇っているので少々涼しく、気持ちいい朝でした。しかし、玉川の丘を登ったら、少し蒸し暑く感じました。

一時限目 9時～10時30分 国語 徳座先生

今日は「かな使い」に付いて講義を進められた。

昔は発音と同じように書いていたが、今はづれている

例：「けいざい」と書くが

「けえざい」と読む

昔は「ち」「づ」と「じ」「ず」の区別があった。

dzi di zi

dzu du zu

ózi zi

dzu zu

だが後で「d」が消えた。

口語は変化するが文語はこのころ。

発音は一つになったが、字は二とおりある。

二時限目 13時～14時30分 全人教育 平山先生

「母のための教育学」小原國芳

—「子供の自覚」：「学習する本体は子供自身ですから、学習する意欲を持たせることは非常に大事なことです」

—「教師としての親の感化」：「どんな人間にも、白痴であっても、必ず独創性というものがある。

教育の仕事は、その独創性を刺激し啓発することだ。」（ノールソン）

—「幼児の教育—早教育問題」：「芽生えを伸ばして成長させることが教育です。教育を始める時期が遅ければ遅れるほど、能力発現の割合が少なくなります。」

三時限目 14時40分～16時10分 音楽 田中先生

一日の疲れが大きな声と一緒にどこかえとんで行ったように感じた。

音楽の時間は実に楽しい。歌うと気分転換できるので良い気持ちになれる。また明日の勉強にがんばりましょう！

6月10日 水曜日 雨

長谷川 薫

一時限目は新聞でよく使われる漢字と熟語の書き方と読み方のテストでした。その後先週のつづきで漢字の組立（部首）でした。先生はひとつひとついねいに教えてくださいました。

午後から音声の授業でした。いつものように口を大きくあけて、先生が言った言葉を発音しているつもりですが、全然違うので日本語の書き方は難しいが、発音もおなじくらい難しいです。

とくに外国語だけを聞いていた私には、どの部分を上げたり下げたりしたら良いのかさっぱりわかりません。

6月11日 木曜日 晴

遠藤ルリ

私達12名は今日、東京外語大外国学部付属日本語学校を見学した。

引率者：金田一先生・川端課長

スケジュール：

9：20h ~11：00h 授業参観

11：00h ~12：00h 懇談会

感じたこと：

留学生達がわずか1ヵ月半の間に数多く言葉や漢字などを覚えている。そうして日本語で会話ができることには驚いた。

東京外語大学の先生達は、教え方がとっても上手である。

帰国後の活用：

日本で外国人に日本語を教えるには、直接法はよいと思う。なぜかと言うと、一步外へ出ると日本語しか通じない国であるから。それに対して中南米では、直接法だけでは不十分であることがわかった。なぜかと言うと日本語が使われていない国では、やはり、直接法の他、翻訳も必要だと思った。

6月12日 金曜日

白水 グローリア

今日はわりと涼しくて、たいへんいい天気でした。

午前中読解Iの授業があり、先週の書取りで一番皆が間違った漢字の練習をもう一度しました。

- ・第4課の宿題の練習をしました。
- ・第5課を読み、敬語について色々説明して頂きました。

敬語のむつかしさには私たちはいつもなやんでいます。

午後から作文の授業で要約文について勉強しました。

朝日新聞の「(天声人語)」の記事を読んで、全体の内容の重点を黒板に書き取りました。

来週の宿題は、その記事の要約文を書いてくることです。

19：00から宮広所長をはじめ、川端課長、江崎さんとの座談会が行われました。

日本へ来てもう2ヶ月になりますのでこの期間での学んだこと、体験したことについて楽しく話し合いました。

明日は幼児教育の授業があるので、皆忙しく箱をつくったり折紙をしたり頑張っています。

明日がとても楽しみ～!!

6月13日 土曜日 晴

三分一 直美

今日は幼児教育の授業でした。

いつもと違って、特別な作品を習いました。それはバラやこけし、橋などの作り方です。バラやこけしを作るのは始めてでした。特にこけしはすごくかわいいので、ブラジルへ帰るまでたくさん作ってプレゼント用にしたいと思いました。

ブラジルへ住んでいるときから、帰るときには、こけしを買って行きたいと思っていましたので、自分で出来るようになったので本当にうれしくなりました。

バラなどもきれいに出来るので、帰ったらたくさん作って家の中や学校などを飾りたいと思います。

今度の授業では、カーネーションを習うそうです。

楽しみに待っています。

午後からは秋葉原へ買物へ行きました。

6月15日 月曜日

藤本 清美

日本に来て2ヶ月ちょっとすぎて、けさは目ざましに気がつかず、寝すぎました。それで朝食なしで午前の授業を参加しました。

12時半に食事をしました。

午後からまた授業がありました。今日は、やっと、長い間読んでいたテキストを読み終わって、新しいのにうつりました。

4時40分から体育の時間で卓球の練習をしました。

7時半から書道の授業でした。一生けんめい正しく書くようにがんばっていましたが、先生が見ると、全体の字配りが悪いと言われました。お清書を書くにはもっと注意しました。まあ、こんな日もだれにでもあるでしょう…

6月16日 火曜日 晴

北川 小百合

今日は、私達が玉川大学へ行く日です。でも、私は先週の土曜日から気分が悪くて、ずっと寝こんでいました。

私は、何とかして、皆と一緒にいくつもりで頑張っていました。でも、残念ながら、起き上がることが出来ませんでした。

明日は文字表記の授業で、又漢字の読み書きのテストがあります。

病気のため、勉強する時間がなくて、少し不安な気持ちです。でも、私は出来るだけ頑張ります。

6月17日 水曜日 晴

小 坪 美代子

・午前 9:30~12:30 文字表記

漢字の試験。だんだん漢字が身についてきたような気がする。電車やかんばんに書いてある言葉を読めるようになったので、嬉しく思っている。

・午後 13:30~16:30 聴解

今日は音声教育で「ふ」の発音を学んだ。口の開き方とイントネーション。自分でも気がついていなかったもので、とても分かりにくかったと思う。一生懸命練習するつもりでいる。

・午後 16:40~17:40 体育

今日は、バスケットをやりました。バスケットは、初めてという人が多かったので、ルールやパスの練習から始めた。すごく疲れるスポーツだけど、とても楽しかった。

6月18日 木曜日

田 中 マ リ

午前一文法・午後一日本語教授法、金田一先生。

文法は難しい…でも、皆理解しようと頑張っています。来週の木曜日には試験があるので、よけいはりきっています。文法は、考える程、何だかもっと混乱したり、分からなくなってしまいそうです。でも、先生の仕事を選んだ私達には文法は必要だから、勉強しなければいけないので皆頑張ろうとしています。

午後の授業も少しずつ難かしくなっています。

ある単語を具体的に説明出来ない場合には、どう教えればよいのでしょうか？特に直接法の場合には…

これは、とても難しい点です。でも、そう言うことはやっぱり、実際に先生として、経験をすれば分かると思います。でも、今私達が教室で実習していることも、一つの勉強、参考にもなっています。

夜の茶道は、今日もたった三人しかたてることが出来なかった。けれども何となく、見慣れて来たようです。初めての時と比べて見ると、関心を持つ人も多くなって来た様です。

6月19日 金曜日 晴

安 江 洋 子

今日も一日が早く過ぎてしまいました。

午前中は読解Iの授業でした。

短文を書き先生にわたしました。

第4課の練習B(手紙)をしました。手紙の書き方を教えて頂きとても良かったです。

午後からは作文の授業でした。今日もまた要約文を書いた。「日本の親子心中」についてでした。

こちらでいろいろなことを教えて頂いておりますので、とても役に立つと思います。

体育の時間には、森林公園へ歩いて行きました。とても広い公園で、芝生は青々していました。自然が多く、広々とした所なので、ブラジルのことを思い出しました。

明日は、劇を拝見させて頂きますので、皆楽しみにしています。

6月20日 土曜日 雨

上田 弥生 ロザーネ

今日は、Bコースのみんな、川端課長と寺内先生と一緒に銀座セゾン劇場へ「欲望という名の電車」という劇を見に行きました。

「死の反対は欲望。生の反対は絶望。」と言う事がこの劇の内容でしたが、私達は感動して、涙をポロポロだしながら最後までランチの応援をしました。

アメリカ南部の良家に育ったランチは、家が没落したため田舎町で教師をしていた。最初の結婚の破局後身を持ちくずし、孤独に苛まれ、次第に放らつな生活へ。しかし過去の華麗な暮らしぶりだけは忘れていない。妹ステラを頼ってニューオーリンズの場末町の家に同居することになったランチは、妹の夫スタンレーとの折合いが悪く、やがて彼に過去のスキャンダルを暴露される。心の支えとしていたプライドを無残に打ちくだかれたランチは狂気へと追い込まれていく。

本当に良い劇でした!!

人生を大切に生きていくことを忘れないで…

6月22日 月曜日

竹村 和

今日は私が大好きな日本事情の授業です。私は日本の歴史が好きです。それだけではなく丸山先生の第一のファンです。

丸山先生の教え方はとてもおもしろいので最も私の注意を引くのでしょう。

歴史の授業では、私は疑問が思わず出てしまいます。

もし歴史の勉強が出来たら、ぜひ、帰国する前にして見たいと思っています。

読解の授業もだんだんおもしろくなって来ました。今日、つくづく読解の先生は大変だな!と感じました。外国人の私達に色々な言葉の意味を日本語で分かるまで…

夜は私のやはり大好きな書道でした。

私は書道の時間は何だかりラックスしているように感じます。

何だか、今になって見ると日本の事、書道、読解…良い科目ばかり、私は皆好きになってしまっている。

日本に来る事ができて良かった…

私はなんてしあわせな人間なのでしょう…

それを今まで見通す事が出来ずに…本当に私は大ばかです。でも、私は今から気分を持ちなおすのだ…

6月23日 火曜日 晴

竹中章子

今日は玉川学園で授業を受ける日なので、6時に起きてセンターを出発。東神奈川で電車に乗り換え、町田駅まで。町田で小田急線に乗り換え玉川学園駅まで。雨が降っていないので大助かり。

一時限目 9時～10時30分 国語 徳座先生

漢字の成り立ち

1. 象形—物の形からできた文字
2. 指事—事柄を指し示すという意味で、絵で表す事のできない事柄を点や線などの記号で表した文字
3. 会意—「意味を合わせる」という事で、二つ、または三つの漢字を組み合わせて、べつの意味を表す漢字を作る。
4. 形声とは声（音）を表す。ふたつの漢字を合わせて、一方で音を示し、一方で意味の一部を表す。漢字全体の90%がこの方法によってできている。

二時限目 13時～14時30分 全人教育 平山先生

『成功ばかりしている人生よりも、時々困る事もあった方が良い。他人を理解できるから』と言われた事が帰りの電車の中でも思いだされ、「かわいい子には旅させよ。」とか「若いうちの苦勞は買ってでもしろ。」と言うことわざは大変立派な親の考えだと思う。

6月24日 水曜日

長谷川 薫

試験の日までもう一日だけ、皆どきどきしています。ですから今日の文字表記の授業は大切な所を復習しました。例えば新聞の漢字と熟語や造語力のある字。

今日学んだことでとても大切だと思ったのは、

*文字表記：漢字の書き順で注意すること

- イ. 上から下へ 例 三、客
- ロ. 右から左へ 例 川
- ハ. 横がさき、縦があと 例 十、土
- ニ. 外から中へ 例 国
- ホ. はじめ中、次に左、さいご右 例 小
- ヘ. によろがあと 例 首道

ト. によろがさき 例 走起

チ. つらぬく線はさいご 例 口中

*音声 アクセントで注意すること

2音節の型では $\boxed{\text{○}}\boxed{\text{○}}$ か $\boxed{\text{○}}\boxed{\text{○}}$ となる

絶対○○ か○○ の型はありません。

6月25日 木曜日 くもり

遠藤ルリ

日本に来てからあやめ、つつじ、さつき、すみれなどを楽しんでるうちに早くも2ヶ月が過ぎてしまった。今日は、今まで研修した内容についてテストがあった。

スケジュールは次の通りだった。

9:40~9:50 聴解

10分休み

10:00~11:30 読解I-II

15分休み

11:45~11:55 作文

12:00~13:00 食事

13:00~13:40 漢字

10分休み

13:50~15:00 文法

15:00~16:00 防災訓練

6科目の試験を一日で受け、復習する時間が不十分でさんねんだった。

6月26日 金曜日

白水 グローリア

昨日テストが終わったので、緊張感が少しとれたみたいですが、疲れが急にでてきたらしく皆元気のなさそうな顔しています。

午前 読解I

助詞の練習 永保先生は私達の疲れた様子を見てやさしい授業をして下さいました。

午後 作文

試験問題についてお話をしました。

要約文の練習 同じテーマに対して三つの意見の文の要約をするのは大変いい勉強でした。

体育の時間ではゲートボールしました。初めてでしたので皆面白くあそびました。

今日映画を横浜まで見にいきました。アメリカ映画でしたので、話していることは漢字で書かれていて読むまえに消えてしまうので、2/3 しか分からなかったので残念でした...

6月27日 土曜日 曇

三分一 直美

今日も前のように幼児教育の授業でした。今度は、カーネーションや正月カード、クリスマスカード、和人形、おかんむりなどを作るのを習いました。

和人形などは簡単に出来て、とてもかわいいので、みんなにプレゼントをすれば喜ばれると思いました。

今日は、この学期で正善先生の最後の授業でした。また9月からありますので、その日が来るのを楽しみに待っています。

色々な作品を覚え、とても楽しい授業でした。

今日は、インターナショナルディです。

私、小坪さんと藤本さんは午後から恵泉女学園短期大学へ招待をうけたので、そちらへ行きました。色々な大学の留学生達が集まっていました。東京外国語大学の学生もいました。

恵泉女学園短期大学の学生は私達留学生のためにパーティーや芝居などをやってくれました。

私は日本へ来て、その時初めてお琴を弾くのを聞き、昔おばさんが弾いていたことを思い出しました。

お琴、ハーブ、踊り、劇、歌などがあり、本当に素晴らしいと思いました。学生でしたが芝居がとても上手でしたので、すごく感動もしました。

一つだけおかしなことがありました。それは、日本の童話を英語で役をしたことです。やはり、日本の舞台には日本語で話さなければ、気分が出ないと思いました。

夕食の後、ディスコと盆踊りがありました。私は盆踊りの方へ行き、少し踊りました。

短い間であまり踊れなかったけれども楽しかったです。その次は花火で遊びました。

小さい花火はブラジルにないので初めてでした。もう、時間がなかったので急いで帰ってきました。

とても楽しい日で、そしてすごく勉強になりました。

6月29日 月曜日 雨

藤本 清美

今朝、いつものように7時半に起きて、日曜日の疲れが残っていたので、朝食後、授業前まで寝ました。

12時半-食事

午後4時-読解の授業

午後4時半-体育

7時-食事

7時半-書道

今日はとてもつかれていたもので、字がどうしてもきれいにならなかった。先生が早くお清書をえらんだらいいなあと考えていました。それが終って、名前を書き、道具をかたづけていた時、友達のお清書におちて、それをよごしてしまいました。せっかくのお清書だと思ってがっかりしました。しかし、今日はとても疲れて、字も何んとなくみんな変にしか書けなかったもので、そのままお清書を先生にわたしました。

6月30日 火曜日 晴

北川 小百合

今日は、全員6時に起床しました。朝食を頂いてから、玉川大学へ行きました。

授業は、次の通りでした。

一時限目 9時～10時30分 国語 徳座先生

授業の内容

漢字-音・訓読みの説明

1. 〈音〉中国語音の読みであり、日本語に存在しない音です。その音を日本語化して発音したのが、漢字の〈音〉が出来ました。
2. 〈訓〉漢字を日本語に訳した読み方が、長い年月の慣用によって固定化した読みです。

二時限目 13時～14時30分 全人教育論 平山先生

授業の内容

「母のための教育学」研究発表の続きがありました。

第8課-美の教育-芸術教育論

- ・美とは何か
- ・美育の実際問題

第9課-聖の教育-宗教教育論

- ・宗教とは何ぞや
- ・教育と宗教との関係

今日、私達5名(竹中さん、小坪さん、白水さん、遠藤さんと私)は、発表の内容について、感想を言いました。

三時限目 14時40分～16時10分 音楽 田中先生

今日は、最後の授業が行われました。工学部I450室で、ソプラノ、テノール、アルトとベースの声部に分かれて全員で何曲も歌いました。とても楽しかったわ!

先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。

7月1日 水曜日 雨

小坪 美代子

・午前 9:30~12:30 文字表記

今日も、毎週のように漢字の試験があった。部首でカードを使って、漢字を作った。皆と一緒に遊んで、楽しく漢字を教える事を学んだ。

・午後 13:30~16:30 聴解

25日の試験解説。復習してから次の課に入った、『形容詞のアクセント』。

・午後 16:40~17:40 体育

今日は、すごく疲れていたなので、体育を休ませていただいた。

7月2日 木曜日

田中 マリ

午前 10:00~12:30 文法

文法ってなぜこんなに難しいことでしょうかとみんなから思われています。

何だか理解しようとする程、もっと分かりにくいことになってしまいそうです。でも日本語の文法って、その難しいさにおもしろさが有るのではないのでしょうか……それは多分外国の国語も同じだと思います。

午後 13:30~16:30 日本語教授法

あることをどう教えればいいのかを考えるのは、どんなに難しいことであるか、皆何となく分かって来たようです。でも実際にはもっと大変で難しいことだと思います。けれどもそう言う時こそ良い勉強になり良い教師にもなれるのではないかと思います。

茶道 夜 7:30~9:00

実際にお茶をたてることは難しい本当に難しい……

今日初めてやって、良く分かった。でも面白い。だから日本にいる間に覚えられるように、そうして日本に来て得たものの一つとして帰国出来るように、皆頑張っています。

7月3日 金曜日 雨

安江 洋子

朝日から、一日中雨が降りました。

午前-読解I

- ・先週受けたテストを皆で調整しました。皆、いい点数を取ったようです。でももっと頑張りたいと私は思います。
- ・助詞の練習問題をしながら、説明して頂きました。
- ・第5課の敬語の練習Bもしました。

午後一作文

・今日は、朝日新聞の報告文を読みました。大分新聞の漢字が読めるようになったので、嬉しいです。この報告文の要約をします。

今日は、体育はありませんでした。なぜかと言うと、作文の授業が終って間もなく、土井先生と私達12名は、今日も雨の中を出かけたからです。

寛子先生の「ひらがな48分認識法」の講演に参加しました。英語圏の学生に対して、ひらがなの形と発音の組み合わせを、英語に関連させていかに、スピーディーに教えるか等でした。

とても良い講演で、先生の立ち場に立った時、私に非常に参考になると思います。

遅くセンターに帰りました。

7月4日 土曜日 くもり

上田 弥生 ロザーネ

今日の午前は自己研修の時間でしたが、特別に10時に外出させていただきました。私とBコースの6名は奥多摩（鳩の巣）という所へJICAの新社員達と一緒に、バトレッス・キャンプ場へバーベキューをやりに行きました。

山登りを30分くらいして、ハアハア言いながら素晴らしいキャンプ場へ着きました。空気がとてもよくて、川もきれいなつめたい水が流れている所で土・日曜日を楽しくすごしました。

土曜日の夜には、バーベキューが終わった後で、皆ではたるをながめに川の上の方へ行きました。そこで皆は石の上に立ってなつかしい歌を合唱のように歌いました。私はブラジルにおいて来た父を思いだし、悲しくなりました…眠る前には父に手紙を書き始め、すぐにぐっすりと寝てしまいました。

キャンプに行ったらたくさんの友達ができた事がとてもよかった!!

そして、あの素晴らしい景色は写真を見るたび、心が明るくなるような気持ちで私の思い出に残っています…

7月6日 月曜日

竹村 和

昨日の朝から風邪をひいて、微熱が出て、今日は朝から何か体が言う事が聞かない。でも朝の授業には出た。

頭はボーとしてとても痛いので、私の大好きな授業なのに元気が出て来ない、私はティッシュで鼻水をふきながらがんばっておりました。でも昼からの授業に出る前にトイレに行って始めて見た、私の体はじんましんでいっぱい、そしてとてもかゆい…でも「まあ授業に出よう」と思い行ったのですが、途中で寒くなり、体のじんましんはますますかゆくなり、頭はふらふらしてしまったのでまた部屋へ帰り、ずーと寝た。

今日は書道の時間もずーとベットですごしました。

とても悲しいが涙も出ない！

かゆいのは痛みよりいやな物です。

どうして私は次々と病気になるのでしょうか！！

とてもくやしいけど泣く事さえ出来ず、一人で自分の一生の事を考えこんでいました。

どうしたら私はこの時をのりこえる事ができるのでしょうか…

7月7日 火曜日 晴

竹中 章子

午前 9:30-12:30 文字表記(坂根先生)

今朝は「よく使われる漢字」(造語力のある字)に付いて説明された。漢字の中には、他の語に付いて、新しい意味の加わった語を作る力を持つものが多い。

例:新-新人類、新世界、新番組、新発売、新製品…

性-人間性、抽象性、可能性、性格、性質…

-柔軟性、国際性、具体性、植物性、人間性

的-全体的、具体的、国際的、近代的、科学的、化学的、古代的、物理的、ラテン的…

午後 1:30-4:30 長野先生

玉川大学の長野先生が「中南米の日本語」と言う題で特別講義をされた。

先生は昨年南米にいらっただけではなく、毎年のように日本語教師研修生達に教えていらっしやるようで、「中南米の日本語」に付いて大変詳しいと思った。

日系人にとって「日本語」は中南米と日本を結ぶ橋になるので、日本語を伝えて行くために努力しなければいけないと感じた。

7月8日 水曜日

長谷川 薫

午前中は文字表記の授業でした。今日は大(おお)、大(たい)と大(だい)の違いを習った。

*大(おお)→ひとつの字が意味を持っている

*大(たい)→ひとつの字で意味を表わせない(漢語)

*大(だい)→古い言葉である

最後につく例:偉大

ひとつの字で意味を表わせない

午後からは音声の授業で次のことをした。

ポルトガル語、スペイン語と日本語の価値判断

1. 母音や“ン”や“ツ”のアクセントを教えるのは難しい、それは日本語独特の発音だから
2. スペイン語やポルトガル語にはンが独立した言葉がありません。
3. 日本語では“ウ”が“オ”になる例：高校、こうこうと書いてこおこおと読む。
4. KOをKOO と読む、例：KOENこおえん
5. つまる音がある例えばキャ、キュ、キョ

7月9日 木曜日 晴のちくもり

遠藤ルリ

私達12名は、今日東京国立博物館を見学した。

引率者：宮広所長

スケジュール：9：30分根岸出発～10：40上野駅につき

10：50～15：30 東京国立博物館見学

15：30分：上野駅出発。～16：30分センターにつく。

午前中は、東洋館で自由に見物させてもらった。東洋館の中核をなすのは、中国美術であった。中国文明のおこりは古く、あるときは西方文化を色濃く反映し、また独自の美の世界をひらき、四方に影響を与えてきたと思われる。また日本の美術に、何時代にもわたって大きな影響を与えている。

12：30に全員そろって食事をし、午後からは、表慶館で自由に見物をした。表慶館には、日本の考古遺物が時代別に区分して陳列されていた。考古遺物とは土中から発掘された遺物で、文字による記録のない古い時代を主とするが、飛鳥時代以後の歴史時代についても重要な資料となるものがある。

この研修でいちばん印象に残ったのは、東洋美術であった。東洋美術は日本の美術に大きな影響をもたらし、独自の美しさをもっていると思った。中国美術はとくに、心をなごませるような感じの中でなんとなくかわいい感じもした。

表慶館は、建物が美しく、昔の感じがすごく出ている建物だった。宝物も飛鳥時代や弥生時代、古墳時代、縄文時代の特徴がすごく出ていて、昔の人々の生活が目に見えかぶようであった。

法隆寺宝物館は、日本の古風がでており、伎楽面などは、ぶきみな感じでした。光背はいろんな模様がありすごく美しく思った。多くの宝物を見学して、私は、昔の人々はその時代にあった宝物品を作りそれなりの工夫をして、美しさを出していることに気がついた。

この研修で日本、中国、エジプト、イラン、イラク、インドなどの文化や歴史を知り、パラグアイへ帰っても、この研修で見たことを思い出し、国の発展に協力できるような二世三世を育てなければいけないと思った。

いい勉強をさせていただきまして、ありがとうございました！

7月10日 金曜日

白水 グローリア

暑い〜毎日を頑張ってお過ごしております。

今日午前から 読解「

- ―先週の練習問題から漢字の書き取り
- ―第5課ののこりの練習
- ―敬語の復習
- ―第6課の音読

午後 作文

- ―先週の報告文の要約をしました。
- ―報告文の構成図表の読み方などを勉強しました。
- ―省略された文に肉づけをしました。

体育の時間ではゲートボールをしました。

寺内先生との最後のクラスでしたのでミニお別れ会をしました。先生は絶対遊びにいらして下さるとおっしゃいましたので、皆先生と別れるのは寂しかったが又会える日を楽しみにしております。

7月11日 土曜日 晴

三分一 直美

今日は、自己研修の日でした。ですから、私はノートの整理や歴史の本を読みました。読めば読むほど面白くなり、歴史を読むことが大好きになりました。

でも、今読んでいるのはほとんどが漫画なので、もっと難しく書いてある本も読めるようになりたいと思っています。

日本の歴史の本でも二つの種類があり、日本の誕生が始まるのと、もう一つは人物事典というのがあります。(このセンターの中の本で)人物事典は丸山先生が教えていらっしゃる歴史人物が出ていますので、読んで見たいと思います。ほとんど漢字で書いてありますので、終るまで時間がかかりますが、出来れば、8月一杯で読み終りたいと思っています。

7月13日 月曜日 晴

藤本 清美

今日は寝すぎで、朝食も食わず授業参加しました。日曜日の疲れで、とても眠かったけれども、大切な日本の歴史を一生けんめい聞きました。

12時半にいつものようにみんなと一緒に昼食をいただきました。

午後1時から読解の授業で本を読んだり、質問に答えたりしました。今日は、今まで見た事がなかったテキストを読みました。昔の書き方で、「い」が「ゐ」又「ひ」、「ろ」が「ら」、「う」が

「ふ」、小さい「や」「ゆ」「よ」「つ」が他の字と同じ大きさと読みにくかったです。

5時に体育の先生とセンターの近くにある公園まで散歩しました。今日から新しい先生に変わったので、公園で自己紹介をしました。

6時に夕食を食べました。

7時半に書道の授業を参加しました。今日は特別に良く書けてうれしくなりました。先生にも何回も「今日はとても上手に書けているわね」と言われ、もっとうれしくなりました。お清書も早く出来たので(8時15分)、退屈しないため、名前を書く練習をしました。

7月14日 火曜日 晴

北川 小百合

今日一日中、私達11名は新宿日本語学校へ授業参観に行きました。

7時に引率者の川端課長と一緒にセンターを出発しました。

スケジュールは、次の通りでした。(研修内容)

午前 9:30~12:30

日本語教授法講座 江副隆秀校長

1. 表記の効果的導入法(ひらがな、カタカナ、漢字)
2. 発音指導
3. 品詞の分け方
4. 機材の紹介
5. 日本語教師認定試験
6. 中南米派遣講師から見た現地の事情と実際

午後 14:00~16:00

教室見学及びビデオによる学習 理事長中島

日本語教師研修生(Bコース) - 自己紹介

新宿日本語学校についての説明 - 江副隆愛さん

初級1と2のクラス - 授業参観

その後、私達は一人一人自分の感想や意見を述べました。

7月15日 水曜日 晴

小坪 美代子

午前 9:30~12:30 文字表記

- ・一学期最終の漢字の試験だった。
- ・自己研修のテーマについて、いろいろと教えてくれか。

午後 13:30~16:30 聴解

- 同じく一学期の最終の授業だった。
- 音声教育：教材の並べ方

ミニマル・ペアの使い方

リズム

アクセント

イントネーション

ポーズ

16:40~17:40 体育

- ひろ子先生（新）軽い体操とバスケ

今日はとても暑かった。日本の「ムシ暑い」夏を体験している。本当にア・ツ・イ!!

7月16日 木曜日

田中マリ

毎木曜日は授業が10時に始まることで、皆何となくゆっくりするようです。

午前中は文法の時間で、皆どうしても少しでも理解しなければいけない気持ちが有るので、何となく興味を持ちます。けれども「文法はなぜこんなに難しいものなのか…」と皆よくそういっています。日本語の文法って、はっきりした説明が分からないそうですけど、皆せめて、正しい日本語の使い方を覚えようとしています。

午後は日本語教授法で、今日はわりと早く終わりました。今日で皆、多分2、3回ぐらいは前へ行って、ある文型の考え方をやりました。実際に生徒を入れてやったことではないから、本当にどうなのかわからないことです。けれども、今までやって来たことはとても良い参考になったと思います。帰国後本当に役に立つことであると思います。

夜は茶道で、今日でやっと皆半分ぐらいの茶たてをやりました。初めてのことであり、慣れていないこともあって、結構難しいことだと皆から思われ、又感じられています。けれども、これも、日本へ来てのとても大事な勉強の一つであるから、帰国するまでには覚えたいと皆思っています。

7月17日 金曜日 晴

安江洋子

日本へ来て、梅の季節を経験することができず、今日でもう梅雨ともお別れげす。良かったのか、残念だったのか分からない。

今まで、蒸し暑い日を過ごしてきましたが、真夏のことを考えると嫌な気がする。

- 午前中は読解Iの授業

今日は、早速新聞の記事のコピーを頂き、それを読むことができ嬉しかった。その説明もあった。
「助詞の練習問題14」を始めた。

• 午後からは日本事情の授業

今日は、「桃山文化の時代」について語った。

皆は、丸山先生の授業に興味を持っているらしい。

いつも、面白く話して下さったり、細かく説明して下さるので、日本の歴史もだいぶ分かってきたような気がします。

• 体育

体の具合がちょっと悪かったので、休ませて頂きました。

これからもっともっと蒸し暑い日が続きますので、体に充分気を付けながら、日本の夏を経験しましょう！

7月18日 土曜日 曇り/雨

上田 弥生 ロザーネ

今日は、自己研修の日であり、いろいろと自分の研究テーマについて本を調べてみました。けれども、まだ研究テーマがはっきり決まっていないので、何にもできませんでした。

おけている日記をこのノートへうつしていたら、時間が「あっ」と言う間に過ぎてしまいました。

Bコースのみんなも自習して一生懸命勉強に頑張っているようです。その他、色々とお世話になった国の方々へお礼状の手紙や教えて下さる先生にもレポートのような物を書いていました。

7月20日 月曜日

竹村 和

今日の朝は起きたくありませんでした。それは豊臣の時代の歴史の夢を見ていたからです。でも9時半に弥生ちゃんが起こしてくれました。

あわてて授業に出るしたくをして、教室へ上がろうとした時、Bコースのみんなが下りて来て、「今日は、授業はない！もしかして、和ちゃんが起きたからではないの」と大声で言ったので、私は部屋に帰り、歴史の勉強をしたり、本を読んだりしているうちに12時半になっていたので食事をしに行きました。

昼、本当は自己研習の時間、でも本を読んで勉強しているうちに、いつのまにか寝てしまっていた。

4時半に目がさめ、体育の時間にぎりぎりに間に合った。

今日の体育の時間はサイクリングでした。港まで行きました。

夜は書道があり、9時10分に終り、部屋へ帰り、それからシャワーをあびて宿題をしております。

私に取ってはとてもむずかしいので字引を引きながらしています。

今は夜中の2時半、もう日は閉じそうだが…

今日は何時に眠れるかなあ～…

7月21日 火曜日 少々曇りのち晴

竹中章子

午前 9:30-12:30 日本事情 (丸山先生)

豊臣秀吉の主な政策

- ・検地
- ・刀狩
- ・キリスト教の禁止
- ・朝鮮への侵略

について講義を進められた。

午後 1:30-4:30 読解2 (古沢先生)

「話」という題のテキストを使い、その中で「彼」と「彼女」(高橋義孝)という作品を勉強しました。

新しい熟語や単語の意味を詳しく丁寧に教えて下さいました。

今日は古沢先生の最後の授業なので、記念写真を撮った後、皆で買った花束を感謝の印として差し上げました。先生には大変お世話になり、もうお会いする事が出来ないと思うと、ちょっぴり寂しい気持ちになりました。

夜 7:30-9:00 華道 (竹内先生)

美しいお花を生けていると一日中の疲れがとれて、さっぱりした気持ちになります。先生は一人一人の作品を見て直して下さいました。

7月22日 水曜日

長谷川 薫

午前中は自己研修で午後からは特例として永保先生の読解の授業でした。私たちは明日ディズニーランドへつれていってもらえるのでワクワクしていました。

先生からはいつものようにたくさんの新しい言葉や日本の習慣について教わりました。

夏休み中にやらなければならないこと：宿題

7月23日 木曜日 晴

遠藤ルリ

皆が楽しみにしていたディズニーランドへ行く日が来た。

朝、6時に起きて朝食をし、7時半にセンターを出発した。根岸、東京、浦安と電車を乗り継ぎ、浦安からはディズニーランド行きのバスに乗って9時ごろ着いた。

ディズニーランドでは自由行動だったので皆自由に、乗り物に乗ったり、ショーを見たりして楽しい一日をすごした。私は最初に「シンデレラ城ミステリーツアー」に行った。そこは、シンデレラ城の中の謎を探る不思議な旅だった。それから「ピーターパン空の旅」ここでは、海賊船に乗ってロンドンの夜空を飛び、ネバーランドへの冒険にでかけた。「白雪姫と7人のこびと」では、人里離れた森の中に、7人のこびとや、意地悪な魔法使いがいた。「ピノキオの冒険旅行」人間の子供になるまでの、ピノキオ童話の世界が楽しめた。

11:30ごろ昼食をし、午後からは、「ミート・ザ・ワールド」に行き、ここでは太古の日本から現代へタイムトラベル、世界との出会いの中で、発展していく日本の姿を回転劇場で体験した。それから「ファンタジーランド行きスカイウェイ」では、東京ディズニーランドを上から眺めながらロープウェイでファンタジーランドへ…。「グランドサーキット・レースウェイ」ではレーシングカーを運転して、曲がりくねったコースに挑戦した。「蒸気船マークトウエン号」は、開拓時代のロマンチックなショーボートでアメリカ河の旅だった。それからいかに乗って、トムソーヤ島の冒険へ出発した。6:30ごろスモールワールドレストランで夕食をしてこんどは「カリブの海賊」ボートに乗ってカリブ海へ。海賊たちが暴れまわるスリリングなシーンが展開していた。その他、いろいろな遊びを見てまわった。

東京ディズニーランドのもうひとつの楽しさは、すてきなショーであった。きっと素晴らしい思い出のひとつになると思う。

こんな楽しい研修をさせていただきまして、ありがとうございました。!!

7月25日 土曜日 晴

三分一 直美

今日は、自己研修の日なので、少し本を読んで、そして永保先生の宿題を始めた。今までのと違って、もっと難しいと思った。

その後、今度行く伊豆の学芸会の脚本を一応見ておいたけれども、まだ、だれがどの役をするのか決まっていないので、練習は出来なかった。

午後から、友達と出かけて、夕方江の島の花火大会を見に行った。

こんなきれいな花火大会は初めてだったので本当に素晴らしいと思った。

7月30日 木曜日

北川 小百合

今日は、第35回学校劇夏期大学の第2日です。スケジュールは次の通りでした。

午前7:30~8:00 朝食(大宴会場)

9:00~12:00 分科会(各分科会場)

第8分科会:音楽を生かした劇の指導

歌「アップリケ」「トットココ」を「五分間ミュージカル」に作る。

午後1:30~3:00 即興劇講座(各グループ会場)

グループの方々といろいろな劇をやりました。

3:00~5:00 即興劇実習(同場所)

5:30~6:00 夕食(大宴会場)

7:00~9:30 夜の集い(大宴会場)

9:30~11:00 コンパ

明日で、学校劇夏期大学は終わります。

楽しかった、素晴らしかった、講師の先生、そして担当の方々いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

伊豆長岡夏期大学 さようなら…

私は頑張ります。

7月31日 金曜日

小坪 美代子

夏期大学も今日で終わり!

朝食後、私達は荷物を持って各分科会場へ行った。皆、せっかく友達になったのにとうとう別れの日…悲しみと「またきっと会いましょう」の気持ちで分科会の皆さんと別れた。

別れの集いの時はもう皆泣いてしまった。住所を交換し、写真を撮ったりして忙しかった。たったの三日間で皆と友達になれたことと、夏期大学へ来られたことは非常によかったと思う。

後輩達もきっと夏期大学に参加してください。とてもいい経験になると思う。

8月5日 水曜日

田中 マリ

日本へ来て、初めての夏を過ごしております。

とても蒸し暑い毎日です。ですから、私達、海へ行く日が何より楽しみでした。

暑いし、電車も混んでいる。早く江ノ島へ着きたい。それが皆の願いでした。

海へ着くと、皆の嬉しい気持ちは、何だか子供の頃にもどったような気持ちでした。

海へ来て良かったけど、風がとても強くて、大変でした。でも、皆、楽しみにしていた海の日だ

ったから、それぞれ日焼けを楽しむことが出来たと思います。

広い南米の国から来た私達には、あんなに大勢の人がいる海は初めてでびっくりしました。日本人は、せまい思いをしながら皆と協力して、遊ぶ、又は楽しまなければいけないのですねエ……

8月11日 火曜日

安江 洋子

今日は、期待していたホームステイの日。一人一人各家庭で二泊三日のホームステイ。駅で別れた時、皆は不安で一杯だったような気がした。

私は、藤沢駅からバスで20分位離れた所だった。

バスの停留所まで、おばあちゃんが出迎えに来ていた。

私は、藤沢市の金子さんの家庭でお世話になった。

金子さんの農園はとても狭かった。近くに家がたくさん立ち並んでいるので、農家のような気がしなかった。ブラジルの農家のイメージを持っているからだと思った。

家族に紹介され、お茶を飲みながら話合った。

金子さん一家は、5、6年前までは、シクラメンを植えていた。現在、それをやめて、お花のお店を出している。切り花と植木鉢を市場から仕入れて、販売している。

今日は、早速お店で手伝った。お花が大好きな私は、どれを見てもきれいだなア…と思った。植木鉢の配達にも行った。

お盆が近付いているので、お客さんがいつも出入りして、大変忙しかった。

夜は、8時頃までお店で働くので、家へ帰るのが遅かった。

急いで夕食を頂き、町内の盆踊りに連れて行ってもらった。私も皆さんと一緒に楽しく楽しんだ。

金子さんの家庭はとても明るく、親切にして頂いた。日本の農家での経験は、とても良い思い出なることでしょう！

明日も楽しいホームステイでありますように……。

8月12日 水曜日

上田 弥生 ロザーネ

月曜日の夜からホームステイ先に平塚の二宮家でお世話になっております。

昨日は、古沢小学校の生徒達と一緒に「よみうりランド」と言う遊園地で楽しい一日を過ごした。

今日は、朝食後、二宮市の園芸試験所までつれていってもらった。そこは、ウルグアイから来た後藤正昭さん（子弟研修生-17回生）の研修先であり、色々と花卉についてのお話を二宮さんとしていた。

午後には、お盆の準備の買い物に行き、二宮さんの二人の娘達と奥様と一緒に村の大きなスーパー

まで行った。

夕食を急いですまして、古沢小学校の盆踊りに参加した。私も皆と一緒に楽しく。とても良い日本文化の一つを経験することができた。小学校の生徒達の楽しみはアイスでしたが、踊りに参加した方は喜んで食べていた。

本当に楽しい一日でした。明日は最後のホームステイだが、又、楽しい一日であることを心から祈っている。

8月13日 木曜日

竹村 和

今日は13日、無事にホームステイ先からセンターへ戻って来る日である。とても楽しく三日間はすぐすぎってしまった。

何だか忙しく、楽しくないのでセンターに帰りたくなくて、涙が出てしようがなかった。足がむくんで重く、おなかは痛むのでとてもとてもセンターに帰る気持ちにはなれなかったが、友達にも会いたい。そのような感じで、何が何だか分からないうちにセンターに良い思い出とおみやげをイッパイ担いで帰って来た。

友達と話をして寝ようと思う。

本当に良い所で良い人々に恵まれ、私は眠れそうもないほど嬉んでいます。

9月1日 火曜日

竹中 章子

13日間の楽しい夏休みもあっと言う間に過ぎさり、それぞれ親戚の家から一生忘れられない美しい思い出を沢山持って、我が家“センター”に帰り着きました。

今日からまた一生懸命頑張らなくてわ!

9:30~12:30 1:30~4:30

レクリエーション 指導技術研究

担当 石井和夫先生

1. 集団活動にあたって
2. グループの組織と運営
3. リーダーシップ
4. 子供と遊びについて
5. レクリエーション指導
 - レクソング、シンキングゲーム
 - ゲーム

・マジック

歌やゲームを沢山教えていただき、子供達が日本語を楽しく勉強するのに、大変役にたつ事だと思っています。

9月2日 水曜日

長谷川 薫

今朝早く竹村さんが急病で入院しました。

午後、体育の時間に先生とBコースの皆は面会に行きました。聞くところ、結果はまだ分からないそうです。でも竹村さんは元気そうだったので安心しました。早く良くなってセンターにもどって来てね！ 午前の文字表記の授業で学んだこと

1. まちがいやすいかなづかい

イ. 長音

ロ. 「～キ」と「～ツ」、「～ク」と「～ツ」

ハ. じ、ち、ず、づ

ニ. 助詞「を」、「は」、「へ」

ホ. 歴史的仮名遣いの例

2. かたかなの使い方、外来語の書き方

イ. 外来語

ロ. 外国の国名、地名、人名

ハ. 擬声語、擬音語

ニ. 動物や植物の名で漢字のむずかしいもの

ホ. 専門用語

ヘ. 読みにくい漢字の語を特に強調したい時

午後 聴解の授業で学んだこと：

日本語のイントネーション

9月3日 木曜日

遠藤 ルリ

日本に来てから早くも、5ヶ月が過ぎてしまった。

どうしてこんなに早く月日が過ぎ去っていくのかとづくづく思う。

今日の授業は、金田一先生による文法と日本語教授法であった。

文法の時間には、

1. 各文の「～ている」が表す意味
2. 「しています」と「します」の違い
3. 「しまる」と「しめる」の違い
4. 「～たり～たりする」の意味

などについて勉強した。

日本語教授法では、第11課『日本へ勉強に行きます』の教室作業や、ドリルのための言葉の組み合わせ方について教わった。

この課を教える場合は、次の順番で進めた。

1. 文の型
2. 置換え
3. 言い換え
4. ドリル
5. 丸うめ
6. 本文
7. 問いと答え

その他、敬語の使い方なども詳しく説明した。

夜は、華道の授業があった。今日はBコースと子弟研修生とが一緒になって教わった。

9月4日 金曜日 雨

白水 グローリア

まだ夏休みのなまりが残っているので、ちょっと体がいうこときかない…

午前中の読解の時間で、永保先生と夏休みの一日の日記を書いた。

20分間、色々と楽しい事を思い出しながら作文を書いた。その後助詞の宿題をチェックした。新聞の記事と夏目漱石の文でしたのでかなり難しかった。

午後からの作文の授業では休みの宿題、報告文の完成をグループに別れてした。そしてその報告文を発表することにした。

講堂へ移って、4人、グループ代表として壇の上に立って報告文を読んだ。

とてもいい経験だった。

やはり人の前で話すって簡単じゃないのだナ～と思った。

スピーチの授業が心配になってきた…

9月5日 土曜日

三分一 直美

7月からずっと自己研修だったので、今日の幼児教育の授業は久しぶりだった。

また、前のように色々な作品の作り方を学び、とても楽しい授業だった。

今日は、手袋に花を付けたり、和人形やひなまつりの絵などを作ったりした。すごくかわいい~なと思った。

今度の12、13、19、20日に、先生のご主人が色々な美術を教えて下さるので、『ぜひ見に来て下さい』と先生が誘って下さったのでとてもうれしかった。でも全部に必ず参加出来るかは分からない。

それは、その頃父の友達がブラジルから日本にみえるからなのだが、出来るだけ行きたいと思っている。

9月7日 月曜日

藤本 清美

7:30 朝食

9:30 日本事情の授業(8月の続き)

- ・鎖国令とは…
 - ・なぜキリスト教を弾圧したか…
 - ・鎖国は日本にとって良かったか悪かったか
- について説明がありました。

12:30 昼食

13:30 スピーチ

- ・好きか。自信があるか。
- ・どうして必要
- ・話は人なり
- ・話し方が上手になるには練習!

18:00 夕食

19:30 先生の都合で書道の授業が休講になりました。

9月8日 火曜日

北川 小百合

今日は、一日中石井先生の授業でした。

午前9:30~12:30

午後1:30~4:30

レクリエーション

- A 歌
- | | |
|-------------|------------|
| ①今日の日はさようなら | ⑦十五夜さんの餅つき |
| ②惜別の歌 | ⑧マサビリビリ |
| ③忘れな草をあなたに | ⑨十人のインディアン |
| ④シャローム | ⑩人参大根かぶら |
| ⑤營火の祈り | ⑪ホーキ ポーキ |
| ⑥ふるさとの歌 | ⑫象さんとくもの巣 |
- B ゲーム
- | | |
|-----------|---------|
| ①知恵の輪 | ⑤勝てば官軍 |
| ②満員電車 | ⑥チャンピオン |
| ③象さんとくものす | ⑦足踏み |
| ④すわるか勝ち | ⑧ねずみとり |
| | ⑨肩たたき |

C 手作りおもちゃ

- ①わりばしマシガン
②びー玉のこしさげ

今日は、とても楽しい一日でした。石井先生、どうもありがとうございました。いろいろなことを教えて頂き、教師の私にとって参考になりました。子供達と一緒に楽しく時間を過ごすことは大切だと思います。

9月9日 木曜日

小 坪 美代子

☆午前 9:30~12:30 文字表記

- ・漢字の試験
- ・外来語の書き方
- ・論文の書方。自己研修のテーマ（選び方）

☆午後 13:30~16:30 聴解

- ・話し言葉の形態分類
- ・座談会の文法と音声

☆16:40~17:40 体育

今日の体育は散歩だった。リラックスできてとてもよかった。その後、病院に入院している竹村ちゃんのお見舞いへ行った。元気そうで安心した。

9月10日 木曜日

田中マリ

今日は、宮広所長と一緒に鎌倉見学に行きました。

暑い中の見学で大変だなあ……と思いながら、結構楽しい時間を過ごせたと思いました。

鎌倉は日本にとって、非常に重要な時代でもあり、今でも日本人は大切にしています。そのおかげで、私と同じ若い日本人達にも、旅行者達にも、そうして、私達のように勉強する者にも大勢の人々から歴史が伝えられ、実際に見ることが出来ます。

日本の歴史は非常に難しいし、私達外国人には、完全に知り、理解することは難しいことでしょう……。でも、少しでも理解し、知るだけで、とても良いことだと思います。

難しいけれども面白いですねエ……。

見学コースは、

1. 円覚寺
2. 建長寺
3. 鶴岡八幡宮
4. 大仏

でした。

今日宮広所長から色々日本の歴史、鎌倉での説明をして頂き、とても良い勉強になりました。

夜は、茶道の授業があって、一日歩いていたせいなのか、皆かなり疲れているような顔でしたけど、最後まで頑張っていました。

長い間授業を受けていなかったせいなのか、何となく忘れてしまったようでした。でもまたすぐやれば思い出し、最後まで覚えられるように皆頑張っています。

9月11日 金曜日

安江洋子

一週間があっという間に過ぎ去りました。日本に来て早々5ヵ月が過ぎ、後、残りの7ヵ月間を大事にして頑張らましようね！

・午前 9:30~12:30 読解

先週書いた日記を先生が推敲し、返して頂きました。

今日は、それを原稿用紙に清書し、一人一人が発表しました。

助詞の練習問題(15)

第12課 漢字

・午後 13:30~16:30 作文

レポートの推敲について、色々と討論しました。

文章を理解したかをためずにはどのような質問をするか。

(質問の仕方)

質問によって答えを出し、その答えが要約文になる。

• 16:40~17:40 体育

体育を休まさせて頂きました。

9月14日 月曜日

上田 弥生 ロザーネ

午前の授業は丸山先生に日本事情についてのお勉強をし、いつものようにとても楽しい短い時間であった。先生は本当にBコースの全員から感心されている、素晴らしい教師である。

午後からは、長野先生の授業で、スピーチの練習をし、面白い時間があったと言う間に過ぎてしまった。

授業が終わり、Bコース全員は関東病院へ竹村和さん(和ちゃん)の見舞いに行った。彼女はとても嬉しそうな笑顔で私達をむかえ、こちらもなんとか早く良くなって退院してほしいと思いながら、色々と笑い話をしていた。

夜は書道のおけいこがあり、一生懸命上手な習字になるように、筆によく墨をつけ、白い紙の上に踊っている字を書いた。神山先生にちょっとほめた言葉をいただき、私にとっては大変心に残る一言であった。

この一日を無事に過ごし、明日の休みを楽しみにしながら、良い夢を見るように祈りながら眠ってしまった。

9月16日 水曜日 雲雨

竹中 章子

今朝、台風13号が関東地方に近づいているニュースを聞き、多少不安な気持ちになった。外を見ると非常に曇っていて、風が強く吹き、ドミニカで経験した台風を思いだした。

しかし、今日もいつもと同じく授業があったため、不安な気持ちはいつの間にか消えてしまった。

午前 9:30~12:30 文字表記 (坂根先生)

漢字のテスト

自己研修のテーマについて個人指導

午後 13:30~16:30 聴解 (斎藤先生)

談話の研究について

座談会の音声

16:40~17:40 体育

音楽に合わせた ストレッチ体操
ジャズ体操

19:30~20:30 防災訓練(磯子区 消防署係官2名)

雨が強く降っていたため、外でホースを使った訓練をする事ができなかったため、センター内で消火栓の使用法を教えていただいた。

1. 押ボタンを押す。
2. ノズルを持って、ホースを引き出す。
3. バルブを開ける。

その外、火事の原因や火災予防について詳しい説明があり、良い勉強になった。

今、外では風がますますひどくなり、ドアや窓が大変にぎやかに、ガタガタ音をだしているが、ぐっすり眠れるかしら？

9月17日 木曜日 曇

長谷川 薫

午前:10:00~12:30 文法

学んだこと:

- ・否定のテ形には「ないで」と「なくて」がある。

例えば:

日記を読まないてください。

最近の若者は本を読まなくて困ります。

- ・二つの文の意味の違い。

例えば:

勉強しなくてはならない。→物理的に他が不可能

勉強しなくてはいけない。→社会的に他が不可能

- ・各文が返事になるような質問の文の作り方。

例えば:

「太郎が一番大きいです」が返事になるような質問の文は:

- ・このクラスでだれが一番大きいですか。
- ・兄弟の中でだれが一番大きいですか。
- ・N1とN2とN3の中でだれが一番大きいですか。

午後:日本語教授法

- ・作文をチェックする時次の事に気をつけること。

文字、文法、語彙、形式、句読点の位置、文体、そして直したところは必ずやさしく答えられるようにすること。

ひらがな、カタカナ、漢字を外国人に教える授業をビデオで見せていただきました。

9月18日 金曜日 晴れのち雨

遠藤ルリ

5ヶ月以上も無事に過ごし、さわやかな秋の季節が近づいてくる。

今日の読解の授業は、いつもと違って、試験のための復習をした。

1. 第12課の練習問題
2. 第9課の読み
3. 第9課の練習問題

その他、符号の使いかた、手紙のエチケット、正しい手紙を書くために、手紙の構成、手紙の用語、あとづけなどについての参考資料をいただいた。

午後の作文の授業では、次のようなことについて教わった。

1. 講義を聞く技術
 - ※ノートの選び方
 - ※ノートの使い方
 - ※ノートの書き方
2. 短く簡単に書く方法

体育の授業ではサイクリングをした。横浜の港まで行き、そこはいつも、「日本だなア...」という感じが強くする。

帰りに、関東病院に入院している竹村和ちゃんのお見舞いに行った。元気そうだったのでホッと安心した。

和ちゃんが一日も早くよくなるように祈っている。

9月19日 土曜日

白水 グローリア

台風は過ぎさってしまい、今日はなんとなく秋らしいさわやかな一日だった。

子弟研修生達の忙しそうな荷作りの準備を見て、励ましてあげるしかできないのが残念だ。

今日は、午前中、幼児教育を担当なさって下さる正善先生から、指人形の作り方を教わった。

ただの軍手でかわいらしい兎とか、卵を抱いた鶏が作れるとは思っていなかった。私達にはとてもよい勉強だった。そして正善先生から教わった、色々の教材をどうすれば効果的に使えるかは、一人一人の研究のテーマにもなると思う。

午後からは、7人のグループで「こまの会」の児童演劇入門講座に出席して、ここでも又、スポンジ人形を作った。荻野義幸先生は「ガイ氏即興人形劇場」の美術担当の方であって、素晴らしい人形を紹介して下さった。今日はとても良い勉強がたくさんできて本当に充実した一日だった。

センターに帰ると、なんと、和ちゃんが退院して帰っていた。これからもずっと元気で皆と一緒に第2学期を目指して頑張りたいと思う。

9月21日 月曜日

三分一 直 美

午前はずっと同じように日本事情の授業でした。

今日は、江戸時代の文化（あの時代の小説、俳句、歌舞伎など）を教わりました。

私は歌舞伎を見たことがないので、帰国するまでに一度は見に行きたいと思っています。

午後からは、スピーチの授業でした。

アクセント

プロミネンス

ポーズ

イントネーションなどを学びました。

今日は、研修テーマの発表をしなければいけないと思っていたので、みんなも心臓がドキドキして、あまり、授業に集中をすることが出来ませんでした。

ベルが鳴った時の喜びはなんとも言えませんでした。

夜は、16回生の送別会がありました。

ああ……もうみんなが帰ってしまうなんて本当に信じられない。これから淋しくなるわ！

でもみんな頑張ってね！

9月22日 火曜日 晴れ

藤 本 清 美

7:50にセンターを出発して、早稲田大学を見学しに行きました。向こうに着くと、長保先生と会って、大学の演劇博物館まで案内をしてもらって、見学している間、劇について色々な話を聞かせていただきました。

『日本は出来るだけ古い習慣を大切にしていますが、新しい文化も輸入していますので、現在は、古い劇の四種類（伎楽・舞楽・散楽、能・狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎）の他、新劇も見られます。』その後、中級生のクラスの授業参観をしました。アメリカ、ドイツ、台湾、韓国の生徒達が自己紹介の練習をしていたところでした。先生は生徒達、一人一人の紹介を録音し、各生徒が言い終わると、テープを聞きながら、間違っただ点を注意しました。

12:30頃、何人かの先生達と集まり、話しながら、おいしいごちそうを戴きました。

1:00過ぎに大学の公園まで足を伸ばして、写真を何枚か写して、センターへもどりました。
ついたのは4:30頃でした。

17:00体育が行われました。

18:00夕食

9月24日 木曜日 晴

北川 小百合

今日、私達11名は、川端課長と一緒に国際学友会日本語学校の授業参観に行きました。

スケジュールは、次の通りでした。

10:45 ロビー集合、センターを出発

昼食後

14:00~14:10 国際学友会日本語学校の説明

14:10~15:00 B. 8クラス13番室の授業参観

担当:河原崎講師

「敬語の表」

使い方

分け方(三つあります:尊敬語、謙譲語、丁寧語)

特別な言い方

教える時は、分かりやすい例から.....

15:00~16:00 B. 10クラス15番室の授業参観

担当:長井講師

「敬語」:絵カードを使用しました。

例をあげて説明しました。

16:00~17:00 座談会

授業参観の事について、いろいろと話しました。教師としての問題を出しました。

夜

19:30~21:00 茶道

今日、私達3名(藤本さん、私と小坪さん)は、お茶を立てました。何とか、皆、少しは、理解したようです。でも、難しいです。

9月25日 金曜日

小坪 美代子

今日は、第2回日本語テスト、読解の日だった。

皆一生懸命勉強したので、何となくできたようだ。私もがんばった!!

それに、今日は、永保先生の最後の授業だったので、Bコースの生徒は感謝とブラジルでの滞在が最高なものになるようお願い別れました。又、ブラジルで永保先生にお会いできたらいいなと思っている。

読解は、私達に、とても必要な授業だと思う。もっと続けたい気持ちで新学期へ向かう。

明日もテストが続くので、今夜もがんばって勉強するつもりでいる。皆もがんばっているようだ。今日も、又、遅くなりそうだ!!

9月26日 土曜日

田中 マリ

第2回日本語テストの日でした。

朝から、文法、漢字、などの勉強に皆一生懸命でした。

イヨイヨ本番になりました。

時間	科目
9:30~9:45	聴解
9:45~9:50	休憩
9:50~10:50	文法
10:50~11:00	休憩
11:00~12:00	作文
12:00~13:00	昼食
13:00~13:50	文字表記

になっていました。

もう暑い夏の日が終わり、涼しい時に試験をやるのは良い事だと思っていた私達でした。けれども試験はいつだって難しい事ですね。

多分同じ日本人にもそうかもしれませんが、いつも悩まされている文法と漢字が難しかった。

文法のテストが終わった後、何か、これはこうだったとか、あれはこうとか、いや違うとか色々話がありました。もう皆、嫌と言う程、頭が疲れていました。

自分がどのくらい出来るのかが分かって、これからも皆、精一杯頑張ろうとしています。

9月28日 月曜日

安江洋子

今日は、日本事情とスピーチの最後の授業です。

いよいよ、Aコースと玉川大学へ通う日が近付いてきました。

午前 9:30~12:30 日本事情

日本の近代化

- 武家政治の終わりと明治維新
- 維新の諸改革

午後 13:30~16:30 スピーチ

スピーチの時間に約束通り、スピーチをさせられました。皆は、緊張していましたが、中々上手に話しました。

一人が話したすぐ後、反省会があり、意見を述べました。音読もしました。

16:40~17:40 体育

19:30~21:00 書道

9月29日 火曜日

上田 弥生 ロザーネ

今日は、風邪をひいていたため私は、玉川大学の第2学期についてのオリエンテーションには欠席した。体もだいぶ弱っているので無理をせず、なるべく早くよくなるように努力している。

又、悲しみを深める事は、6ヶ月間センターで仲良く暮らしていた16回生の子弟研修生達の帰国する日である事。この皆様が各国で元気で頑張るように心から祈っている。

センターはとても静かになり、Bコース全員は考えこんでいる姿で廊下をゆっくり歩いている。色々楽しかったよい思い出が浮かんで、いつかもう一度16回生のみんなと会えるように心から思っている事はちがいないと思う。

9月30日 水曜日 雲・雨

竹中 章子

今日で9月も終わるが、この1か月を振り返ってみると、色々な出来事があった。

鎌倉見学

児童演劇入門講座（東京都教育会館）4日間

子弟研修生日語講習会についての講義

防災訓練／敬老の日

早稲田大学語学教育研究所見学

秋分の日

国際学友会日本語学校見学

東小学校運動会参加／一 根岸中学校運動会参加

第二日本語テスト

子弟研修生（16回生）送別会

玉川学園大学第二期オリエンテーション

日本語教師Aコース研修生の歓迎会

充実した1ヶ月だったと思う。

この外に天皇陛下の手術と台風の知らせが大きな心配の種となった。しかし台風はありがたく過ぎ去り、天皇も回復なされているとの事で安心だ。

気が付く暇もない内に秋が訪れた。日も短くなり、朝夕涼しいというより寒くなり始め、外に出ると冷たい風が肌に気持ちよくあたり、ブルルッと身ふるいがする。

今日は、第1学期の最後の日だ。

午前 9:30～12:30 文字表記（坂根先生）

※1学期の感想文 ア)役に立った事

イ)自分のためになった事

ウ)これから勉強したい事

※自己研修テーマについて個人指導

※日本語教育ビデオを見て勉強

午後 13:30～16:30 聴解（斎藤先生）

次のテーマについてお話しされた。

漢字のテスト

レポートの添削

日本語能力テスト

日本語教育

夜 18:00～20:00

日本語教師Aコース研修生（20名）の歓迎会。

AコースもBコースも明日始まる第2期から、仲良く玉川学園へ通う日々が待っています。この3ヶ月間、助けあいながら頑張りましょう。

10月1日 木曜日

長谷川 薫

これからは毎週の木曜日だけセンターで勉強することになりました。そして、今日は、その始めの日です。

◎午前 日本語教授法の授業で次のことを学びました。

○今年に行われる日本語教育能力検定試験実施要項のことについての説明。

○連体修飾関係のアクセント：

・語自体の型

ダイガク

バンゴ

・複合したときの型

ナガサキダイガク

デジワバンゴ

○修飾関係で変わるアクセント：

シズカナ+ヒ下タチ → シズカナヒトタチ

ウルサイ+下コロデス → ウルサイトコロデス

◎午後からは文法と体育の授業でした。

○文法・品詞について

・名詞

・連体詞

・副詞

・形容詞

・助詞

・接続詞

・動詞

・助動詞

○体育

今日は、Aコースの人達と一緒に受けました。

ストレッチの体操をして縄飛びで終わりました。

夜は茶道の授業が休講になりました。

10月2日 金曜日 晴れ

遠藤ルリ

10月から第2期が始まった。この期間は玉川学園で日本語教育や授業演習を学習する予定になっている。

今日は、その最初の日、約2時間、電車で揺られ、玉川へ通学の生活の始まりだ。誰もが、玉川の緑に包まれたキャンパスに一步足を踏み入れると、向学心がムクムクと湧き上がり、胸の高鳴りを覚えるものだ。二度と無い良い機会だと思う。この研修に、全青春をぶつけてみたいと思った。

初めに小学部の3年生、雪組の音楽の授業に参加した。8才の子供達が自分で作詞、作曲をして、発表することは、私にとっては全くの驚きだった。

午後からは、方勝先生に表現教育について教わった。表現教育とは、子供に教えることではない。子供を育てることだと思った。そのためには、音楽、美術、演芸などを通じて子供に想像力をつけてやる。

子供の想像力によって色々な問題が解決できるようになる。例えば、小学校でよく見られるいじめ

の問題などは、各子供が、いじめられる人の立場になってみないからだと思う。

その他：目の不自由な人の立場になってみることも体験した。これには目かくしをして、階段を下りて外へ出た。私は、「目が不自由になるのは“こわい”」という気持ちが強くしてきた。

方先生の授業が終わると、次は本多先生の児童言語の授業があった。

この時間には子供の言葉の発達について先生はお話をした。

子供の言葉を発達させるには、言葉遊び、演劇、絵本、人形劇などを通じて漸進的に教えていく。

子供は遊ばなくてはならない。子供には遊びが最も重大である。遊ぶことによって、想像力や集中力が育っていく。

想像力の他、子供達の正しい強い心を育てるのも教師の役目である。

人間に生まれたからには、幸せになる権利があると思う。そのためには、子供のころからきれいな心の人に育ててやるのが大切だと思った。

10月5日 月曜日 晴

白水 グローリア

来日してもう半年になる。研修のちょうど途中にあたるころだ。日本の生活に慣れ勉強にも成果が見られるころでもある。

今日、玉大で一時間目は長野先生から「日本語教授法」を教わった。

この授業では教育の原理と法則の關係に付いて講義を受けた。

中南米における日本語教師として、これから考えていくべき課題を述べていただいた。

1. 中南米における日本語教育の特色
2. バランスのある研修
 - a) 日本語の知識アップ
 - b) 日本語の能力アップ（読む、聞く、書く、話す）
 - c) 教える知識と能力

3. 外国語としての日本語教育

4. 授業設計

5. 教授技術の実習

6. 複式授業を能率的に行う

7. 視聴覚教育

8. 日本文化について知識を深める

この1～8の具体化に努めるべきだ！

二時間目は、教育原理の講義を石橋先生から受けた。

「教育とは」に付いてお話し下さった。

教育は二つの意味を持つ。a) 外から中に新しいものを増す

b) 中から外へ出す

a) leacher = 伝達作用

b) Educactor = 助成作用

等々教わりました。

10月6日 火曜日 雨 三分一 直 美

とても楽しみにしていた中学部の英語見学がなかったが、英語の担当の先生が授業のことについて色々な説明と学校を案内して下さいました。

二時間目は、とても眠い授業であった。

後を向いて見ると、ほとんどの人が寝ていた。イネムリ授業というあだ名までついた。(Aコースがつけた)

この授業では他の先生が話したことを繰り返していたからである。学校のことをほめることもいいけれど、何回も同じ話を聞くのは退屈であった。

午後からは、日本神話の授業だった。

きっと面白い授業になると思う。ところが、後で子供達に聞かせてあげる話などであれば、もっと役に立つと思った。けれども、そういう本ならば、帰国してからいくらでも読めるので、やはり、古事記のような本も習う必要があると思った。

四時間目はとても楽しい授業だった。

つるの折紙から新しい作品を作るからである。

夜は、川端課長と日本語教育能力検定試験のことについて話があった。9日で締め切りになるので急いで申し込みをするようにと言われた。

そして、みんなに書類を下された。

私は、明日までに、何級を受けるかきめないといけません、みんなが試験に受かるように祈っている。

10月7日 水曜日 晴

藤 本 清 美

7:30 朝食

9:00 玉川大学

二時間目 (10:40~12:10)

- ・日本は教育、非常に進んでいるため、色々な問題が起きています。
- ・中南米で、実際教えられている日本語教育は何でしょう。

- ・中南米の日本語教育の姿はどのような風に、これからしなければならないのでしょうか。(自分が居る位置を考える。)
- ・外国で教えられている日本語の教え方や内容は古い。先生達は日本での変更が気付いて、教育を現代化しなければなりません。

12:10~13:00 昼食

三時間目(13:00~14:30)

- ・教師感覚をどのように思うか。
なれの先生 → 自身 BY TIME → マンネリ×
新しい教師感覚 → 問い方の研究(同じ繰り返しのパターンが起らないように。)

・DISCUSSION

テーマ1(父母の認識)

テーマ2(後継教師)

テーマ3(超複式の指導案)

四時間目(14:40~16:10)

折紙→うさぎ、すずめ、ことり・いんこ、水鳥数種などの折り方

17:30 センターに着きました。

18:00 夕食

19:00~20:30 日本語能力試験受験の申し込み書をみんなで書き込みました。

10月8日 木曜日 晴

北川 小百合

今日の授業は、次の通りでした。

午前の部 9:30~12:30 聴解(日本語教授法)

今日の授業は、Aコースの先生方と一緒に受けました。

教室には32名の人数が入れないため、4階の講堂で授業が行なわれました。

少し難しいと思いました。

午後の部 13:30から16:30 文法

日本語教育述能力検定試験実施要項の問題をしました。

- ・語彙
- ・文法
- ・文体
- ・文字表記
- ・対照言語学

16:40~17:40 体育 休ませて頂きました。

夜の部 19:30~21:00 茶道

今日は、三名の方がお茶を立てました。

その人達は、田中さん、安江さんと上田さんです。三人とも良くできました。これから、何回も練習をすれば、皆もできるようになると思います。

10月9日 金曜日

小 坪 美代子

なんとなく秋の感じだ。だんだん涼しくなって来た。

先日、橋本先生の講演が行われた時に、日本語教師の役目・立場、そして将来の日本語についても考えさせられた。

今日は、一、二限目がない日である。だが、幼稚園を見学させていただいた。朝、早く起きて幼稚園の授業参観に行った。体育祭の前の日で練習をしていた。

幼稚園の子供達は、一生懸命に走ったり、踊ったりしていた。

その後、教育博物館を見学した。中学部にあり、玉川学園の歴史を語る。

四限目は幼児教育で本多先生の担当であり、先生の経験を語ってくれる。

毎日、通学しているので、だんだん疲れて来たようだ。

10月12日 月曜日

田 中 マ リ

10月10日体育祭の日で、今日は、休講の為、玉川学園はお休みでした。

皆、それぞれ好きな事を一日やりました。センターで勉強、手紙や体を休めるか、又は連休を利用して旅行や親戚の家に行くか、それぞれ行動しました。

夜は書道の授業で、皆何となく疲れているようでしたけど、新しい書き方、行書を一生懸命に書いていました。

10月13日 火曜日 晴れ

安 江 洋 子

今日は、とても良い天気でした。しかし、冷たい風が吹いていて、秋が深まってきたように感じました。

・一時限目-英語授業参観

中学部の英語の授業参観をさせて頂きました。

私達がいるせいなのか、生徒達は緊張しているようで、中々授業は、スムーズに進まなかった

と思いました。

•二時限目-幼稚園授業参観

幼稚園で授業参観でした。

子供達を見てかわいいと思い、とても楽しい一時でした。

皆は、走ったり、歌ったり、遊んだり、元気を出し、楽しそうでした。

•三時限目-日本神話

神々の生成-万物の事の起源を語る。火の神を生んでから水の神などの出現する部分は鎮火祭の思想による。

日本神話の授業は、難しいけれども、少しでも理解できるように努力しています。

•四時限目-紙座

この授業では、みんな夢中になっているので時間が早々過ぎてしまいます。色々な変わった形の紙座ができてとても面白いです。

一日が早く過ぎてしまい、センターに戻った時はもう6時頃でした。

10月14日 水曜日

上田 弥生 ロザーネ

今日は玉川大学で次の授業が行われた：

午前-音楽 (9:40~10:25)

小学部-4年生-松組

長嶋先生

午後-特別活動

長野先生

-折紙

林先生

私にとっては、折紙の授業はとても面白くて、役立つ勉強だと思っている。一つの基本を知り、色々な折紙が出る事が、不思議なように感じる。

手先がきょうな弟の事を思いだしながら、一生懸命沢山の折り方を学ぶように努力した。

10月15日 木曜日

竹村 エレナ和

毎日、起きる時から玉川大学で食べる弁当の事を楽しみに、又今日も「お弁当だ〜！」と思いながら歌を歌いながら起きましたが、良く考えて見れば今日は、「木曜日」。お弁当を持って玉川へ行かずにセンターで勉強する日。金田一先生の楽しい授業と音声教育の授業である。だから、私は又々30分ほど寝る事にして、授業が始まる少し前まで寝た。

音声の授業では分からない事はかりで頭がガンガンしていたが、お昼からの金田一先生の授業の時に、同じ事を教えていただいたのでどうにか分かった。授業が終わる15分前に私は病院に脳波を取りに行った。疲れたので夜はいつもより早く寝る事にした。

10月16日 金曜日 雨

竹中 章子

冷たい雨の中を早々に玉川の丘を登り小学校に着いた。

一時限目（8：55～9：40）小学2年生の授業参観。

教科：算数 学級：椿 指導者：中島敏博先生

授業はたし算とひき算の暗算でつぎの順序で行なわれた。

- 1) プリント 練習問題（復習）
- 2) 暗算の説明（生徒達）
- 3) 教科書の説明
- 4) プリント（練習問題）

先生は指導者らしく、なるべく生徒に発言させた後指導されておられ、できる子供だけに質問なさらず、普通手を上げない子供達にも、チャンスを与え、皆が考えるように雰囲気を作るのがとても上手だった。

本を使ったり、分かりやすい説明で算数の基礎を作っておられた。

二時限目（10：40～12：10）

自由時間だったので皆それぞれ手紙を書いたり、本を読んだり、勉強したりしていた。

三時限目（1：00～2：30）表現教育（方先生）

- | | | | |
|-----------------|------|-------|---------|
| 1. よい雰囲気づくりのために | グループ | 個人の内側 | A. 解放する |
| | | | B. 信頼 |
| | | | C. 集中 |
| 2. 内的活動を活発するために | グループ | 個人の内側 | A. 感じる |
| | | | B. 想像する |

説明の後10人のグループを作り「天国旅行」が行なわれた。

- 1) 旅行者1人が床の上に目を閉じて寝る。
- 2) あとの9人が安心させるため旅行者に両手をあてる。
- 3) 静かに旅行者を持ち上げ教室の中を歩く。
- 4) 静かに降ろす。
- 5) また両手をあてる。

上に持ち上げられ歩いている間なんとも言えない気持ちだった。

四時限目(2:40~4:10) 児童言語 本多先生

子供達は遊びを通して経験を積むし、また自分の体をコントロールできるようにもなる。従って子供にとって「遊び」は大切な。

色々のゲームを紹介していただいた。

1. 指人形
2. 語彙を増やすための「しりとり遊び」
3. なぞなぞ遊び
4. 電報ゲーム
5. 電話ゲーム
6. 自己紹介ゲーム(課題を与える。例:食べ物
一番怖い物
なるべく身近にある物。)

再び雨の中を歩いて玉川学園駅に到着。

センターでは、昨日着いた29名の開発青年達を含めて74名なので食堂やお風呂では大変賑やかだ。

今日も充実した1日が終わり神に感謝。

10月19日 月曜日 晴

長谷川 薫

☆今日のスケジュール:

- 9:40~10:25 小学校英語授業参観
- 10:40~12:10 日本語教授法、長野先生
- 13:00~14:30 教育原理、石橋先生
- 14:40~16:10 腹話術、本多先生

☆学んだ/感じた事:

- 日本語授業の目標の立て方と方法
- 教育とは愛し育てること

- ・育とは子供が持っているものを引き出すこと。
- ・本多先生から腹話術のテクニックをいろいろ学びました。また、それについての道具を紹介していただいた。

10月20日 火曜日 晴れ

遠藤ルリ

秋晴れのよい天気がつづいているので、玉川学園の森は、紅葉がとっても美しくなった。周囲は、黄色いいちじくの葉、まっかに熟れた柿、まっかなもみじ、これが私が想像していた「日本の景色」である。

このように、自然と多く接することが出来る玉川学園の生徒達は幸せだなと思った。

さて、今日の第一限目には、小学部の音楽の授業参観であった。私は、小さな子供達の演奏に感動した。一人一人の児童がいっしょうけんめいに歌を歌い、又は、小さな手がピアノを上手に弾いていたのが心の底に残った。その他、色々な音楽遊びなども良かったと思う。特に、ジャンケン電車などは、帰国後、そのまま活用したいと思っている。

二時間目は、高橋先生による「幼児教育」であった。今日は、「玉川っ子」について詳しく説明をした。一言でいうと玉川っ子は、

- よい頭
- きれいな心
- 強い体

調和のとれた人（愛の理である人）だとおっしゃった。

きれいな心を育てるには、感謝の気持ちを持たせる、又は、神仏を敬うことなどを幼稚園から教えるのも大事である。

午後からは、日本神話の授業があった。

『天照大神と須佐之男命』『天の岩戸』の話を讀んだ。

私は、日本神話が好きになった。それは、パラガイのグアラニー族の神話と似ているところがあるので、比較する面白さを知ったからである。

最後には、紙座の授業、今日も折紙で遊び、とっても楽しい時間が過ぎていった。

10月21日 水曜日 晴

白水祝世

そよ風に揺れて散っていく黄色や紅い葉、とてもすてきだと思う。だが一つの葉も一つの命だと思ったらちょっと悲しくなる。多分、秋は美しく少し寂しい季節だからでしょう。

今日は、一、二限目がなかった。三限目は玉川の学生部の海外協力研究部の学生達との懇談会が行

われた。学生達からの質問に私達は答えはしたが、彼等は南米の情報をあまりつかんでいなかったそうで、少しあまいな気がした。この話し合いから、南米における日語教育に役に立つものが出たら幸いだと思う。ただのインフォメーションの伝達だけにならなければと願っているが、

四時限目は楽しみにしていた折紙。帰国してから折紙を利用して楽しいクラスをしていきたいのだ。

10月22日 木曜日 晴

三分一 直美

今日は、センターで授業があった。

午前は音声の時間で次のことを学んだ。

今まで習ったことの復習

- ・ 述語
- ・ 連用修飾
- ・ 補助動詞

文のアクセント

- ・ 動詞
- ・ 形容詞
- ・ 形容動詞
- ・ 濁音の音 (onomatopoeia)
- ・ 清音の音
- ・ 半濁音の音

2級能力試験の問題を11月までにするようにと下さった。

午後からは、文法の時間で、先週の品詞の練習を続けた。

それが終わってから、能力試験1級の問題をもらい、ちょうど全部終わったときにベルがなり、授業が終了した。

体育の時間では、森林公園へ散歩をした。寺内先生と行ったところ出会った、雪という犬にもう一度会えてとてもうれしかった。家のことを思い出した。

夜は、茶道が応接間であった。足がしびれるのでとてもつらい……

10月23日 金曜日 晴れ

藤本 清美

今日は、ゆっくり、遅くまで寝ました。起きたのは、10時でした。朝食にはもう随分遅かったので、りんご1個で朝食を済ました。

11時にセンターを出発し、玉川へ行きました。途中(明駅)でランチを食べた。

今日は、三時間目の授業（表現教育）しかなかった。じゃんけんをして遊んだり、スカーフをきれいに動かしたり、（上になげたり、輪のように、大きく回したり）、音楽を聞きながら、景色をイメージしたり、子供の頃を思い出したり、音楽に合う、題名を付けたり、言葉遊びをやったりした。

2時半に授業が済んでから、たっぷり時間があつたので、八王子まで足を伸ばしました。気に入つたスカートがあつたので、ついでに買って帰った。

センターに着いたのは、7時50分だった。

部屋まで上がらない内、先に食堂へ行って、夕食を食べた。

10月26日 月曜日

北川 小百合

今日は、玉川大にて、授業は、次の通りでした。

午前

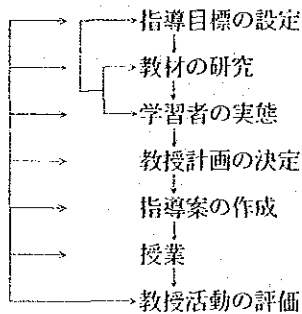
10:40~12:10 日本語教授法 長野先生

内容 子供の教育 三つあります。

△教育の場

1. 家庭教育
2. 学校教育
3. 社会教育

教師の働き



午後

13:00~14:30 教育原理 石橋先生

今日、学んだ事

- ・生気—人間の体力から—その欠陥が無気力
- ・英気—賢い頭脳、思考力から—その欠陥が無関心
- ・勇気—たくましい心意力、意志力から—その欠陥が無責任
- ・正気—なごやかな心情—その欠陥が無感動

石橋先生の授業の進め方は、素晴らしい！
私も、玉川大の教師方のようにになりたいな～

10月27日 火曜日

小 坪 美代子

涼しい風で、とうとう私もカゼをひいてしまった。木曜日から日曜日まで、寝込んでしまい、やっと回復したところである。

まだ体がだるかったけれど4限目までがんばった。

一限目 -- 中学部

英語のクラス、指導についての懇談会であった。

二限目 -- 高橋先生の講義

幼稚部について

三限目 -- 日本神話

平山先生は楽しく面白く語ってくれる。

四限目 -- 紙座

一つのパターンでさまざまな形を作られるので、自分でもビックリする。

皆が楽しそうに、さまざまな形を工夫しているようだ。皆さんがんばりましょうね!!

10月28日 水曜日

田 中 マ リ

玉川学園へ通学し始めてから、1ヶ月過ぎようとしています。

1時間ちょっともかけて、毎日通学する生活に慣れていない私達には、大変で疲れます。けれども、今は皆結構慣れたようだし、玉川学園で勉強できるチャンスを出来るだけ生かせるように、皆それぞれ頑張っています。

今日の授業

10:40 小学部（音楽）

授業参観では無くて、今日は、中嶋先生から音楽を使ったいろんなゲーム、遊び方を教えられました。今日のような指導なら低学年から高学年まで楽しく面白く、音楽、又は日本の音楽の勉強を教えられるのでは無いかと思うようになりました。

14:40 折紙・林先生

たった一つの折り方でいろんな物が折れるので、折紙はとても不思議なもの、面白いものだと、多分私だけではなく皆そう思うようになったと思います。これで、私達も帰国後、もう少し自信を持って、折紙が伝えられるようになるような気がします。

10月29日 木曜日

安江 洋子

今日は、センターで授業があったので少しゆっくりすることができました。

午前 9:30~12:30 音声

今日は、今まで習ってきたイントネーション、アクセント等の練習を、二人ずつ、黒板に書きました。私達にとっては、発音、アクセント、イントネーションはとても難しいけれども、皆は会話が少しでも上手なるために努力しています。

新聞の漢字テストをしました。

午後 13:30~14:30 文法

「日本語の教授に関する知識、能力」の練習問題のプリントを頂き、先生と一緒にやりました。

16:40~17:30 体育

19:30~21:00

久しぶりに華道をしました。皆は懐かしそうに、とても上手に生けるようになりました。

10月30日 金曜日

上田 弥生 ロザーネ

今日は、二時限目の授業が玉川大学で行われなかったので、昼食もゆっくり出来た。

次の日程通りに一日のお勉強をいたしました：

午前 - 一時限目

小学部 - 1年生 - すみれ組

国語

長野先生

午後 - 三時限目

表現教育

方先生

- 四時限目

幼稚教育

本多先生（かわりに幼稚部の先生のお話）

毎日の通り玉川学園から帰り、私はなつかしいブラジルの家族からの手紙を楽しみにして待っているのに、残念ながら来ていなかった。便りが明日は二倍になって来るように祈っています。

11月2日 月曜日

竹村 エレナ和

朝、起きる前から雨の日、寒さに弱い私はベッドの中で一日いたい気もした。だが、今日は、玉川

へ行く日、コスモス祭でした。

色々を見て、お昼の食事をすませ、電車にゆられながら帰って来ました。

夜、書道がありました。

今日、私の字はヘタなのが、もっともっとヘタっていう事が分かり、とてもショックでした。

11月4日 水曜日 雨

竹中 章子

今日も雨。骨まで染みるような冷たい雨の中を、いつもより早足で玉川学園の丘を登って行ったせいか、教室に着いた時は、ほかほかとあたたまっていた。

11月1日から昨日まで玉川学園の文化祭「コスモス祭」が行なわれたため、今日は休みらしい。どの教室も事務所もガランとしてだれもない。多分私達32名だけが授業を受けるようだ。

午後1:00～2:30 日本語教授法 長野先生

日本の結婚式に付て、おめでたい所で言ったらいけない言葉（切れる、別れる、傾く、閉じる、終わる・・・）、結納や礼儀作法など教えていただいた。

日本の社会に住むということは容易なことではないと思った。日本人の心を理解するためには、おもな日本の行事、昔から伝わる伝説、または習慣を知り、その深い意味を探ることが必要だとつくづく感じた。

日本語教授法については、4技能：話す事、聞く事、読む事、書く事と初級段階の目標を説明された。判断ができて共通のテストができるような目標でなければいけないとおっしゃった。

最後に個人差に応じる学習指導の事例を詳しく説明された。

2:40～4:10 折り紙（林先生）

来年は竜の年だそうでの折り方を教えて下さった。竜の頭の折り方は大変複雑だ。

その後基本的な折り方を色々教えていただいた。

折紙の授業では指先を動かし珍しい物をひき続き折っているせいか、時間があつと言う間に過ぎさってしまう。林先生は大変丁寧に教えて下さるので、いくら難しい折り方でも苦勞しないで覚える事ができるので有り難い。

授業は終わったが、外ではまだ雨が降り続けている。一分でも早くセンターに着くようにと、駅へ向かって走った。

11月5日 木曜日 晴

長谷川 薫

午前 9:30～12:30 音声の授業

午後 1:30～4:30 文法

午前中の授業には活用のある言葉（動詞、形容詞と形容動詞）と、名詞の種類（平板式、起伏式）のアクセントについて学びました。

最後の30分は新聞の漢字と熟語のテストがありました。

午後からは金田一先生の授業で文法または日本語能力試験についていろいろと説明をしていただきました。もう、その試験も近づいてくるのでドキドキしています。

11月6日 金曜日 くれり

遠藤ルリ

日がだんだんと短くなり、寒さがきびしくなって来た。今日の勉強は午後からなので、センターを11:30分に出発し、玉川大学には12:45分に着いた。

玉川の森はいつも美しく、学園内に一步入ると心がスーッとすく。木々の葉には色がついていて、紅葉がとってもきれいだった。

今日は、まず先に、方先生の表現教育があり、いろいろな場面を想像して、それを言葉や体で表現したりして楽しい時間を過ごした。

やはり、言葉の学習は机の前ではもちろん、その他、いろいろな方法があることに気がついた。例えば言葉遊びなどもよいと思った。「きりなしうた」「プレゼントごっこ」「お話作りごっこ」などを通しての学習も効果的ではないかと思った。

これから、このような表現活動を生かした日本語指導に取り組んでみたいと思う。

方先生の授業が終わると、幼稚部に行き、そこではフォークダンスを習った。まず「すてきな友達」そして「親子のサンバ」、その後、本多先生の指導で「すぐに役立つ人形」を作った。この人形は会話などに役立つと思った。

今日は落葉のじゅうたんがとってもきれいな玉川だった

パラグアイは今、春、木々が生茂り、花は咲き誇り、一面緑のじゅうたんでおおわれて、春まっさかりだろうなァと、ふと故郷のことがなつかしく思われた。

11月9日 月曜日

白水 グローリア

待ち兼ねた研修旅行の日が来ました。

AコースもBコースも子供の時分を思い出したでしょう。

修学旅行の気分でセンターを出発しました。

大船、小田原で乗り換えて大雄山へ向かいました。

最乗寺に着いて、昼食をした後、2時からお寺のお坊さんから法話を頂きました。

大雄山最乗寺は600年位前に建てられて禅宗寺で曹洞宗の寺であることについてお話いただきました。

た。

- 1) 坐禅は修行の一つの行事であって、一つ一つの行は身と心とを磨く意味を持っている。
- 2) 坐禅を通じて自分の身と心を自分で整える。
- 3) 自己管理する。
- 4) そして坐禅をくむ時の一刻一刻が手段と目的であって、目的を持って打算的に考えてはならない。狙いをつけた坐禅ではいけない。このことを考えたら修行の意味が分かってくる。一つのことを一生懸命にする。
- 5) 食事の一つの修行である。

色々ご注意をいただいて、禅堂へ向かいました。

坐禅を組んだのはわずか20分であつた、静かな堂で心を静めて自分の奥底へ沈んで行く、言葉で現せない感動……

残念ながら短時間で本当に坐禅の心をつかめなかった気がするが、もう一度体験してみたい気持ちを強く感じました。

その後、お風呂へ入って夕食をいただきました。

食事をいただく時の心得についてお話を聞きました。

耳で聞いて頭で理解してなるほど、なるほどと言っても、なかなか真からわかったとは言えない程深い難しい修行を、私たちは一日だけしました。だが私自身には大変感動的で、一生忘れられないすばらしい体験でした。

11月10日 火曜日

三分一 直美

今日は、朝6時に起きました。そして、お坊さんが私達のためにお経をあげて下さいました。何を言っているのかさっぱりわかりませんが、ただ国際協力事業団という言葉だけがわかりました。

私にとっては、初めての体験でしたので、お経をあげているのを見てみると、なぜだかテレビの宗教的に人を殺す時のような感じがしました。きっと、そういう時の場面や音が似ているからでしょう。

その後、食事をすませて、京都の方面へ向かいました。

京都はとてもきれいな町です。今日は、清水寺、銀閣寺と平安神宮へ行きました。私はバスに酔って気分があまりよくなかったので、早く休みたいという気持ちがありました。

16:00時には旅館へ着き、少し休んで、それから食事をしました。生まれて初めて舞子さん見ることが出来ました。残念ながらすぐ行ってしまいました。

明日も京都見学です。二条城へ行くのが楽しみです。

11月11日 月曜日 晴

藤本清美

日本に来て、7ヶ月ほど過ぎて、やっと日本での有名な京都と奈良を見学する日になりました。京都へ行く途中で小田原に寄り、そこで座禅をし、一泊しました。座禅とお寺での一日の生活を体験するのは全く初めてでしたので、一日の一分一分が過ぎて行くと、珍しい習慣、あるいは生き方に会いました。お寺での一日は時間が区切られていて、非常に忙しかったです。大雄山に着いてすぐ座禅をしました。食事は正座し、残さず、速く(5~15分)、絶対話さず、上品に食べなければいけませんでした。その他、小さなお風呂場に、AとBコースの先生達32人が1時間半で、入る事が決まっており、寝る時間は9時になっていました。

座禅そのものは、ただやり方を身に付ける事で、短い時間で(15分)行なわれました。場所はちょっと暗くて、シーンとしていたので、少し眠くなりました。足のしびれは何とも説明出来ないくらい辛かったです。堅苦しく疲れた日でしたが、日本のもう一つ、別の習慣を知る事が出来て、とても参考になったと思います。

11月12日 日曜日 晴

北川小百合

今日は、京都での見学が終わり、私達33名は奈良に向った。そして、若草ホテルに泊まった。

明日の見学先は、次の通りである。

午前 9:00~12:00

大仏殿

若草山

春日神社

法隆寺

昼食

午後 13:00~16:30

慈光院

唐招提寺

薬師寺

感じた事

奈良の紅葉はとても美しいと思った。そして生まれて初めて秋の季節を感じた。

日本の歴史は、難しいけど素晴らしい。やはり、日本人には、様々な思いが残されているものである。

このような、皆と一緒に、ガイドさんの説明を聞きながら、写真を写しながら、時間を過ごす事が

できて、とてもよかったと思った。

きっと、この旅行は、印象に残るものだと思う。

11月13日 金曜日

小坪 美代子

今日で研修旅行（京都・奈良）も終りだ。月曜日から、Aコースの先生方と共に旅行できて本当によかったと思う。旅行中いろいろと私達、Bコースに（日本の習慣を知らないの）、親切に教えてくださいました。すごく良い勉強、経験になった。

日本の古い都のお寺や神社やお城などを見学して、日本の文化にふれる機会ができたと思う。昔から現在まで、国民に守られて来た建物が日本文化を伝えている。でもやはり、文化の中心である京都・奈良には全国、そして外国人の観光客が多かった。私もその一人で、ことばで表わせないほどの感激であった。

初めて日本文化の中心地を訪ね、この国の美しさ、すばらしさを知った。

11月16日 月曜日

田中 マリ

1週間休みで皆非常に疲れたそうだけど、楽しい日々をそれぞれ過ぎて来たようです。今週はずっとセンターで12月6日の能力テストの為に勉強するようになっています。そこで今日から早急、練習として試験問題を正しく答えられるように頑張っていました。

何と言っても、日本語は私達にとっては外国であるので、その試験を受けると言う事は、非常に難しいことです。でも、私達は日本語の教師として、あるレベルの能力は持っていなければいけません。だから、皆、何級であろうが、頑張るようにしています。

何級を受けて、自分の能力を確認するのは非常に良い事だと思います。

何級が受けられるのか分からないけど、皆、自分の日本語レベルを高めようとの気持ちで頑張ろうとしています。

11月17日 火曜日

安江 洋子

日本語能力試験が近付いているので、急に忙しくなった感じがします。

今日は、午前の部も午後の部も林伸一先生の日本語能力試験のための説明や模範をしました。

日本語能力試験対策 2級

・文字、語彙

・聴解

・読解、文法

試験のことについて知ることができ、自分の日本語能力が多少分かりました。

一日中テストばかりしていたので、嫌と言っていいほど、皆は疲れていたようでした。

実際に日本語能力試験のために精一杯頑張ることでしょう。

11月18日 水曜日

上田 弥生 ロザーネ

今日は坂根先生の授業でしたが、日本語能力試験の準備をして、新聞の漢字と熟語の訓読みの一部と二部の部分を終わった。

Bコース全員は精一杯努力して勉強していた。とても良い時間でした。先生が配った色々なプリントを使用しながら練習した。

又、明日も一生懸命今日のように頑張りましょう。お体にもじゅうぶん気をつけて、12月6日まで勉強しましょう。

11月19日 木曜日

竹 村 エレナ和

この一週間は試験の準備をする週ですので、今日も朝から、色々と前の試験問題を見て勉強しましたが、長い間勉強しなかった私にはむずかしかった。

こんどの試験にはスルリとスベル事は分かっています。

又、帰国後受けて受ろうと思います。今の私は不安の気持ちで一杯です。でも、それなりに頑張っ
て、出来るだけは最後までやります。

11月20日 金曜日 曇り時々晴れ

竹 中 章 子

最近朝早く起きるのが大変辛く感じる。随分寒くなったせいか、いつまでも暖かなベッドの中
にいたい気持だ。

開発青年達はラジオ体操に集合するようスピーカーで呼ばれている。食堂に行くのは今の内、少し遅くなると長い長い列に待たされるからだ。

9:30-12:30 学習指導案 丸山先生

長年教師としての経験を持っておられる丸山先生から、学習指導案の作り方を教えていただいた。

第一番目に教育目標を立てる事が必要だ。

- ・目標とは何か？
- ・その目標は生徒によって違う。したがって、生徒の実態を知る事は大切であり、教師が自分勝手

に目標を立てると逆効果になる。

- ・目標を果たすには、どの方法を選べば良いのか？ また、効果的な方法とは何か？
- ・指導案の書き方に付いて、など色々詳しく教えていただいた。

日本語で教案を書いた事はなかったので、帰国後、大変役に立つ事でしょう。

1:00

南米に移住される少数の方達が成田空港へ出発されるので、皆センターの玄関まで見送りに出た。スピーカーでは行進曲が流れている。なぜか、お別れは辛い。治安が良い日本から、経済や政治状態が悪いラテンアメリカへ行かれるので、慣れるまで苦労されるのではないかと、多少、可哀相に思う。今日、出発される皆さんの夢が実現されるようにと、心の中で祈る。

午後の授業が始まる前、日本語能力試験受験票が届いた。いよいよテストを受ける日がせまってくる。

川端課長から自宅の庭で取れた柿をいただいた。とてもおいしい。日本では果物を味わいながら四季を味わうことができる。

「柿くえば鐘がなるなり法隆寺」(子規)先週奈良へ行って法隆寺でこの俳句が作られたという庭や池を思い浮かべる。

1:30 - 4:30 齊藤先生

能力試験の準備をするため、文字、語彙、読解と文法問題を調べた。素晴らしい纏めの勉強となった。

授業が終る前、研修テーマに付いて個別指導があった。

夕方になると、Aコースの先生方が出身地研修からぼつぼつ帰ってこられ、この一週間少し寂しかったセンターも再び賑やかになる事でしょう。

11月24日 火曜日

長谷川 薫

9:40~10:30 中学部授業演習

10:40~12:15 児童教育

13:00~14:30 日本神話

14:30~16:10 紙座

中学部では英語の授業に参加させていただいて教授法や教材の勉強になりました。二限目の授業には、現在日本の学校は生徒を失っていることや親と子の関係のことについて、先生は話してくださいました。

日本神話で『大国主の命』と『兎と鰐』について説明していただきました。私は小さい時読んでイメージしていたことと全く違うのでびっくりしましたが、歴史的に書いてあるのでただの作り話して

はないと感心しました。

紙座の時間は皆とても素晴らしい作品を作り上げ先生も感心しました。

11月25日 水曜日 晴れ

遠藤ルリ

とっても紅葉が美しい時期になった。

今日、玉川の授業は二時間目からで、久しぶり一時間目の授業がなく、洋子ちゃんと二人で早めにセンターを出た。洋子ちゃんも私のカメラを持って行った。春に写真を取った同じ場所で今日また取った。春には若葉が出たばかりだったが、今日は、大変紅葉が美しかった。

二時間目は、今日、初めての金平先生の短歌の授業だった。金平先生には、伊豆長岡で小学校劇夏期大学で劇の御指導を受けたことがあり、大変なつかしく思った。

短歌は、すごく短い歌で、日本語の5. 7. 5. 7. 7文字の全部で41文字で、その人の気持を表現するものである。たった41文字で表現することは大変難しいことだと思った。

又、この時間には、諸先輩が書かれた短歌を読んだ。その時、突然故郷を思い出して、思わず涙が出てしまった。私にも同じ気持があるのか、先輩達の当時の気持がよくわかった。

三時間目は日本語教授法で、長野先生が来られなくて自分達だけで初級のカリキュラムを制作した。

四時間目は林先生の折紙の授業だった。林先生はいつも『おみやげ』を持ってきて下さるので、今日もそれを楽しみにしていた。この『おみやげ』というのは品物ではなくて、先生が研究なさった折紙で、本に載せていないのを毎回一つ教えて下さることである。

今日は、『猿の山登り』というとても面白いオモチャの作り方を教えて下さった。このようなことを実際に生かしたいと思った。

11月26日 木曜日

白水祝世

今日も一日センターで勉強した。やはり毎日玉川へ通学しているのでセンターで、講義を受けるのはなんとなく気持ちが落ち着くみたいだ。

午前中の音声の授業で教わったことは

- ・連体修飾句のアクセント（復習）
- ・名詞句のアクセント

その後、一の文を聞いて、書き取りして、アクセントをつける練習をした。日本語はスペイン語と違って一つ一つの言葉のアクセントがそのまま発音されるのではなく、文の中での言葉が接触する関係によってアクセントが決まるので、非常に難しいと思った。

午後は文法の時間で日本語能力試験の準備の学習をした。

勉強をすればする程難しく、分からない事が一杯出てくるので、もうどうすれば良いのかと悩んでいる。が、それどころじゃない！ 一生懸命頑張らなければと思いつつ、もう一度日本語の難しさに悩まされる。

久しぶりに今日体育をした。A、Bコース一緒にバレーボールをして遊んだ。上手下手なしで皆とても楽しく体を動かした。

1:30からお花の授業だった（木曜日はたいへん忙しい日だ！）石化エニシダと黄菊、苦労したが、お花を生けると不思議だけれど心が落ち着く。

生けた花に「できるだけ長持ちして下さいね」と語りながら部屋へ持ち帰る。

11月30日 月曜日

藤本清美

「もう30日だ、11月の最後の日!!」

日記ノートが私に回って来て、日付を見たとき、目がまん丸、びっくり！ どうして日々が立つのはこう早いのでしょうか。もう後4ヶ月しか残っていません。

今日はいつものように玉川へ行きました。

一時間目はなし、二時間目は長野先生の、指導案の作り方や補助教材についての説明を聞きました。その後は満員食堂に入り時間と競争しながら、食事をしました。

午後1時から三時間目の、教育原理の授業でした。一言にまとめると、先生は個性の事について話をのべました。

四時間目は本多先生（幼児の先生）から色んな、子供の遊び、あるいはゲーム、歌、その他、自分の体験した事について話を聞かせてもらいました。今日の授業はこれで終わりです。

これから休む事が出来るか？ 笑い話にかぎる。センターについて、することはいっぱい！

12月1日 火曜日

北川小百合

今日から、新しい月が始まった。信じられない、もう12月だ。

AコースとBコースの研修生32名は（白水グロリアさんは風邪をひいて、今日は休んだ。）

冷たい雨にうたれ、玉川大学へ向かった。

今日の授業は、次の通りであった。

一限目 中学部

英語の授業や指導についての説明が行なわれた。

二限目 幼稚部、キリン組5～6才

今日は、私達A、Bコースの研修生は、本多先生のお願いで、先生の変わりに授業をし

た。

Bコース（小坪さん、田中さんと私）くつしたで作ったお人形さんを使って、子供達と一緒に遊んだ。

Aコース

丸岡先生は“カレーの歌”を教えた。

川辺先生は紙芝居をした。

子供達も大変よろこんでくれたと思う。

三限目 日本神話

根の堅州国（須佐男命）

八千矛の紙の歌物語

四限目 紙座替、楽しそうに作っていた。

12月2日 水曜日

小坪 美代子

今日は、素晴らしい上原先生の講演があった。

日本・日本人・日本語・日本文化・慣習そして、先生の経験を少し語ってくださった。

上原先生は、長野先生のように、第一回目の中南米日本語資料集めに行かれた。その時に感じたことは、この日系人達には、日本語は母語ではなく外国語であったことだ。将来の日本語は改めた考えが必要であった。

ことばを教えることは、日本の文化を伝えることである。ただ、話せるようにではなく、ことばを理解してこそ日本語を覚えたと言えるでしょう。ことばは文字になるまえは一つの音である。だからこそ音声は重要となる。

先生の経験や意見を聞いて、自分自身の経験と比べ、判断することができた。よかったと思う。その次は折紙の講義で、またAコースの先生方と楽しく過した。

12月3日 木曜日

田中 マリ

非常に素晴らしく見え、感じた、紅葉の11月が過ぎ、激しい寒さの冬が近づいて来ました。初めてのこの寒さ、一生に1回しか経験出来ない方がいるかもしれないけど、そうでなくても、良い思い出になると思います。

南米から来た私達には、寒さには非常に弱いのが、又、雪を見、感じる楽しみがあるのです。

寒いから玉川学園へ行かない日は、何て楽でしょう……………。

今日の授業は

9:30~12:30 聴解・文字表記(テスト)

日本語のアクセントは何て難しいのでしょうか。でも皆大分日本語らしいアクセントになって来たようだし、耳が良くなり分かるようにも聞こえるようになって来たみたいです。

13:00~16:30 文法

今日も6日の能力テストの練習の為、あるテスト用の問題を答えるようにしました。レベルは大体1級~2級でした。なかなか完全に理解するのは難しいが、皆、頑張ろうとしています。

6日の日が近づくと、何となく皆落ち着かないようですが、今さらクヨクヨはせず、難しいけど落ち込まないで自信を持って、自分のなりに頑張らましよう、皆で励ましています。

19:30~21:00 茶道

今日は和室でやり、私達は正しく座わった事が無いので、お茶の稽古が大変です。辛くても皆頑張っています。

12月4日 金曜日

安江洋子

今日も寒い日だったけれども、とても良い天気でした。

今週も今日でおしまい。何だか時が過ぎ去るのが早くて……

あの美しい玉川学園内の自然の変化に心を打たれたのに、見る見るうちに木の葉は散ってしまった。

今日も冷たい風の中を、玉川へ通った。

11:30~12:10 国語授業参観(小学校)

13:00~14:30 表現教育(方先生)

最初に身体を動かしたり、「ことばのテキスト」を朗読しました。それぞれ、自分の場所をみつけて。

「ギツネとカラス」の朗読劇の練習を、各グループに分かれてしました。先生から、それに関する指導もありました。

来週、各グループ全員が発表するので楽しみにしています。

14:40~16:10 高橋先生

- ・交換保育
- ・人間関係
- ・呼応の原理

その他、玉川の幼稚部について語りました。

12月7日 月曜日 晴れ 曇り

上田 弥生 ロザーネ

今日もとても寒い朝方でしたが、冬の到来をつげたのは昨日の初雪でした。日本に着いて初めて見た雪であった。日曜日に行った日本語能力試験にみんなが合格できることを私は確信しています。

玉川大学では次の授業が行なわれた。

午前 一 二時限目 一 長野先生

教授法

午後 一 三時限目 一 石橋先生

全人教育

一 四時限目 一 金平先生

短歌

四時限目の授業には欠席し、気分が悪くなったため、センターへ早めに戻りました。

夜は、書道のおけいこにも欠席させていただき、なるべく体を休ませて、明日の授業に参加出来るようにしています。

12月8日 火曜日

竹 村 エレナ和

寒い日々が続き、今日も寒い一日だった。

昨日から、体のあちらこちらが痛み、目が回り気分が悪い。おなかは痛いし、腰も痛い、頭はガンガン「花火大会」のようだ。

医者に行って、物りょうで腰をギューギュー20kgのおもさで... 私は半分にちぎれそう... 学校へ行って授業に出たいという気持ちと、足や手、体全体が「ヒキ肉」みたいで... 悲しい。今日も一日中寝たり、起きたり、W.C.へ行って帰って... そのような一日だった。

私の心の中では、なるべく早く良くなろうと思ひ、神様に日本語で祈っています。少しは日本語が楽になるようになったので私は嬉しい...

夕方に近くの関東病院に入院し、結果は「盲腸が腹膜炎にかかっているそうで...」

12月9日 水曜日 曇りのち雨

竹 中 章 子

今朝も昨日と同じく随分寒かった。

Aコースの先生達と一緒に玉川で授業を受けた

二時限目 10:40~12:10分 音楽 (小宮路先生)

先生はまず始めに教師に付いてお話しされた。

我々の使命は眼差し。「欠点だけを見つけないで、学生の長所(美点)を見つける訓練をしなさい

い。」(小原先生)「今朝も笑顔で挨拶しましたか?」と小原先生はいつもおっしゃっていたそう。クラスの良い雰囲気を作るのは教師なので、白目でいてはまずい、一人一人の生徒を大切に、楽しい雰囲気を作るよう努力しなければ教師としての資格がないと、つくづく思った。

その後、色々歌や遊びを教えていただいた。

三時限目 自由時間

今日は少しゆっくり食事する事ができた。

四時限目 14:40~16:10分 折り紙(林先生)

サンタクロースやクリスマス飾りの折り方を習い、楽しい時間を過ごした。

帰りは冷たい雨が降っていたので、骨までしみるような寒さを、感じた。

12月10日 木曜日 晴

長谷川 薫

今日は今年の最後の授業であった、そして最後のテスト

午前 9:30~12:30 音声

1. 外来語のアクセントについて

a. 旧規則 → ○○○, ○○○○

例:

イギリス, アメリカ, ペンキ, ボタン

b. 新規則 → ○○, ○○○, ○○○○, ○○○○○

例:

ノオサイド, フォト, デザイン,

2. 和製外来語のアクセントについて

例:

イーザーオーダー, フロン下グラス, プレイガイド

3. 省略された外来語

例:

インテリ, コンビ, マスプロ, デフレ

午後 1:30~4:30

文法の授業

午後 4:40~6:00

体育の時間

12月11日 金曜日 くもり

遠藤ルリ

寒さが日ごとに目立ってきた。玉川の森ももう紅葉が落ちて、木々がさみしがっているようである。でも、学園の入口にある池のそばには、クリスマスツリーが飾られていて、夕方になるとピカピカと輝く電気が夜空の星のようでとってもきれいだ。

日本は神道の国なので、クリスマスツリーなど余り見ることが出来ないと思っていた。ところが、玉川学園の各学部の校舎には、学生達がアイデアを持ち寄って作ったクリスマスツリーがとってもきれいなので、それにびっくりした。また町を歩くと、どこの店頭にもクリスマスツリーが飾られて、クリスマスの雰囲気をもり上げている。

今日の一時間目は本多先生の授業であった。初めにブラックマージンというゲームをして楽しんだ。その後、幼稚部で行なわれたアンケート調査の結果について説明を聞き、今日の幼稚部の父兄の考え方や子供達の状態などがよく理解できた。本多先生の授業は今日で最後なのでみんなで記念写真を撮った。

二時間目は、金平先生の短歌の授業、今日はみんなが作った歌をどのように直したらよいかみんなで検討して、そうするうちにとってもよい表現になってすばらしい歌が出来た。それから各自お気に入りの歌を清書して提出した。短歌というものは、わずか17字で言葉に言い表せない心の底にある気持を表現できるすばらしい歌である。

三時間目の表現教育では「キツネとカラス」という朗読劇をした。最初に各グループごとに練習して、そして全員が発表した。

一つの劇でも色々な工夫をこらされていてとっても面白かった。

先生がおっしゃっていたように、劇というものは「上手・下手」ではなくみんなが本当に楽しめたかどうかで評価すると、もっと効果のあるものになるんだなあーとつくづく感動させられた。

帰国後、玉川で教わった表現教育を基にして、自分なりの指導を続けたいと思う。

12月15日 火曜日

三分一 直美

今日で2学期が終わりです。

私達BコースとAコースは午後から玉川大学に行きました。

初めに、長野先生と事後指導がありました。そして今まで習ったことのまとめなどです。

16:30からは修了式でした。

一人一人卒業証書をもらい、みんなで記念写真を写しました。

その後、懇親会がありました。この学期で教わった先生方と話し合いました。

12月16日 水曜日 晴

藤本清美

今日は、10月からずうとしてきたように、朝起きて約1時間半の旅をし、勉強先まで行きました。けれども、今迄通っていた玉川ではなく、高田馬場にある新宿日本語学校でした。

9:20に新宿日本語学校に付き、9:30から授業が始まりました。

午前中の授業が終わると、(12:30)近所にあったレストランへ行って、大急ぎで食事をしました。みんなはだいたいうどんにしたので、けっこう早く食べ終わりましたが、私は野菜炒めに決めたので、一番遅くなりました。

午後は13:30から17:00迄勉強しました。

今日は次のポイントについて勉強しました。

・日本語と似ている/似ていない外国語。そしてどの点が似ているか。

(語順、語彙、文法、表現、発音)

- ・初級レベルの漢字の教え方
- ・初級会話の丁度
- ・初級レベルでの日記
- ・品詞をかりやすく教える方法
- ・行く・来るを間違がわせないように
- ・断定・判定の表現
- ・比較や程度の表現

帰る時、みんなは疲れた顔で、次の1時間の旅をゆっくり過ごすため日本人と闘い、座る順番を論争しました。

12月17日 木曜日 晴

北川小百合

昨日から私達は、新宿日本語学校で特別講義を受けている。

今日の江副先生の授業中に地震があった。でも、普通のと違って大きく感じた。Bコースの研修生も大変びっくりしたと思う。

授業の内容は次の通りであった。

子供に教える方法(公文式)

- ① 一番最初に、クレヨンなどで書く。(めっちゃめっちゃに書かせる。)
- ② 次に、道を書いて、入口と出口を決めて、子供に線の通り書かせる。
- ③ 数字1から20まで書いて、子供は番号順に線で結んで行く練習をする。
- ④ 文字(ひらがな)に入る。し、ろ、く、り など、やさしい字から始める事。あいうえおの順番でなくて良い。一画で書く字でも、1 2 3 の番号を付けても良い。

⑤ 自分の名前、家族、友達などに広げて行く。まず読む事。書く事が楽しくなるように。

感じた事、学んだ事。

新宿日本語学校の教え方は素晴らしいと感じた。言葉を使わないで日本語を教える方法を見つけた。それは、江副先生のおかげであった。これから、私は、ジェスチャを使って、指導するつもりでいる。できるかどうか分からないが、一生懸命勉強して頑張りたいと思う。

12月18日 金曜日 晴

小坪 美代子

月日がたつのに気づかず、もう2学期が終った。

今日はAコースの先生方の送別会があり、あとわずかで別れが来る。Aコースの先生方と共に玉川大学を通学できたことがなによりのことであった。楽しい勉強になったと思いながら感謝する。この2学期には、玉川大学をはじめ、センターでの講義、日本語能力試験、新宿日本語学校、それぞれ価値あるものだった。その上研修旅行も最高で、見るもの、食べるものも勉強になった。そして、和、一日も早く退院できるようにと毎日祈っている。この気持はきっと、センターの皆さんや他の友人も同じでしょうね。 . . . 和、早くよくなってください!!

12/20 ~1/10は冬休みでBコースの皆さんはそれぞれ親戚のところへ行き、ご両親から離れた初めてのクリスマス、お正月ですが、どうか楽しく、いい思い出になるように過ごしてください。

2学期の終り

1月11日 月曜日

田中 マリ

新しい年に入って、もう11日間も過ぎてしまいました。

新しい年、新しい目的、新しい気持ちで、今年も皆頑張ろうとしています。

私達にも後2か月半ぐらいしか無い短い研修になってしまいました。

冬休みがおわり、久しぶりに授業を受け、皆の顔には疲れも現れ、又勉強に頑張ろうとの気持ちも表われていました。

今日の授業はセンターで受け、

午前 — 9:30~12:30 日本事情 丸山先生

久しぶりに丸山先生の面白い授業を受け、これからは現在の日本に近い話題になるので、皆もっと興味を持つのではないのでしょうか。

午後 — 13:30~16:30 江副先生

何年も経験のある先生から、私達がこれから歩み始める道のことに対して、いろんな話を聞く事が出来、私達にとっては何よりの参考になるのです。

体育 — 16:40~15:40 ひろ子先生

久しぶりに体を動かすので、何だか皆すごく疲れたようだけど、結構面白いゲームであったので、皆と楽しくやることができました。

夜 — 19:30~21:00 神山先生

新しい年に入って新しい書き方を書き始めるので、ずいぶん難しいけど、皆一生懸命と頑張っていました。

1月12日 火曜日 晴

安江洋子

3学期に入り、今日は久しぶりに玉川大学へ通う日です。

学園内は季節の移り変わりによって、すっかり変化していました。

冷たい風に吹かれ、美しい紅葉の景色を思い出しながら短大へ向かった。

二時限目 10:40~12:10

「敬語」片山先生

最初の授業なので色々な事を話し合いながら、だんだんと敬語に入っていく。

敬語の使い方は、非常に難しいことである。相手の立場を考えなければなりません。話し手が聞き手にとってどんな関係があるか、あるいは、年齢、男女等に注意しながら敬語の正しい使い方を理解するため、皆は熱心に聞いていた。

三時限目 13:00~14:30

「日本神話」 平山先生

2学期よりもっと簡単に書いてある本を頂きました。この本なら日本神話を理解することができ、又、面白くて楽しい授業になるのではないかと思います。今日は「朝日のさす国」についてお話して下さった。

四時限目 14:40~16:10

「漢字論」 金平先生

「漢字の知恵」

「象形文字」 「指示文字」

漢字の成り立ちを知っていれば、漢字の学習が早く、簡単に身に付くことでしょう。

1月13日 水曜日 晴れ

上田 弥生 ロザーネ

3学期が始まって、3日目です。新しい課目も私達の日程表に含まれています。

今日、午前には文字表記の授業の初めに漢字のテストをやりました。

午後からは、学習理論の事について、西門先生の授業が行なわれ、次の通りにお話が進みました。

1月14日 木曜日 晴れ

竹中 章子

今日は素晴らしい天気で、まるで春のようだった。

アメリカでは、竹下総理大臣とレーガン大統領が為替相場の安定など色々の問題に付いて話し合う「日米首脳会談」が始まった。

授業はセンターで受けた。

午前 9:30~12:30 聴解—斎藤先生

- ・談話と文章に付いて説明された。
- ・テープに録音されたテレビ番組を聴き取る練習をした。
- ・その中からいくつかの言葉の発音の練習をした後、四字成句に付いて考えた。

午後 1:30~4:30 教授法—金田—先生

「日本語初歩」(テキスト)を使い第12.13.14.15 課の内容に付いて説明された。

文の形や言葉のきまりを皆で考えながら勉強した。

夜 7:30~9:00 茶道

今日は先生が来られなかったので私達だけでお茶をたてて、おいしいお菓子をいただいた。

明日は「成人の日」なので授業がないため、買物に出かける事ができる。今日みたいな良い天気です。

1月16日 土曜日 晴

長谷川 薫

午前9:00時から11:00時まで、南米各国に日本語教師として行かれる開発青年達の皆様との座談会。

1月18日 月曜日 くもり

遠藤 ルリ

日本の冬の寒さは厳しい。

私は冬休みに父が生まれた北海道でお正月を迎えたが、風邪をひいてしまってまだ治らない。

24時間もベッドに入っているのがつらい!

私は暑い国から来たので、-10度なんて想像も出来ない寒さを体験することが出来たのはよかったと思う。(こんな結果になるとは思わなかった)

今日の授業はセンターで

9:30~12:30 日本事情 丸山先生

13:30~16:30 教材研究 江副先生
16:40~17:40 体育 ひろ子先生
19:30~21:00 書道 神山先生

私はベッドの中で、一日中研究テーマを調べたり、ワープロで文章を打ったりして退屈な一日だった。

明日は玉川に通学の日なので、今日中に風邪を治さなくちゃ……………。

1月19日 火曜日 白水 グローリア

最近毎日大変冷え込んでいるので、今朝玉川へ出かけるのがちょっと億劫に思いました。たぶん帰国の日が近づいているので気持ちが焦っているからでしょう……………。

今日の一時間目は敬語の授業でした。

敬語は日本人の人間関係、社会のありさまをよく表わしていると思いました。

神話の時間では色々日本の国の創造のことについて学び、古い歴史の持ち主である国ほど神話は面白くて興味深いと感じました。

金平先生の授業で漢字の成り立ちを教わりました。

日本について学べば学ぶ程分からないことが山のように出てくると共に、関心も深まるので一生あっても足りないと思いました。

1日に24時間以上あって欲しい!

1月20日 水曜日 三分一 直美

今日は板根先生の授業でした。1学期や2学期のようにまたテストをやり始めました。今度は読み書きがいっしょではなく、一日にどちらかを一つです。

先生は私達のことを考えて下さって、これからは研修テーマのことで忙しいからといって、減らして下さいました。

テストの後、漢字の音と訓読みのプリントの練習をしました。その後、先週の漢字のプリントの続きをやりました。

午後は、西口先生の授業で次のことを学びました。

- 一 教育の改善
- 二 現実の「許可を求める」には四つの能力で出来ている。
 - ・文法能力
 - ・談話能力

- ・社会言語的能力
- ・ストラテジー
- 一 許可の表現
- 一 入力理論 -S・Krashen
 - ・習得・学習仮説
 - ・自然順序仮説
 - ・モニター仮説
 - ・入力仮説
 - ・情意フィルター

4:40からは体育でゲートボールをやりました。

私達のチームは1点の差で負ましたが、とっても楽しかったです。

1月21日 木曜日

藤本清美

7:30に起きて朝食

8:50ロビー集合

9:00センター出発→東芝科学見学(10:00~12:00)

見た物

- ・ビデオで「大きく育て、小さな赤ちゃん・超音波で見ましょう」
- ・反射スピードをためす機械
- ・電子身長体重計
- ・コンピューター断層診断装置
- ・ACI-AVI システム
- ・光と音と映像のショー(日本の山の四季、さまざまに変化する美しさ)
- ・史学室(東芝の長い歴史を物語る製品や写真が展示してある所)
- ・ホームコントロール(ロボットに言葉で指示をすると、色々な働きをする)
- ・和室(一個の石をふみ、かくれていたテレビ、ステレオを表面に出す)
- ・電子インコ(インコに話しかけると、おうむ返しにおしゃべりする)
- ・高品位テレビ(注目を集めている高品位テレビ)
- ・レーザーアートショー
- ・リニアモーターカー
- ・高性能ロボット
- ・多関節自在点検ロボット

・発光ダイオードが光る逆ピラミッド

11:00 食事

12:00 →自由

18:00 食事

19:30~21:00 華道

1月22日 金曜日

北川 小百合

今日の授業は次の通りであった。

午前 9:30~12:30 聴解 斎藤先生

今日は、私達5名(竹中さん、小坪さん、白水さん、上田さんと私)は、先週、先生からいわれた通り、テープに短い会話を録音し、紙に書きおろした。そして、教室で聞き取れなかった部分を皆で考えた。

こんな授業は、聞き取りの練習にとてもいいと思った。

午後 13:30~16:30 作文 土井先生

久しぶりに土井先生に会えて、とてもうれしかった。今日は、私達が今までした勉強や見学について、いろいろと話した。

① 玉川大学での講義

② センターでの講義

a)良かった点

b)悪かった点

c)一番印象に残ったもの

d)これから修了の日までしたい事 その他

皆でこのような座談会をしてもいいと思う。

その後体育が行なわれたが、私は土井先生と研究テーマについていろいろと話していると時間が過ぎていた。これから、皆、大変だ……でもがんばろうね!!

1月25日 月曜日 晴

小坪 美代子

今日のスケジュール

午前 9:30~12:30 丸山先生 日本事情

丸山先生の講義はいつも楽しいものです。日本の歴史、文化などは非常に困難で複雑と思いますが、丸山先生はたのしく、理解しやすく説明して下さいます。

午後 13:30~16:30 江副先生

中級クラスの日本語能力や知識についての講義でした。私達にとっても参考になったと思います。来週は江副隆秀先生（息子さん）の講義を楽しみにして待っています。

その後体育が行なわれ、私達の肩こりをほぐし、体がすっきりしました。

この二、三日急に寒くなったのでBコースの皆さんが風邪ぎみです。

みんな お大事にね!!

残り少ない研修をがんばってください。

1月26日 火曜日 晴

田中マリ

南米と違ったこの日本の気候に慣れていない私達です。だから余計に気をつけなければいけないのですが、やっぱり体調を崩してしまうのですね………… 私達ももう少しの研修ですから出来るだけ体にだけは気を付けるようにしましょう!

今日は火曜日、玉川学園へ通学する日である。

午前 10:40~12:10 敬語

敬語は同じ日本人にも非常に難しいそうです。それはきちんと決まりはあるが、実際に使うようになると変わることがあります。その場合には自然で普通の言い方をし、完全な間違いをしないように気を付けるのが大切だと思います。

午後 13:00~14:30 神話

「海幸と山幸」の話でした。

日本人はいろんなことを考え又は想像をしますので、神話のような話を聞いていると面白いです。でもこのような話は一体誰が書き残したのでしょうか。

14:40~16:10 漢字論

「万葉がなという漢字」

昔の日本語もとても難しく、現在の日本語は簡単になっているそうですが、漢字もどう生まれたかに付いて勉強すると結構面白そうで、皆、難しい漢字でも、もう少しの興味を持ち始めて来たそうです。

どんなに年数をかけて日本語の勉強しても完全な日本語は学べないかも知れませんが、これからも皆もっと勉強したい、そして多くの人々からも学んで欲しいとの気持ちがあると思います。

1月27日 水曜日 晴

安江洋子

今日はセンターでの勉強。毎週、新聞の漢字のテストをしていますので、今日も同じく、書き方のテストをしました。

皆も漢字、または、日本語に自信がついてきたと思います。

「ことわざ」についていろいろと説明して下さった。

「研修テーマ」について個人指導をして下さいました。

皆、一生懸命頑張っているので、大部進んでいることでしょう。

午後からは西口先生の最後の授業でした。

今日は、学習理論についてのまとめをして下さいました。

「日本語の教授法」のことも説明して下さいました。

「聞く話すの場合」はどうすれば良いか。

①入門 → 音に慣れる。

②初級 → 受容練習を多く、反応、自然な会話を多くする。

③Post Elementary → 既習事項の新しい組み合わせ。

④中級 → 多量の comprehensible input に晒らす。

⑤上級等と詳しく説明して下さいました。

その後体育をしました。

1月28日 木曜日 晴

上田 弥生 ロザーネ

横浜では春の気候に入った感じの天気が続き、朝は涼しくて、夜は寒い。今日も同じくらいに良い天気に恵まれた。

1月29日 金曜日

竹村 エレナ和

退院して2カ月になるというのに、私は今日も気分が悪くて授業を休み病院に行き、何だか分からない薬を山ほど持って、注射のあとを押さえながら、切ったおなかを押さえながらセンターへ帰って来て寝ていました。

手術後、体力がなくて色々な病気にかかってしまい、自分がいやになってしまいますが、そのような弱い気持ちでいたらもっと弱くなってしまおうと考え、自己研修の研究をしようと思って「やろう」と始めたどたん目が回り、又々寝て、体育の時間に先生のバースディに出てケーキを食べてみかんを食べて又々ベッドへ……

帰国日が近いというのに寝ていていいのかしらと思いつつ、漢字の勉強の夢を見ながら……

一日がすぎて行く。

2月1日 月曜日 晴

竹中章子

今日も1日中暖かくて、冬とは思えない日だった。ラジオやテレビで「暖冬で雪がふらず、スキー場は大弱だ」というニュースを最近よく耳にする。

午前 9:30~12:30 日本事情 (丸山先生)

今日は「日本の祭り」についてお話しを進められた。

(本当は「祭り」だが、日本人は何でも「お」をつけたがり「お祭り」と言う)

*祭りと季節

神社を中心とした日本の祭りは、春と秋に行なわれることが多い。

*祭りの要素

1. 物忌み—祭りに参加する人々が、神をむかえるために身も心も清める事
2. 依り代—神が降臨したという「目じるし」として置かれるものが「依り代」
3. 神との会食 神への供え物を、祭りの参加者が食べることで、神とのつながりが強められると考えた。
4. 競 技 神の前で、相撲、綱引き、弓や馬などの競技が行われる事がある。
5. 演 芸 降臨した神をおもてなしするため、神楽・田楽や各種の舞いなどの芸能が行われた。

その後、「日本人の一生における諸儀礼」を説明された。

代表的な人生の通過儀礼

1. お七夜 (生まれて7日目)
2. お宮参り (生まれて31日または32日目)
3. 初節句 (生後1年以内)
4. 七、五、三 (女児3歳、7歳 男児5歳)
5. 成人式 (満20歳)
6. 結婚式
7. 葬式

休み時間の後「衣・食・住の生活」に付いて講義された。

・明治時代まで、日本人の衣服は大変複雑だった。

・第二次大戦前の庶民の伝統的な食事は、今では考えられないほど質素なものだった。

来週の月曜日は「住の生活」についてお話し下さる。丸山先生のお話を聞いていると、いろいろなイメージが頭の中に浮かび、まるで映画を見ているようで、楽しく日本の歴史・文化を学ぶ事が出来る。

午後 1:30~4:30 教材研究 (江副先生)

ブラジルから帰国されたばかりの江副先生が、「教材作り」に付いて講義された。今から日本語を教える立場にいる私達には、大変大切な授業だった。

- 教科書だけにこだわらず、新聞、雑誌、書籍、ラジオ、テレビなどを取り入れる事が必要だ。
- 学校で覚えた知識を、社会に持って行って生かす事がもっとも密接した教育だ。
- 言葉をセットで教える。例：春、夏、秋、冬
- ジェスチャアで教える方法
- 授業中生徒が「興奮」する事は覚えるためには大切な物で、興奮するように工夫する事、その方法
- 教材に水準をきめる事が必要だ
- 通時的変化に対応できる組織

夜：書道 7:30～9:00 (神山先生)

今日は「春、夏、秋、冬」のお稽古をした後、お清書をだした。

2月2日 火曜日

長谷川 薫

午前9時6分の電車によって玉川へ行く日、今朝はとても寒かった。いつもセンターの中にいるせいか、外に出るとやっぱり冬だと感じる。

科目のスケジュール

10:40～12:10	敬語
13:00～14:30	日本神話
10:30～16:10	漢字論

2月3日 水曜日 晴

遠藤 ルリ

昨日から急に寒くなった。

明日は立春。

立春とは名ばかりの寒い日が続いている。今日はこの冬一番の冷え込みだとラジオで言っている。天気予報では、明日は今日より1度ぐらい低くなるそうだ。

北日本では大荒れ、大雪の日が続くといわれている。今日は北海道では40cmも雪が積もり、又名古屋でも15cmも雪が積ったというニュースを聞いた。これに対して家からの便りによると、パラグアイでは35度以上の気温の日々が続いているらしい。

日本の厳しい寒さを体験するのは生まれて初めてである。すこしはつらいかもしれないが、私の一生の心に残るでしょう。

さて、今日も毎水曜日のようにまず漢字テストがあった。新聞の漢字のテストも、去年の初めのころと比較してみると易しくなったようだ。もう日本に来て10ヶ月以上もったので、漢字に少しは慣れたからだと思う。

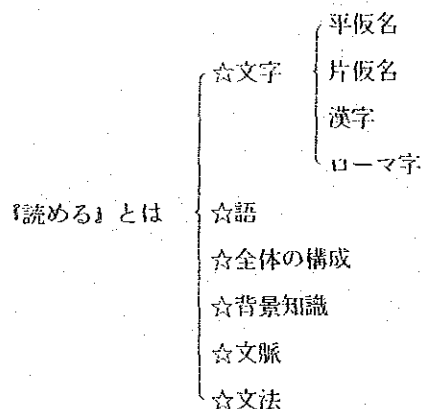
テストが終わると日本の「ことわざ」について勉強した。私は「ことわざ」に興味をもった。それは一つの「ことわざ」には深い意味がある上、知識を伝えたり、会話にユーモアをもたせたりするのもあり、年寄り達がめいめい長い生活経験からこの世を生きぬくためにどうしたらいいのか、どうしなければならぬかを悟っているのもあるから。

その他、板根先生の授業では「初級で教える漢字」について調べて来たのを発表した。今日の授業は半時間前に終わらせて、先生は研究テーマについて個人指導を下された。

午後からは、今日、初めての浜田先生による「学習理論」の授業があった。浜田先生の授業は西口先生の続きとして進められたので、初めの30分ぐらい復習をした。一人々が西口先生に教わった学習理論を発表し、それぞれのテーマについて皆で考えた。

学習理論は私達にとってすごく役立っていると思う。どうしてかというとバラバラになっている知識が頭の中で整理されると同時に、教育について深く「考えさせられる」からである。

今日は、「言語の理解面」(聞く、話す、読む、書く)について考えた。特に「読める」とは何か？について深く考えさせられた。



これ等について皆が意見を発言した。

来週は『漢字の教え方』について教えて下さるそうで、楽しみにしている。

体育の時間には、グループになってテーブルテニスをした。寒さの中、とても楽しい充実した一日を過ごした。

2月4日 木曜日

白水 グローリア

今日は立春。旧暦では今日から年が始まる。

現地日本語生徒本邦研修生を対象とする模擬授業がいよいよ近づいてきた。

今日一口授業の準備をした。私達11名は4つのグループに分かれて、各グループ40分の割り当てですることだ。

第1グループは「敬語」で、担当者は長谷川さんと上田さん。

第2グループは「言葉による表現」担当は北川さん、遠藤さんと藤本さん。

第3グループは「OHPによる漢字の学習」担当は安江さん、小坪さんと私。

第4グループは「漢字の慣用による読み方をゲームで覚える」担当は竹中さん、三分一さん、田中さんとなっている。

皆一生懸命色々の教材を工夫して頑張っている。

授業の成功を心から望んでいる……………。

2月5日 金曜日

三分一 直美

今日は、気分が悪くて一日寝ていました。

午後の作文の時間には発表があったのだけれども、出ることが出来ませんでした。

せっかく昨夜、まとめを終らせたけれども何も役にたちませんでした。

後、少しだから早くかぜを直して頑張らなくちゃ。

2月8日 月曜日

藤本 清美

7:30 日本事情

12:30 食事

13:30 教授法

18:00 食事

19:30 書道

今日は、ブラジルへ35kg本を送りましたので、とても急がしいでした。先生の大切な授業も熱心に聞けなくて、「帰国というものは本当に大変だな」と思いました。

2月9日 火曜日

北川 小百合

今日は、玉川大学へ通学する日であった。でも、私は先週の土曜日、階段から転んでひざを打った。痛みがなかなか取れなかったので、とうとう今日は赤十字病院に行った。

Bコースの皆さんと一緒に行くつもりでいたが、でも、良く考えて見れば、もしも、私が無理して歩こうとしたらきっと皆にめいわくをかけると思った。だから、早く良くなって、皆と一緒に玉川大の坂道を歩きたいと思う。

お医者さんに見てもらい、レントゲンを取った方がいいと言われた。その後、骨に異常がないと知

り安心した。あまり無理しなければ、すぐ良くなると思う。でも、早く良くなりたい、皆にめいわくをかけたくない……………。

明日の授業の為、生徒達もそれぞれホーム・ステイ先から帰って来た。センターには、又子供達の元気な声が響くようになった。

Bコースの皆さん、明日は特別講義の日だ！

皆で力を合わせてがんばろうね！

毎晩遅い時間までがんばった皆さん、おつかれさまでした……………。

2月10日 水曜日

小 坪 美代子

今日は、いよいよ模擬授業です。次のように行いました。

1. 9:30~10:10 長谷川・上田
「敬語」
2. 10:20~11:00 遠藤・藤本・北川
「表現活動」
3. 11:10~11:50 白水・小坪・安江
「漢字の学習」
4. 12:00~12:40 竹中・三分一・田中
「ゲームによる漢字の学習」

竹村さんは、作成に参加しましたが、あいにく、今日は気分が悪かったので発表はできませんでした。

Bコースの皆さんよくがんばりました!! いろいろと大変だったでしょうが、グループの努力で授業の楽しさ、難しさ、なども味わえて、いい勉強になったと思います。きっと帰国後も役に立つことでしょう。

Bコースの皆さんごくろうさまでした。!

2月12日 金曜日 雪~晴

田 中 マ リ

横浜では2月に雪が降ったとしても普通かも知れない。けれども、私達にとっては、春の雪は初めてなのでとても印象に残ったのでは無いでしょうか。

今日は雪が降るとの事で、皆、昨日から今日の一番の楽しみにしていました。目が覚めた時にはただ曇っているばかりで、雪なんか全然降っていませんでした。けれども少し時間が過ぎたら降り始めました。

中南米では非常に珍しい出来事でした。

だんだんとBコースの研修が終わろうとしている。帰国準備とか色々大変だけど、皆最後まで頑張ろうとしています。

今日の授業 午前 9:30~12:30 聴解

10日、中学生達にした授業に対しての意見を聞き、皆大分反省しなければいけない点がありました。けれども皆良く頑張って、12名それぞれ進歩したと思います。それを帰国後も生かせるように、これからも頑張って欲しい。

午後 13:30~16:30 作文

「外国語の教え方」という本のある部分について何人かが今日発表し、皆それぞれドキドキしながら、自分が理解した内容を皆に話しました。自分の国でもあまり慣れていないことで、大分困った人もいたと思うが、皆「良い勉強になった」と言い、何か学んだのではないかと思う。実は私も発表を2週続けてやらせて頂いたのだが、もちろん、皆が言う通り、人前で話をするのは難しい、けれども、もっとしっかりしなければいけないと思ったのは、簡潔に話すことにもっと力を入れなければいけないことです。

これから私達12名は教師の道を歩むのですが、教師として、又は大人として、自分の意見や考え又は大切な点をはっきりとつかめる、言えるように、皆からも頑張って欲しいと思います。

2月15日 月曜日 晴

安江洋子

今日からまた新しい週が始まる。日々が早々過ぎて行く。冬なのに一日中暖かかった。

午前 9:30~12:30 日本事情(丸山先生)

今日は、気分が悪かったので授業には出ませんでした。

午後 1:30~4:30 教材研究(江副先生)

最初に、ブラジルで行われた授業のビデオを見ました。

先生の教え方はとてもすばらしい。生徒達も覚えが早い。

ブラジルで作られた教材、テスト等を紹介して下さいました。

4人の共通使用一覧のことについて皆と考えて見た。

体育は休講でした。

夜 7:30~9:00 書道(神山先生)

今日は、最後の作品の準備をしはじめました。

「龍」と言う字の練習をしました。

2月17日 水曜日

竹村 エレナ和

私は今日とても気分が悪い、目が回って何をする事も出来ない。
むなしくて泣いてばかり、頭痛がひどい、体はますます動かない。
どうすれば良いか分からない。

2月18日 木曜日 晴

竹中 章子

今日は「越後湯沢方面研修旅行」。開発青年に見送られ、センターを8:30分に出発。
上野駅で新幹線「アサヒ399号」に乗り換え10時10分に出発。11時06分にトンネルに入る。日本の背骨になる青い山脈を今越えているのだろう。科学技術は何と素晴らしい物かと思っている内に、一面雪に包まれた銀の世界が目の前に表われた。まるで別世界のような。おとぎ話の国に入りこんで行くような気がした。無意識に大きな溜め息をついた。感動している内に私達の目的地「越後湯沢駅」に到着した。ここでもまた大きな大きな溜め息がでた。なんと素晴らしい景色でしょう。
旅館に着いて、スキーのセットを持って、食事もしないままスキーのレッスンを受けた。思うように体が動かず何十回も転んだが、幸い骨を折らず、楽しい一日を過ごすことができた。
楽しいばかりではなく、雪国に住む人々の苦労を少しでも経験することができ、カリブ海の暖かさをしみじみとありがたく思った。
夜は温泉へ行って体を温めた。
今日は実に素晴らしい一日だった。

2月19日 金曜日 吹雪

長谷川 薫

夕べから吹雪が続いている、窓からはただただ白い景色しか見えない。そして夜私達が折ったつららも、もう新しいのが幾つも幾つも出来てる。外に出して置いたコーラは凍ってる。2階の窓から下に積もっている雪の上に飛び降りたい気分。
朝8時、朝食をいただき、スキー場へ急いだ。皆うきうきしてる。私は、生きている間に一度作りたいと思っていた雪ダルマを友達と作った。そして記念写真をたくさん取った。

2月22日 月曜日 晴

遠藤 ルリ

もう早咲きの梅の花が満開で周囲の景色が変わった。
「春だなァー」という感じがすこししてきた。去る土曜日と日曜日は、友達と一緒に近くの公園に梅の花見に行くとってもよかった。もう日本の冬は去って行ってしまおうのかと思うと、なんとなく

心から寂しくなってきた。寒さはとってもきびしかったが、その景色はとっても美しかった。もう二度と雪景色なんて見る機会がないだろう。この1年間の研修は、机の上での勉強はもちろん、その他いろいろな面で私達の『経験』を豊かにする材料を自然が与えてくれたと思う。こういう経験することによって人間関係は緊密になるとし、そしてもちろん、こういった経験は話したり書いたりすることによい材料になると私は思った。

私の国の二世や三世にも日本の自然の変化を話し、それを知ってもらいたいと思った。

午前中は丸山先生の日本事情があった。今日は、

- ・現代の社会状況

- ・日本の現状

などについて詳しく説明して下さった。

丸山先生の授業で深く考えさせられたのは、『環境問題』についてであった。それは1960年から日本は「産業優先」の方針によって世界の国々がおどろくほど成長を続け、奇跡的發展をしてきた。だがその反面、各地に「産業公害」や「都市公害」をひきおこしてきたことによって問題になっていることである。これからの世代の人々はどのような地球に住むのでしょうか？

午後からは、江副先生の教材研究があった。始めにブラジルで先生が実際に見た授業をビデオを見て、それについていろいろと説明して下さった。

やはり、外国語を教える者は、知識的能力のみでは不十分であることに気がついた。知識の他、教え方の技術も大切だなと思った。それは、ビデオを見ていると江副先生は日本語を面白く簡単に子供達に教えていたからであった。

その他、中南米の移住者子弟に合った教材作りについて皆で考えた。そして実際に教科書の一部を作ってみた。

この教科書は、子供達の興味に合ったような内容にするのに、幼児言葉を多く用いてごく普通の会話を作り上げた。幼児言葉は文法的な説明がつかないので非常に難しいと思った。

16:45からは皆で竹村和ちゃんのお見舞に関東病院に行った。

19:30からの書道の授業では『龍』という字の掛軸を作った。

書道は今日の授業も含めてあと二回しかないので、皆いっしょうけんめいだった。

2月23日 火曜日

白水 グローリア

今日は本当に春を感じさせる一日だった。

玉川の丘をゆっくり歩きながら学園の木を眺めてきた。木も新しい芽を吹きだそうとしているのを見て、又春が巡ってきたと思った。

一時間目は片山先生がいらっしゃらなかったので休講だった。

二時間目の神話では「東への道」の話について勉強した。この話は神倭波礼彦の命が、兄さんの厳船命と日向の国から宮殿を東の方へうつすことについての話だった。

古事記にてでくる色々な地方や登場人物の名前の詳しい説明を聞いた。

三時間目は休講だった。

玉川はもう後2回しかない。緑の丘を離れるのは名残惜しい……………。

2月24日 水曜日 雨

三分一 直美

今日は急に寒くなりました。起きて外を見るとまだ暗くて曇っていました。今年の冬は暖かかったそうなので、今ごろになって寒くなったのかも知れないと思いました。

午前は坂根先生の授業で、論文の書き方を教わりました。そして12:00からは、いつものように研修テーマについて指導がありました。

午後は、斎藤先生の授業でした。今日は音声の教材の作り方を教わりました。始めにビデオを見て、そしてどのように作るかを教わりました。

今日は体育がありませんでした。その時間に江崎父ちゃんと後輩のため、これからどういう科目が良いかということや、3月の日程表のことについて話しがありました。

夜は、もう疲れて早く寝ました。

2月25日 木曜日

藤本清美

今日は早稲田大学の川口先生に、日本語教授法について話しを聞かせていただきました。川口先生は新しい方法 (TPR) を使って外国人に日本語を教えています。それを短い時間に紹介していただき、とてもためになりました。帰国後、ぜひ今日学んだことを利用してブラジルで授業を進めたいと思います。本当に素晴らしい授業だったので、川口先生と出会う時間はもっとふやしたら良いと思います。

午後は金田一先生から、日本語初歩に関しての教授法を教え続けていただきました。

18:00 食事

19:30からは生け花の最後の授業でめずらしく、全員参加しました。

もうそろそろ2月も終わるため、とてもにぎやかな、最後の竹内先生との授業でした。みんなそれぞれ自分の生け花を直してもらって、先生と一緒に写真を写しました。

2月29日 月曜日

小坪美代子

とうとう2月も終わってしまった。帰国する日もあとわずか26日間である。嬉しさと悲しさは同じ